

令和8年度 事業概要



介護DXサポートセンター設置事業
ハイブリッド形式による第1回介護生産性向上セミナー【R7.5.8】(303名参加)

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県社会福祉介護研修センター

目 次

I	社会福祉介護研修センターの沿革	1
II	社会福祉介護研修センターの概要	5
1	設置目的	5
2	施設の概要	5
3	管理運営	6
4	組織	7
III	令和8年度業務計画	9
1	令和8年度業務計画	9
(1)	基本目標	9
(2)	業務内容	10
	・2026大分県社会福祉介護研修センター研修体系	11
	・令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修分類及び研修一覧	13
2	令和8年度 指定管理業務計画	19
(1)	介護実習・普及センター事業計画	19
(2)	高齢者総合相談センター事業計画	20
(3)	福祉人材センター事業計画	22
3	令和8年度 知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結する業務計画	25
(1)	社会福祉施設職員等研修事業計画	25
(2)	認知症介護実践研修事業計画	28
(3)	介護予防職員等育成推進事業計画	29
(4)	地域包括ケア推進に係る人材育成研修事業計画	30
(5)	職場体験事業計画	31
(6)	介護入門者研修事業計画	32
(7)	介護の仕事入門セミナー実施事業計画	33
(8)	福祉・介護人材マッチング機能強化事業計画	34
(9)	ノーリフティングケア普及促進事業計画	35
(10)	保育士・保育所支援センター設置事業計画	36
(11)	介護DXサポートセンター設置事業計画	38
4	令和8年度 自主事業業務計画	41
(1)	指定研修事業	41
	・介護支援専門員研修事業	41
(2)	自主研修事業	43
	・福祉用具専門研修事業	43
	・福祉サービス実践力向上研修事業	44

(3) 連携共同事業	45
・介護担当職員専門研修事業	45
(4) その他業務	46
・福利厚生センター事業	46
・介護支援専門員実務研修受講試験事業	47
・介護職員初任者研修資格取得助成事業	48
IV 令和7年度業務実績	49
1 業務概要	49
(1) 業務概要	49
(2) 業務内容	50
・2025大分県社会福祉介護研修センター研修体系	51
・令和7年度大分県社会福祉介護研修センター研修実績一覧	53
・令和7年度大分県社会福祉介護研修センター利用者一覧表	56
2 令和7年度 指定管理業務実績	57
(1) 介護実習・普及センター事業実績	57
(2) 高齢者総合相談センター事業実績	69
(3) 福祉人材センター事業実績	75
3 令和7年度 知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結する業務実績	87
(1) 社会福祉施設従事者等研修事業実績	97
(2) 福祉・介護人材確保対策事業実績	141
(3) ノーリフティングケア普及促進事業実績	149
(4) 保育士・保育所支援センター設置事業実績	153
(5) 介護DXサポートセンター設置事業実績	155
4 令和7年度 自主事業業務実績	159
(1) 指定研修事業・自主研修事業実績	159
(2) 福利厚生センター事業実績	183
(3) 介護支援専門員実務研修受講試験実績	185

I 社会福祉介護研修センターの沿革

社会福祉介護研修センターの沿革

- 平成元年 大分県が「大分県社会福祉研修センター構想策定委員会」を設置、社会福祉従事者に対する研修のあり方について検討
- 平成2年3月 上記委員会で検討の結果「大分県社会福祉介護研修センター構想について」（中間報告）が出された。
- 平成2年4月 「社会福祉介護研修センター」の設置
中間報告を受けて、大分市大津町の大分県総合社会福祉会館内に「社会福祉介護研修センター」が設置され、従前から大分県社会福祉協議会が受託実施してきた社会福祉施設職員研修をこのセンター事業として引き続き受託することとなった。
- 平成4年7月 「介護実習・普及センター」の設置
新たに国庫補助事業として事業化された「介護実習・普及センター」を大分県社会福祉協議会が受託し、「社会福祉介護研修センター」において社会福祉従事者研修とともに、一般県民を対象にした介護教室等の研修を実施することとなった。
- 平成4年10月 「福祉人材情報センター」の設置
法律によって各県に1か所設置することとなった「福祉人材センター」を大分県社会福祉協議会が受託し、社会福祉介護研修センター事業と一体のものとして「社会福祉介護研修センター」において実施することとなった。
- 平成5年1月 福祉人材情報センターで無料職業紹介事業（福祉人材バンク）がスタートしたのにあたり「福祉人材情報センター」の名称を「福祉人材センター」に改めた。
- 平成5年4月 福祉機器移動展示車「豊の国ふれあい号」（5.5トン）運行開始（平成17年3月用途廃止）
- 平成5年10月 「大分県社会福祉介護研修センターの設置及び管理に関する条例（平成5年大分県条例第25号）」の公布
「大分県社会福祉介護研修センター管理規則（平成5年大分県規則第53号）」の公布
- 平成5年11月 大分県社会福祉介護研修センターの開設
大分県総合社会福祉会館内に設置されていた「社会福祉介護研修センター」、「介護実習・普及センター」、「福祉人材センター」を大分市明野東に統合移転し、新たに「大分県社会福祉介護研修センター」の名称で、「総務・人材課」、「社会福祉研修課」、「介護研修課」の3課で構成された組織として一体的に事業を実施することとなった。
（財）豊の国長寿いきいき振興センターへ業務移管されていた「高齢

者総合相談センター」（シルバー110番）もこの建物内に移転し、高齢者総合相談事業を実施することとなったが、あくまで別組織であった。

- 平成6年7月 「福利厚生センター大分事務局」設置
福利厚生センターから大分県社会福祉協議会が業務を受託し、総務・人材課が担当することとなった。
- 平成7年3月 九州初のウェルフェアテクノハウス（通商産業省工業技術院建設の先端在宅介護機器システム研究開発用施設）を設置
運営・管理は技術研究組合医療福祉機器研究所（平成12年4月、県に譲与）
- 平成7年4月 「高齢者総合相談センター」の統合
高齢者総合相談センターが大分県社会福祉協議会へ業務移管され、「総合相談課」として研修センター内の一つの課となった。
- 平成7年10月 清子内親王殿下ご来館
- 平成7年11月 常陸宮妃殿下ご来館
- 平成8年3月 利用者10万人を達成
- 平成10年7月 利用者20万人を達成
- 平成15年5月 秋篠宮文仁親王殿下、同妃殿下ご来館
- 平成16年12月 利用者50万人を達成
- 平成17年4月 「高齢者総合相談課」と「介護研修課」が統合され、「介護研修・総合相談課」となった。
- 平成18年4月 指定管理者制度の導入により、大分県社会福祉協議会が、大分県社会福祉介護研修センターの指定管理者（第1期）となった。
（平成18年4月～平成23年3月）
- 平成22年11月 皇太子徳仁親王殿下ご来館
- 平成23年4月 大分県社会福祉協議会が、第2期の指定管理者となった。
（平成23年4月～平成28年3月）
- 平成24年4月 大分県社会福祉協議会の組織改編により「課制」を廃し、「総務人材部」、「介護研修・総合相談部」、「社会福祉研修部」の3部体制となった。
- 平成25年4月 県がウェルフェアテクノハウスを災害物資備蓄倉庫に用途変更した。

平成25年11月	開設20周年記念「センターまつり」開催
平成27年4月	社会福祉従事者研修と介護関係研修の一体的企画運営、福祉人材センター機能充実強化等のため、「総務部」、「福祉人材・総合相談部」、「研修部」に組織改編を行った。
平成27年6月	利用者100万人を達成
平成28年4月	大分県社会福祉協議会が、第3期の指定管理者となった。 (平成28年4月～令和3年3月)
平成28年10月	福祉用具展示場内に「介護ロボットコーナー」を設置
平成29年4月	福祉用具研修と福祉用具展示場の一体的運営を図るため「介護研修・総合相談部」を設置。また長期的で幅広い観点から福祉人材の確保を推進するため「総務・人材部」を設置するなどの組織改編を行った。
平成30年2月	福祉用具展示場内に「おおいた産介護福祉機器コーナー」を設置
令和2年6月	新型コロナウイルス感染拡大防止及び研修受講者等の利便性向上の観点からオンラインによる研修を導入
令和3年4月	大分県社会福祉協議会が、第4期の指定管理者となった。 (令和3年4月～令和8年3月)
令和4年4月	福祉人材の養成及び育成に係る研修体制を「福祉人材センター」に集約。また、介護ロボット・ICTの普及・啓発の促進のために「介護ロボット普及推進班」を設置するなどの組織改編を行った。 「大分県保育士・保育所支援センター」を開所
令和4年6月	「大分県介護ロボット普及推進センター」を開所
令和5年11月	開設30周年記念「センターまつり」開催
令和6年4月	「大分県介護ロボット普及推進センター」を「大分県介護DXサポートセンター」に改称
令和8年4月	大分県社会福祉協議会が、第5期の指定管理者となった。 (令和8年4月～令和13年3月)

※ 令和8年3月31日現在の累計利用者数 1,431,676 名

Ⅱ 社会福祉介護研修センターの概要

社会福祉介護研修センターの概要

1 設置目的

高齢社会を支える福祉の人づくりを推進するため、広く県民を対象とした介護研修、社会福祉施設職員や社会福祉関係行政職員等の社会福祉従事者に対する専門研修、福祉用具の展示・普及、高齢者問題に対する相談活動及び福祉人材のあっせん等の各事業を総合的に実施する。

2 施設の概要

(1) 社会福祉介護研修センター

所在地：大分市明野東3丁目4番1号

設置年月：平成5年11月

敷地面積：13,579.14㎡（駐車場214台）

建物構造：本館（鉄筋コンクリート造） 地上3階・地下1階

延床面積：5,984.34㎡

主要施設：

【1階】福祉用具展示場、高齢者総合相談センター、福祉人材センター、相談室、会議室、事務室

【2階】研修室3室、介護実習室5室（入浴実習室、ベッド実習室、トイレ実習室、和室実習室、調理実習室）、相談室、休憩室、講師控室

【3階】大ホール、小ホール、研修室3室、図書情報室、講師控室

(2) 住宅改造モデル展示場

高齢者や障がい者が暮らしやすい住宅改修の知識の普及を図るため、玄関、寝室、トイレ、浴室、廊下等を中心に改修例を展示し、相談もできるようにしている。

設置場所：大分県社会福祉介護研修センター敷地内

設置月日：平成5年11月

構造・規模：木造2階建 249.79㎡（延床面積）

主な展示例：玄関3例、トイレ8例、浴室3例、浴室洗面所一体例1例
寝室（和室1例、洋室1例）、キッチン1例、ホームエレベーター1例、階段昇降機1例等

(3) 災害物資備蓄倉庫（旧ウエルフエアテクノハウス）

大分県社会福祉介護研修センター敷地内に設置されていたウエルフエアテクノハウスを平成25年4月1日付けで災害物資備蓄倉庫に用途変更し、災害時における非常用物資等の保管場所として使用している。

(参考)

【ウエルフエアテクノハウスの概要】

ウエルフエアテクノハウスは、平成5年に制定された「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」いわゆる「福祉用具法」に基づき、通商産業省工業技術院の医療福祉機器技術研究開発制度の一環として、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が技術研究組合医療福祉機器研究所に委託し、望ましい在宅介護を実現するために、先端在宅介護機器システムや様々な工夫を凝らした高齢者配慮住宅の技術開発を推進する研究施設として、全国13カ所に設置された。

・設置年月：平成7年3月

（平成12年4月、新エネルギー・産業技術総合開発機構から大分県に譲与）

・構造・規模：軽量鉄骨造2階建 197.24㎡（延床面積）

・主な設備：キッチン 電動昇降調理台、横型乾燥機付洗濯機

玄関 電動昇降移乗ベンチ、段差解消機（屋外タイプ）、監視カメラ

居間等 水平トランスファー、電動昇降トイレ、移動テーブル

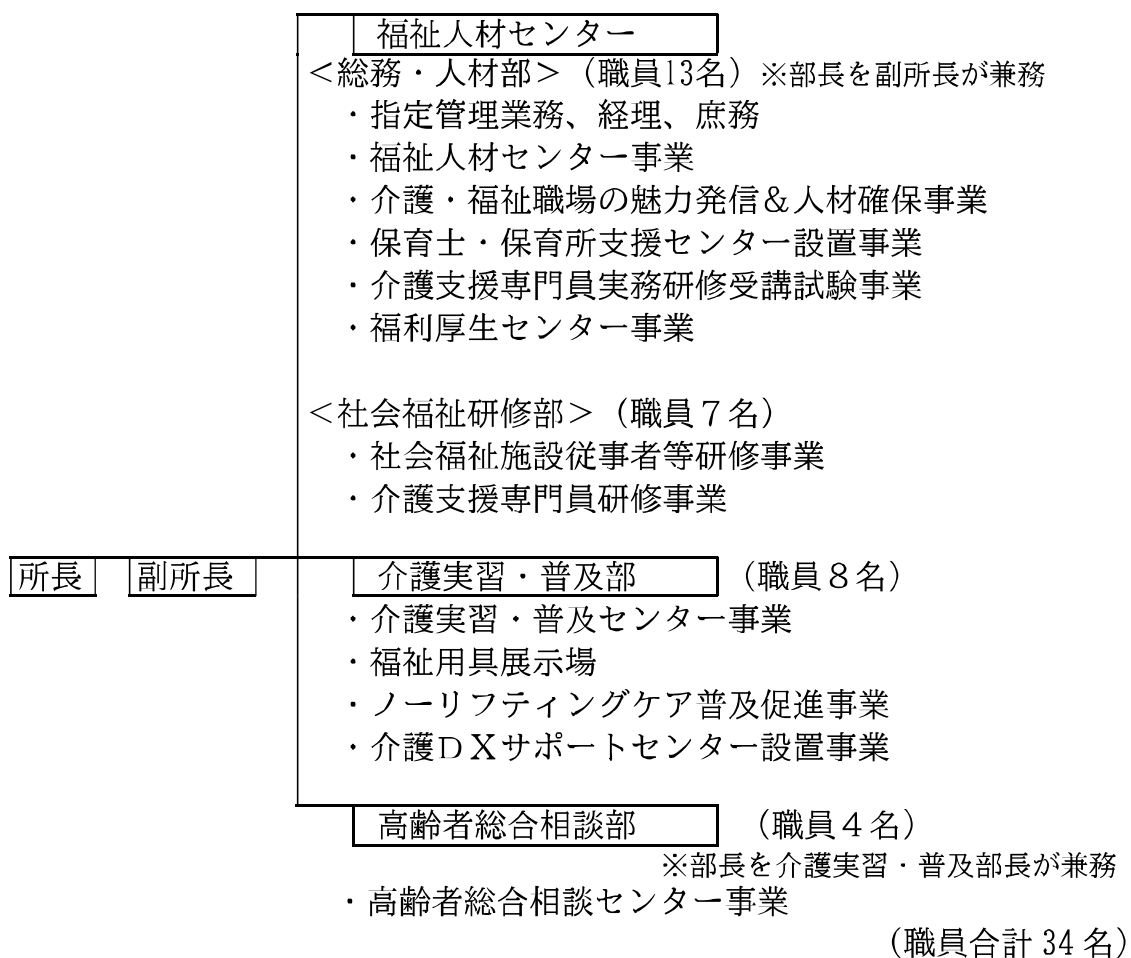
その他 非常時外開き建具、健康省エネ空調システム、太陽光発電システム、ホームエレベーター

3 管理運営

社会福祉法人大分県社会福祉協議会（指定管理者）による管理運営

4 組織

社会福祉介護研修センター組織図



職員配置内訳

所 属	人数	配置部所
大分県社会福祉協議会	32名	所長、副所長 福祉人材センター 介護実習・普及部 高齢者総合相談部
農協共済 別府リハビリテーションセンター	1 名	高齢者総合相談部
なかつ情報通信開発センター（株）	1 名	介護実習・普及部

※介護研修の実習講師

介護研修の実施に当たっては、平成３年度から経験豊富な福祉施設職員、訪問介護員等を介護技術講師として養成しており、研修センター及び地域で開催する研修の講師を務めている（令和７年度までの養成者数は６４０名）。

Ⅲ 令和8年度業務計画

- 1 業務計画（基本目標・業務内容）
- 2 指定管理業務計画
- 3 知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結する業務計画
- 4 自主事業業務計画

1 令和8年度 業務計画

○令和8年度 基本目標

○令和8年度 業務内容

- ・ 2026大分県社会福祉介護研修センター研修体系
- ・ 令和8年度 大分県社会福祉介護研修センター研修分類
- ・ 令和8年度 大分県社会福祉介護研修センター研修一覧

令和8年度 業務計画

1 基本目標

2024年10月1日現在の県の高齢化率は34.4%と、県民の3人に1人以上が65歳以上の高齢者となっており、全国平均の29.3%を大きく上回るスピードで高齢化が進展している。また、いわゆる団塊の世代が75歳以上となり、一人暮らしの高齢者の増加に加え、認知症高齢者や医療と介護の両方を必要とする高齢者は今後更に増加することが見込まれている。

現在大分県では、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、「地域包括ケアシステム」の深化・進化が図られている。さらには、団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年を見据え、誰もが互いに支えながら自分らしく暮らすことができる「地域共生社会」の実現に向けた取組が進められている。

その一方で、高齢者の介護を担う職員は、必要とされる人数に対し、県内では2030年に約5,400人、2040年に約8,800人が不足すると見込まれるなど、将来を見据えた福祉・介護人材の確保は喫緊の課題となっており、これまで以上に多様かつ効果的な人材確保の取組みが求められている。

こうした介護サービスの需要の伸びや福祉・介護分野の人材不足に対応するために、令和8年度から指定管理者として5期目がスタートする大分県社会福祉介護研修センターでは、施設機能を有効に活用しながら、このような時代の要請に応えうる社会福祉事業従事者（福祉・介護人材）の確保・育成・定着、県民への介護知識・技術等の普及啓発や介護予防・健康づくりの支援に取り組むとともに、介護現場における介護ロボット等のテクノロジー活用の支援やノーリフティングケアの推進による質の高い介護の提供と職員の業務負担軽減、多様な働き方を促進する。

以上を踏まえ、令和8年度の重点事項を定め、研修業務等の充実に努める。

- ①現場が求める人材養成を目指し、利用者本位のサービスの理解・実践力醸成、専門職として必要な知識・技術の修得、潜在的なニーズに気づく力の獲得等を重点として、普遍的なテーマに加え時宜にかなったテーマも積極的に取り入れ、研修を実施する。
- ②人生100年時代に向け、高齢になっても健康な状態で生活できるよう、健康づくり、フレイル予防、認知症予防や介護機能強化につながる教室を実施し、高齢者や障がい者等が地域で自立した日常生活を送ることができるよう支援し、社会参加につなげる。
- ③介護DXサポートセンターでは各圏域のモデル事業所をハブとし、地域で生産性向上の取組が広がるよう支援するとともに、介護する側・される側双方にとって安心して身体の負担軽減にもつながるノーリフティングケアの導入促進を図り、質の高いケアの提供と人材の確保・定着の実現に取り組む。
- ④高齢者やその家族からの生活の困りごと等の相談に対し専門的・総合的な対応に努め、福祉用具展示場等の周知も図り、高齢者福祉の増進を図るとともに、地域包括支援センター等関係機関との連携強化に努める。
- ⑤SNS活用等による情報発信強化、きめ細かな相談対応など、福祉人材センターによる福祉・介護・保育人材の確保・定着に取り組む。

2 業務内容

1 指定管理業務
施設の運営・維持管理に関する業務 介護実習・普及センター運営に関する業務 高齢者総合相談センター運営に関する業務 福祉人材センター運営に関する業務 福祉・介護現場職員におけるオンデマンド型研修配信システム活用推進事業 (提案事業)
2 知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結する業務
社会福祉施設職員等研修事業 認知症介護実践研修等事業 介護予防職員育成推進事業 地域包括ケア推進に係る人材育成研修事業 職場体験事業 介護入門者研修実施事業 介護の仕事入門セミナー実施事業 福祉・介護人材マッチング機能強化事業 ノーリフティングケア普及促進事業 保育士・保育所支援センター設置事業 介護DXサポートセンター設置事業
3 自主事業
(指定研修事業) 介護支援専門員研修事業 (自主研修事業) 福祉用具専門研修事業 福祉サービス実践力向上研修事業 (連携共同事業) 介護担当職員専門研修事業 (その他業務) 福利厚生センター事業 介護支援専門員実務研修受講試験事業 介護職員初任者研修資格取得助成事業

2026 大分県社会福祉介護研修センター研修体系

*付番は社会福祉介護研修センターの自主研修 [] 指定管理業務

1 行政職員

- 階層・職種別
 - 新任職員 14 県市町村福祉担当新任職員研修
 - 現任職員 15 県市町村高齢者福祉担当職員研修
 - 16 県市町村障がい福祉担当職員研修
 - 管理監督職員 17 県市町村福祉担当管理監督職員研修

- 課題別
 - 10 相談業務担当職員研修

2 社会福祉施設・在宅等職員

- 階層別
 - 新任職員 18 社会福祉施設等新任職員研修(保育所を除く)
 - 19 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース
 - 20 階層別キャリアアップ研修初任者研修
 - 中堅職員 19 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース
 - 20 階層別キャリアアップ研修中堅職員研修
 - 指導的職員 20 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース
 - 21 階層別キャリアアップ研修チームリーダー研修
 - 管理職員 21 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース
 - 22 階層別キャリアアップ研修管理職員研修
 - 22 社会福祉法人監事・評議員研修(保育所を除く)
 - 23 社会福祉法人理事(長)研修(保育所を除く)
 - 42 介護保険事業所トップセミナー

- 職種別
 - 直接支援職員(入所系)
 - 24 高齢者福祉施設相談職員研修
 - 25 社会福祉施設等新任介護担当職員研修
 - 26 障がい児(者)施設等職員研修
 - 直接支援職員(在宅系)
 - 39 サービス計画担当者研修(基礎課程)
 - 40 サービス計画担当者研修(応用課程)
 - 41 介護職員(現任者)研修
 - 27 障がい児(者)居宅介護職員養成研修
 - 事務担当職員 28 社会福祉施設事務担当職員研修(保育所を除く)
 - 給食担当職員 29 社会福祉施設等給食担当職員研修(保育所を除く)
 - 看護担当職員 30 社会福祉施設等看護担当職員研修
 - 支援専門員
 - 51 *介護支援専門員実務研修
 - 52 *介護支援専門員専門・更新研修(課程Ⅰ)
 - 53 *介護支援専門員専門・更新研修(課程Ⅱ)
 - 54 *介護支援専門員更新研修
 - 55 *介護支援専門員再研修

- 福祉人材養成確保 33 社会福祉士養成研修

- 課題別
 - 31 介護技術講師養成研修
 - 32 介護技術講師継続研修
 - 59 *介護技術セミナー
 - 60 *摂食・嚥下&口腔ケア1DAYセミナー
 - 61 *排泄初級セミナー
 - 34 認知症介護実践者研修
 - 35 認知症介護実践リーダー研修
 - 36 認知症対応型サービス事業開設者研修
 - 37 認知症対応型サービス事業管理者研修
 - 38 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修
 - 57 *リフトリーダー養成研修
 - 9 福祉用具・介護テクノロジー等研修
 - 49 ノーリフティングケア普及促進事業研修
 - 50 介護DXサポートセンター設置事業研修
 - 58 *福祉サービス実地力向上研修

- リービス改善提案事業
 - 11 福祉・介護現場職員に対するオンデマンド型研修配信システム活用福祉事業

3 地域福祉活動従事者

- 地域支援事業関連
 - 43 生活支援コーディネーター養成研修
 - 44 地域包括支援センター(初任者・現任者)養成研修
 - 45 地域ケア会議コーディネーター養成研修
 - 46 在宅医療・介護連携研修

4 一般県民

- 福祉人材養成確保
 - 13 子どものための福祉講座
- 在宅介護講座
 - 1 介護入門教室(見学コース)
 - 2 介護入門教室(入門コース)
 - 3 介護予防教室
 - 4 介護技術教室
 - 5 認知症予防教室
 - 6 認知症介護教室
 - 7 テーマ別教室
 - 8 公開介護教室
- 福祉人材養成確保
 - 12 社会福祉事業経験者等再就職支援講習会
 - 47 介護入門者研修
 - 48 介護の仕事入門セミナー

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修分類

1 指定管理研修

研 修 名	対象者	研修区分
(介護実習・普及センター事業)		
1 介護入門教室（見学コース）	一般県民	在宅介護研修
2 介護入門教室（入門コース）	一般県民	在宅介護研修
3 介護予防教室	一般県民	在宅介護研修
4 介護技術教室	一般県民	在宅介護研修
5 認知症予防教室	一般県民	在宅介護研修
6 認知症介護教室	一般県民	在宅介護研修
7 テーマ別教室	一般県民	在宅介護研修
8 公開介護教室	一般県民	在宅介護研修
9 福祉用具・介護テクノロジー等研修	一般県民	課題別研修
(高齢者総合相談センター事業)		
10 相談業務担当職員研修	行政職員	課題別研修
(福祉人材センター事業)		
11 福祉・介護現場職員に対するオンデマンド型研修配信システム活用推進事業	施設・在宅等職員	サービス改善提案事業
12 社会福祉事業経験者等再就職支援講習会	一般県民	人材養成研修
13 子どものための福祉講座	一般県民	人材養成研修

2 委託研修

研 修 名	対象者	研修区分
(社会福祉施設従事者等研修事業)		
14 県市町村福祉担当新任職員研修	行政職員	階層別研修
15 県市町村高齢者福祉担当職員研修	行政職員	職種別研修
16 県市町村障がい福祉担当職員研修	行政職員	職種別研修
17 県市町村福祉担当管理監督職員研修	行政職員	階層別研修
18 社会福祉施設等新任職員研修（福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース）	施設・在宅等職員	階層別研修
19 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース	施設・在宅等職員	階層別研修
20 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース	施設・在宅等職員	階層別研修
21 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース	施設・在宅等職員	階層別研修
22 社会福祉法人監事・評議員研修	施設・在宅等職員	階層別研修
23 社会福祉法人理事（長）研修	施設・在宅等職員	階層別研修
24 高齢者福祉施設相談職員研修	施設・在宅等職員	職種別研修
25 社会福祉施設等新任介護担当職員研修	施設・在宅等職員	職種別研修
26 障がい児（者）施設等職員研修	施設・在宅等職員	職種別研修
27 障がい児（者）居宅介護職員養成研修	施設・在宅等職員	職種別研修
28 社会福祉施設事務担当職員研修	施設・在宅等職員	職種別研修
29 社会福祉施設等給食担当職員研修	施設・在宅等職員	職種別研修
30 社会福祉施設等看護担当職員研修	施設・在宅等職員	職種別研修
31 介護技術講師養成研修	施設・在宅等職員	課題別研修
32 介護技術講師継続研修	施設・在宅等職員	課題別研修
33 社会福祉士養成研修	施設・在宅等職員	人材養成研修

(認知症介護実践研修事業)		
34 認知症介護実践者研修	施設・在宅等職員	課題別研修
35 認知症介護実践リーダー研修	施設・在宅等職員	課題別研修
36 認知症対応型サービス事業開設者研修	施設・在宅等職員	課題別研修
37 認知症対応型サービス事業管理者研修	施設・在宅等職員	課題別研修
38 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	施設・在宅等職員	課題別研修
(介護予防職員等育成推進事業)		
39 サービス計画担当者研修(基礎課程)	施設・在宅等職員	職種別研修
40 サービス計画担当者研修(応用課程)	施設・在宅等職員	職種別研修
41 介護職員現任者研修	施設・在宅等職員	職種別研修
42 介護保険事業所トップセミナー	施設・在宅等職員	階層別研修
(地域包括ケア推進に係る人材育成研修事業)		
43 生活支援コーディネーター養成研修	地域福祉活動従事者	職種別研修
44 地域包括支援センター(初任者・現任者)養成研修	地域福祉活動従事者	職種別研修
45 地域ケア会議コーディネーター養成研修	地域福祉活動従事者	職種別研修
46 在宅医療・介護連携研修	地域福祉活動従事者	職種別研修
(介護入門者研修実施事業)		
47 介護入門者研修	一般県民	人材養成研修
(介護の仕事入門セミナー実施事業)		
48 介護の仕事入門セミナー	一般県民	人材養成研修
(ノーリフティングケア普及促進事業)		
49 ノーリフティングケア普及促進事業研修	施設・在宅等職員	課題別研修
(介護DXサポートセンター設置事業)		
50 介護DXサポートセンター設置事業研修	施設・在宅等職員	課題別研修

3 自主研修

研 修 名	対象者	研修区分
(介護支援専門員研修事業)		
51 介護支援専門員実務研修	施設・在宅等職員	職種別研修
52 介護支援専門員専門・更新研修(課程Ⅰ)	施設・在宅等職員	職種別研修
53 介護支援専門員専門・更新研修(課程Ⅱ)	施設・在宅等職員	職種別研修
54 介護支援専門員更新研修	施設・在宅等職員	職種別研修
55 介護支援専門員再研修	施設・在宅等職員	職種別研修
(福祉用具専門研修事業)		
56 福祉用具専門相談員指定講習会	施設・在宅等職員	課題別研修
57 リフトリーダー養成研修	施設・在宅等職員	課題別研修
(福祉サービス実践力向上研修事業)		
58 福祉サービス実践力向上研修	施設・在宅等職員	課題別研修
(介護担当職員専門研修事業)		
59 介護技術セミナー	施設・在宅等職員	課題別研修
60 摂食・嚥下&口腔ケア1 DAYセミナー	施設・在宅等職員	課題別研修
61 排泄初級セミナー	施設・在宅等職員	課題別研修

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧

No	研修名	対象者	日数 (日)	人数 (名)
1	介護入門教室（見学コース）	一般県民、企業、専門学校、海外の団体等	20	600
2	介護入門教室（入門コース）	一般県民、企業、専門学校、海外の団体等	30	900
3	介護予防教室	一般県民	12	360
4	介護技術教室	一般県民	20	400
5	認知症予防教室	一般県民	16	480
6	認知症介護教室	一般県民	18	540
7	テーマ別教室	一般県民	9	270
8	公開介護教室	一般県民	4	1,000
9	福祉用具・介護テクノロジー等研修	一般県民	1	20
10	相談業務担当職員研修	行政高齢者福祉担当課、市町村社協、地域包括支援センター等の相談業務職員	2	60
11	福祉・介護現場職員に対するオンデマンド型研修配信システム活用推進事業	福祉・介護施設・事業所に勤務する職員	-	-
12	社会福祉事業経験者等再就職支援講習会	介護現場への再就職を希望する方または介護福祉系資格を取得後に介護職への就職を目指す方	2	20
13	子どものための福祉講座	小・中・高校生	0	0
14	県市町村福祉担当新任職員研修	福祉行政機関の新任職員（実務経験1年未満）	2	140
15	県市町村高齢者福祉担当職員研修	高齢者福祉行政機関の職員	1	20
16	県市町村障がい福祉担当職員研修	障害福祉行政機関の職員	1	20
17	県市町村福祉担当管理監督職員研修	0	-	-
18	社会福祉施設等新任職員研修（福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース）	社会福祉施設・団体等の新任職員（概ね勤務年数1年未満）	5	360
19	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース	社会福祉施設・団体等で担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員（入職後概ね3～5年程度の職員）	3	120
20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース	社会福祉施設・団体等で近い将来チームリーダー等の役割を担う中堅職員、主任・係長等の職員	3	120
21	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース	社会福祉施設・団体等で近い将来管理者等の役割を担う指導的立場の職員または施設長や部門管理者等の職員	3	120
22	社会福祉法人監事・評議員研修	社会福祉法人の監事等	1	50
23	社会福祉法人理事（長）研修	社会福祉法人の理事長および理事	-	-
24	高齢者福祉施設相談職員研修	高齢者福祉施設において相談員等	1	60
25	社会福祉施設等新任介護担当職員研修	社会福祉施設等の新任介護担当職員	2	80
26	障がい児（者）施設等職員研修	障害者支援施設等において障害福祉サービスに従事する職員	2	100

No	研修名	対象者	日数 (日)	人数 (名)
27	障がい児（者）居宅介護職員養成研修	介護職員初任者研修課程修了者、実務者研修課程修了者又は介護福祉士で、現に障がい者（児）居宅介護等事業に従事する者	2	40
28	社会福祉施設事務担当職員研修	社会福祉施設等の事務長、事務担当職員	2	120
29	社会福祉施設等給食担当職員研修	（調理員コース） 社会福祉施設等に勤務する調理員等 （管理栄養士・栄養士コース） 社会福祉施設等に勤務する管理栄養士・栄養士	1	50
30	社会福祉施設等看護担当職員研修	社会福祉施設等の看護担当職員及び施設等利用者に対し直接または間接的に支援している職員	1	50
31	介護技術講師養成研修	社会福祉施設等で5年以上の勤務経験を有する方	10	180
32	介護技術講師継続研修	社会福祉介護研修センターの介護技術講師	3	90
33	社会福祉士養成研修	社会福祉士資格を取得しようとする者	配信	30
34	認知症介護実践者研修	①介護保険施設等の職員 ②認知症対応型サービス事業の管理者及び小規模多機能型居宅介護の計画作成担当者の就任予定者	18	900
35	認知症介護実践リーダー研修	①認知症介護実践者研修又は実務研修基礎課程を修了後、1年以上経過した者 ②介護保険施設等の介護職員等で認知症介護の実務経験が5年以上の者	6	360
36	認知症対応型サービス事業開設者研修	認知症介護事業所の代表者または代表者になることが具体的に予定されている者	1	10
37	認知症対応型サービス事業管理者研修	認知症対応型サービス事業所の管理者または就任予定者	3	150
38	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業所また事業所の計画作成担当者、看護小規模多機能型は計画作成担当者就任予定者	2	40
39	サービス計画担当者研修（基礎課程）	指定訪問介護事業所・指定通所介護事業所における現任のサービス計画担当者	2	120
40	サービス計画担当者研修（応用課程）	指定訪問・通所介護事業所の職員、サービス計画担当者研修（基礎課程）を修了したサービス計画作成者	6	120
41	介護職員現任者研修	指定訪問介護事業所、通所介護事業所に所属する現任の介護職員等	3	120
42	介護保険事業所トップセミナー	指定訪問介護事業所、通所介護事業所の開設者、管理者等	1	100
43	生活支援コーディネーター養成研修	市町村のコーディネーター、行政担当者	4	200

No	研修名	対象者	日数 (日)	人数 (名)
44	地域包括支援センター（初任者・現任者）養成研修	地域包括支援センター、市町村保健所	4	180
45	地域ケア会議コーディネーター養成研修	市町村、地域包括支援センター職員、各専門職	3	170
46	在宅医療・介護連携研修	市町村職員、医療・介護関係者、保健所職員	2	140
47	介護入門者研修	介護未経験者であり、かつ介護職としての資格を持たない一般県民	12	60
48	介護の仕事入門セミナー	介護の仕事に関心のあり、介護の仕事に就きたいと考えている一般県民	4	60
49	ノーリフティングケア普及促進事業研修	通所系介護サービス事業所、訪問系介護サービス事業所、介護保険施設、有料老人ホーム等の管理者（施設長等）及び介護担当責任者等	14	270
50	介護DXサポートセンター設置事業研修	通所系介護サービス事業所、介護保険施設、有料老人ホーム等の管理者（施設長等）及び介護担当責任者（業務リーダー）等	14	770
51	介護支援専門員実務研修	大分県介護支援専門員実務研修受講試験の合格者等	15	1,940
52	介護支援専門員専門・更新研修（課程Ⅰ）	介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6か月以上の者。介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者。（実務経験者）	10	600
53	介護支援専門員専門・更新研修（課程Ⅱ）	（専門） 介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後3年以上の者 （更新） 介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者（実務経験者）	12	1,920
54	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員証の有効期間中に介護支援専門員としての実務に従事した経験を有しない者（実務未経験者）	22	825
55	介護支援専門員再研修	介護支援専門員証の有効期限が失効している者	22	275
56	福祉用具専門相談員指定講習会	福祉用具専門相談員を目指す者	休止中	0
57	リフトリーダー養成研修	施設等で腰痛予防対策を積極的に推進しようとする者	4	100
58	福祉サービス実践力向上研修	社会福祉施設・団体等の職員	2	100
59	介護技術セミナー	介護職員等	2	60
60	摂食・嚥下&口腔ケア1DAYセミナー	「食」に携わる医療・介護・福祉職または摂食・嚥下に関心のある者	1	30
61	排泄初級セミナー	現在排泄ケアに関わっている者または今後関わる予定の者	5	150

2 令和8年度 指定管理業務計画

- ・ 令和8年度 介護実習・普及センター事業計画
- ・ 令和8年度 高齢者総合相談センター事業計画
- ・ 令和8年度 福祉人材センター事業計画

令和8年度 介護実習・普及センター事業計画

1 基本方針

県民一人ひとりが健康寿命を伸ばし、住みなれた地域で自分らしく生活できるよう、生涯を通じた健康づくりやフレイル予防、認知症予防に努めることが求められている。人生100年時代を受けて、高齢になっても健康な状態で生活できるよう、ライフステージに応じた健康教室や介護機能の強化を図る教室を実施する。

さらに、在宅における自立支援や重度化防止、および介護者の負担軽減のための福祉用具や介護テクノロジー等などの普及・啓発、住宅改造モデル展示場活用など介護実習・普及センターの役割の周知も積極的に行う。

2 事業内容

(1) 介護を中心とした高齢者のニーズにかかる情報提供

県民や企業、団体等に対して介護及び福祉用具、介護ロボットやICT機器、住宅改修等に関する情報を提供し、広報を行う。

- ① 各種チラシ・パンフレットの作成・配布
- ② 情報誌への掲載とともに、ホームページ等 SNS 情報の発信
- ③ 報道機関等のメディアを活用した広報
- ④ 図書、DVD 等の貸出し

(2) 福祉用具、介護ロボット等普及啓発

- ① 福祉用具、介護テクノロジー等の展示、住宅改修モデルの展示
- ② 福祉用具、介護テクノロジー等に関する研修
- ③ 福祉用具、介護テクノロジー等の利用方法等の情報提供
- ④ 福祉用具、介護テクノロジー、住宅改修等に関する助言・相談
- ⑤ 福祉用具製造事業者等に利用状況を還元できる体制の整備

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P15）のNo.1～9のとおり

令和8年度 高齢者総合相談センター事業計画

1 基本方針

超高齢社会の進展に伴い、高齢者やその家族が抱える福祉・保健・医療や各種の心配ごと・悩みごとなど複雑・多様化している高齢者問題に対し、専門的かつ総合的な相談活動に努め、高齢者及びその家族の福祉の推進を図る。

また、地域住民にとって身近な相談機関となる地域包括支援センター等に対して相談対応に係る各種情報提供を行う。

2 事業内容

(1) 電話・面接による相談の実施

高齢者やその家族の抱える心配ごと・悩みごとを解決に導くために、電話や面接などにより相談員が相談に応じる。

(2) 情報の収集・整理

高齢者やその家族の抱える各種の心配ごと・悩みごとを解決に導くために必要な各種情報の収集・整理を行う。

《 相 談 体 制 》					
相談事項		相談内容	相談員	曜日	時間
一般相談		心配ごと・悩みごと等各種の相談や福祉情報の提供	高齢者総合相談センター相談員		8：30～ 17：00
専門相談	医療・介護・機能回復	健康管理、介護方法、リハビリ等に関すること	ケアマネ 看護師 理学療法士 作業療法士等	火曜日～ 日曜日	8：30～ 17：00 (要予約)
	からだの悩み	食事・栄養・排泄・痛み等、身体の悩みに関すること	保健師	第2火曜日	13：00～ 16：00 (要予約)
	言語・聴覚・嚥下機能回復	言語・聴覚・発声・発音・飲み込み等に関すること	言語聴覚士	奇数月 第3金曜日	
	法律	遺産相続・金銭貸借・離婚等、法律に関すること	弁護士	第3水曜日	
	税務	各種税金に関すること	税理士	第2木曜日	
	住宅増改築	高齢者向け住宅の増改築に関すること	一級建築士	偶数月 第3金曜日	
	認知症介護	認知症介護に関すること	認知症の人と家族の会	火曜日～ 金曜日	10：00～ 15：00

(3) 市町村等の相談体制の支援に必要な研修及び情報提供

- ① 地域包括支援センター等、相談業務担当職員対象の研修を実施
- ② 広報紙「研修センターだより」やホームページ、SNS 等による情報提供

(4) 広報活動

マスコミや県、市町村の広報誌、SNS の活用、研修などを通じて、広く高齢者総合相談センターの活用促進を図る。

(5) 福祉用具展示場の活用

福祉用具や介護用品の利用方法及び購入などの相談に対応するとともに、事業所に対する福祉用具の試用貸出を行う。

(6) 高齢者の居住環境の改善に関する啓発

「福祉用具展示場・住宅改造モデル展示場案内」、「住宅改造モデル展示場のご案内」等のリーフレットを関係機関や関係職種等の研修受講者に配布するとともに、SNS も活用し、福祉用具展示場や住宅改造モデル展示場の普及・啓発を行い、利用促進を図る。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P15）の No.10 のとおり

令和8年度 福祉人材センター事業計画

1 基本方針

福祉・介護職場への就職を促進するため、福祉施設等の求人・求職の紹介、斡旋や就職フェア等を開催するとともに、職業選択につながる情報発信の強化や福祉関連資格取得のための研修等を実施し、福祉人材の確保や育成を図る。

2 事業内容

(1) 福祉人材無料職業紹介事業

- ① 求職・求人登録及び斡旋を実施するとともに、職業紹介担当者による各種面接相談、指導等を実施する。
- ② 求職・求人相談事業の実施
求職・求人登録者に対し、求人情報誌を送付（毎月）し、求人情報を提供する。
- ③ 公共職業安定所、介護労働安定センター、看護協会、福祉系学校、職能団体等との連携
各関係機関との連携を密にし、求人・求職者の情報交換等を行う。
- ④ 日田市福祉人材バンクとの連携
無料職業紹介をはじめとする事業について、連携を強化することにより、福祉人材確保対策を包括的に推進する。
- ⑤ 福祉人材情報 C00L システムの活用
ア 福祉人材情報の統計等の活用
イ インターネットによる求人情報の提供
ウ 求職者に対するインターネットでの福祉情報の提供
（「福祉のお仕事」ホームページの活用）
- ⑥ 福祉系学生のための福祉職場就職推進活動
福祉系学校への進学又は福祉職場への就職を考えている学生等に対し、資格や福祉職場についてアドバイスなどを行う。

(2) 福祉に関する啓発・広報事業

- ① 新聞への求人情報の掲載、機関誌の発行、リーフレットの配布等を行う。
- ② 福祉人材センターホームページの充実・運営
福祉人材センター情報発信のコアとしてホームページを充実強化する。また、求職者向け・事業者向け研修等の情報や SNS 活用等による発信メニューを強化し、福祉・介護情報のハブ的な役割を担う。

(3) 福祉職場への就職説明会

福祉職場に就労を希望する者を対象に「福祉のしごと就職フェア」を開催する。

実施回数：2回（夏・春）

実施内容：求人施設との合同面談会、就職・資格等相談

(4) 大分県福祉人材確保推進事業

① 大分県福祉人材確保推進会議

福祉、特に介護職場での人材確保を図るため、関係者による課題の共有、課題解決のための協議・研究・情報交換を目的に開催する。

参加者：福祉施設関係種別協議会、職能団体、介護の専門学校、大学、高校、
介護労働安定センター、大分労働局、大分公共職業安定所、県関係課

② 介護職再就職支援講習会

介護現場への再就職を希望する者を対象に、専門知識や介護技術の講習を実施し、就職支援を図る。

実施回数：年1回×2日間

③ 子どものための福祉講座

小・中・高校生に対して、介護福祉体験や地域の様々な資源とつながりを持った福祉教育を実施し、地域社会の一員としての福祉意識の向上と、これからの福祉を担う人材の育成を図る。

実施場所：社会福祉介護研修センター、県内の小・中・高等学校、公民館等

対象者：県内の小・中・高等学校の児童・生徒及び保護者

事業内容：介護福祉体験、福祉用具展示場見学、地域づくりを目指した福祉教育等

④ 調査研究事業

ア 県内の社会福祉施設等での職員採用や退職の実態、中高年齢者の受入状況、さらには人材確保や定着のための対策等を調査し、今後の人材確保に資するため「社会福祉施設等における人材確保に関する調査」を実施する。

イ 求職者の求職活動の参考として提供するため、「福祉の仕事・資格ガイドブック」（2027年版）を作成する。

(5) 福祉人材確保特別推進事業

① 社会福祉施設等新任職員研修及び社会福祉施設等新任介護担当職員研修

ア 社会福祉施設等新任職員研修

社会福祉従事者として必要な基礎知識、心得や福祉の理念及び介護技術等を習得するとともに自己啓発を図ることを目的として実施する。

イ 社会福祉施設等新任介護担当職員研修

介護業務に携わる職員の質の確保を図るとともに、サービス全体の質の向上を図ることを目的として開催する。

② 社会福祉士養成研修

令和８年度（第３９回）社会福祉士国家試験の受験準備対策として、大分県社会福祉士会との共催により養成講座を開催する。

（６）離職介護福祉士等に係る届出の受理

社会福祉事業等に従事していた介護福祉士等の資格を有する方が離職した際、住所、氏名等の届出を受理する。

３ 研修計画

令和８年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P15～16）の
No.12, 13, 18, 25, 33 のとおり

3 令和8年度 知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結する業務計画

- ・ 社会福祉施設職員等研修事業計画
- ・ 認知症介護実践研修事業計画
- ・ 介護予防職員等育成推進事業計画
- ・ 地域包括ケア推進に係る人材育成研修事業計画
- ・ 職場体験事業計画
- ・ 介護入門者研修実施事業計画
- ・ 介護の仕事入門セミナー実施事業計画
- ・ 福祉・介護人材マッチング機能強化事業計画
- ・ ノーリフティングケア普及促進事業計画
- ・ 保育士・保育所支援センター設置事業計画
- ・ 介護DXサポートセンター設置事業計画

令和8年度 社会福祉施設職員等研修事業計画

1 基本方針

福祉現場が求める人材の育成に資するため、関係機関・団体と連携のもとに、普遍的なテーマに加え、時宜に適ったテーマを積極的に取り入れた研修を計画的に実施する。

2 重点目標

- (1) 利用者本位サービスの理解と実践力の醸成
- (2) 福祉従事者に不可欠な専門的な知識・技術の修得
- (3) 福祉の普遍的理念から導き出される潜在的ニーズへの気づき
- (4) 福祉現場における人権意識の向上

3 事業の内容

(1) 県市町村福祉担当新任職員研修

福祉担当職員としての基礎知識、技術を習得し、社会福祉従事者としての資質の向上を図るための研修を実施する。

(2) 県市町村高齢者福祉担当職員研修

高齢者福祉担当職員としての高度の知識、技術を習得するとともに、その役割の自覚を高めるための研修を実施する。

(3) 県市町村障がい福祉担当職員研修

障がい福祉担当職員としての高度の知識、技術を習得するとともに、その役割の自覚を高めるための研修を実施する。

(4) 県市町村福祉担当管理監督職員研修

上記(2)、(3)の中で実施

(5) 社会福祉施設等新任職員研修（福祉職員キャリアパス生涯研修課程初任者コース・階層別キャリアアップ研修初任者研修を含む）

新任職員としての基礎知識、技術を習得し、社会福祉従事者としての資質向上を図るための研修を実施する。また、サービス提供者、チームの一員としての基本を習得し、福祉職員としてのキャリアパスの方向を示唆する。加えて、人権、同和問題に対する正しい理解と認識を深めるための研修を実施する。

(6) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース（階層別キャリアアップ研修中堅職員研修を含む）

中堅職員としての必要な知識、技術を習得し、社会福祉従事者としての資質向上を図るための研修を実施する。また、中堅職員として役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する。加えて、人権、同和問題に対する正しい理解と認識を深めるための研修を実施する。

(7) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース（階層別キャリアアップチームリーダー研修を含む）

チームリーダーとしての必要な知識、技術を習得し、社会福祉従事者としての資質向上を図るための研修を実施する。また、組織で指導的立場となるチームリーダーに求められる役割を遂行するための基本を習得し、チームリーダーとしてのキャリアパスの方向を示唆する。加えて、人権、同和問題に対する正しい理解と認識を深めるための研修を実施する。

(8) 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース（階層別キャリアアップ研修管理職員研修を含む）

管理職員としての必要な知識、技術を習得し、社会福祉従事者としての資質向上を図るための研修を実施する。また、管理職員としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアパスの方向を示唆する。加えて、人権、同和問題に対する正しい理解と認識を深めるための研修を実施する。

(9) 社会福祉法人監事・評議員研修

社会福祉を取り巻く状況や福祉現場での課題を理解するとともに監事・評議員として必要な知識を習得し、施設運営の公正を図るための研修を実施する。加えて、人権、同和問題に対する正しい理解と認識を深めるための研修を実施する。

※社会福祉法人理事（長）研修と隔年実施・・・R 8年度実施

(10) 社会福祉法人理事（長）研修

時代に即応した施設運営と役割を理解するとともに職務遂行上に必要な知識を習得し、施設運営の向上を図るための研修を実施する。加えて、人権、同和問題に対する正しい理解と認識を深めるための研修を実施する。

※社会福祉法人監事・評議員研修と隔年実施

(11) 高齢者福祉施設相談職員研修

施設利用者の処遇の充実を図るため、対象者に応じた的確な知識及び技術を習得し、生活指導員、相談員としての資質の向上を図るための研修を実施する。

(12) 社会福祉施設等新任介護職員研修

新任の介護担当職員に対して、基礎的な介護理論及び技術を習得させ、施設利用者の処遇の充実を図るための研修を実施する。

(13) 障がい児（者）施設等職員研修

障がい児（者）施設の問題や利用者処遇のあり方についての認識を深めるとともに、利用者に応じた的確な知識及び技術を習得し、施設職員としての資質の向上を図るための研修を実施する。

(14) 障がい者（児）居宅介護職員養成研修

障がいについての理解が深く、障害の特性に応じた支援に関する知識や技術を身につけたホームヘルパーを養成し、ホームヘルプサービスの質を高めるとともに、その拡充を図るための研修を実施する。

(15) 社会福祉施設事務担当職員研修

施設運営の実務である文書事務、経理事務等についての基礎的知識を習得し、施設事務担当職員としての資質の向上を図るための研修を実施する。

(16) 社会福祉施設等給食担当職員研修

施設における適正給食についての知識と技術を習得し、施設利用者の処遇の充実を図るための研修を実施する。

(17) 社会福祉施設等看護担当職員研修

看護担当職員等の資質を向上させ、施設利用者の処遇の充実を図るための研修を実施する。

(18) 介護技術講師養成研修

大分県社会福祉介護研修センターで行う介護技術研修の講師を養成し、介護技術研修の円滑な実施を図るための研修を実施する。

(19) 介護技術講師養成継続研修

介護技術研修講師養成研修を修了後の講師に対して、実習内容の検証、その他講師として必要な知識、情報を習得させ、介護技術研修の充実を図るための研修を実施する。

(20) 社会福祉士養成研修

社会福祉士国家試験を受験し資格を取得しようとする者に対して、必要な理論と技術の研修を行い、知識の向上を図るための研修を実施する。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P15～16）のNo.14～33のとおり

令和8年度 認知症介護実践研修等事業計画

1 基本方針

高齢者介護実務者及びその指導的立場にある者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施する。また、認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある者等に対し、適切なサービスの提供に関する知識等を修得するための研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。

2 事業内容

(1) 認知症介護実践者研修

認知症介護に関する実践的な知識及び技術を修得するための研修を実施する。

(2) 認知症介護実践リーダー研修

認知症介護に関する実践的な知識及び技術を修得するための研修を実施する。

(3) 認知症対応型サービス事業開設者研修

認知症介護に関する基本的な知識及び認知症対応型サービス事業の運営に必要な知識を修得するための研修を実施する。

(4) 認知症対応型サービス事業管理者研修

単独型・併設型指定認知症対応型通所介護事業所、共用型指定認知症対応型通所介護事業所、指定小規模多機能型居宅介護事業所、指定認知症対応型共同生活介護事業所、指定看護小規模多機能型居宅介護事業所、単独型・併設型指定介護予防認知症対応型通所介護事業所、共用型指定介護予防認知症対応型通所介護事業所、指定介護予防小規模多機能型居宅介護事業所又は指定介護予防認知症対応型共同生活介護事業所を管理・運営していくために必要な知識及び技術を修得するための研修を実施する。

(5) 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

指定小規模多機能型居宅介護事業所、指定看護小規模多機能型居宅介護事業所又は指定介護予防小規模多機能型居宅介護事業所において、利用者及び事業の特性を踏まえた指定居宅サービス若しくは指定介護予防サービス等の利用に係る計画又は小規模多機能型居宅介護計画、看護小規模多機能型居宅介護計画若しくは介護予防小規模多機能型居宅介護計画を作成するために必要な知識及び技術を修得するための研修を実施する。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P16）のNo.34～38のとおり

令和8年度 介護予防職員育成推進事業計画

1 基本方針

介護保険制度において、在宅サービスの中心となる訪問介護・通所介護事業所におけるサービス計画担当者・介護職員等を対象に、自立支援・介護予防に必要な知識の習得、技術の向上に資する研修を実施し、在宅サービスの適正な提供及び質の向上を図る。

2 事業内容

(1) 介護保険事業所トップセミナー

① 目的

介護保険事業所の開設者等に対して、介護保険制度の基本理念である自立支援や介護予防等の必要な知識の習得及び技術の向上を図るためのセミナーを実施する。

② 対象者

介護保険事業所の開設者等

(2) 訪問介護・通所介護事業所「サービス計画担当者研修」(基礎課程・応用課程)

① 目的

介護保険制度における居宅サービスの中心となる訪問・通所介護サービスの中で、訪問・通所介護計画を作成するなど重要な役割を担うサービス計画担当者の研修を効率的かつ円滑に運営し、介護保険制度の基本理念である自立支援や介護予防等の必要な知識の習得及び技術の向上を図るための研修を実施する。

② 対象者

ア 基礎課程

訪問・通所介護事業所におけるサービス計画担当者

イ 応用課程

基礎課程を修了した者

(3) 訪問介護・通所介護事業所「介護職員現任者研修」

① 目的

介護保険制度における現任の介護職員等を対象とし、日々の業務において直面する個別の問題に対応するために、介護保険制度の基本理念である自立支援や介護予防等の必要な知識の習得及び技術の向上を図るための研修を実施する。

② 対象者

訪問・通所介護事業所の現任の介護職員で、介護福祉士または介護職員実務者研修修了者等

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧(P16)のNo.39~42のとおり

令和8年度 地域包括ケア推進に係る人材育成研修事業計画

1 基本方針

地域支援事業を担当する職員を対象に研修を実施し、地域包括ケアシステムの構築に資する人材育成・資質向上を図る。

2 事業内容

(1) 生活支援コーディネーター養成研修

① 目的

生活支援コーディネーターとしての技術及び資質向上に関する研修を実施する。

② 対象者

市町村のコーディネーター、行政担当者

(2) 地域包括支援センター（初任者・現任者）養成研修

① 目的

地域包括支援センターの業務に関する技術及び資質向上に関する研修を実施する。

② 対象者

地域包括支援センター、市町村、保健所

(3) 地域ケア会議コーディネーター養成研修

① 目的

地域ケア会議のコーディネート、助言に関する技術及び資質向上に関する研修を実施する。

② 対象者

市町村、地域包括支援センター職員、各専門職

(4) 在宅医療・介護連携研修

① 目的

在宅医療従事者、在宅介護従事者の連携を深める研修や在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口業務の充実を図るための研修を実施する。

② 対象者

市町村、医療・介護関係者、保健所

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P16～17）のNo.43～46のとおり

令和8年度 職場体験事業計画

1 基本方針

福祉・介護の仕事に関心を有する者に対して、職場を体験する機会を提供することにより、実際の職場の雰囲気や業務内容などを直接知ることができる環境をつくり、福祉・介護分野の人材の参入を促進する。

2 事業内容

- (1) 福祉・介護の職場体験を希望する者を募集し、県内の福祉・介護事業所において職場体験を実施する。
- (2) 実施期間は、令和8年5月1日から令和9年2月28日までとする。
- (3) 職場体験の期間及び職場体験受入施設は、大分県福祉人材センターが参加者の希望などを考慮し、受入施設と調整のうえ決定する。

令和８年度 介護入門者研修実施事業計画

1 基本方針

介護分野への多様な人材の確保と参入を促し、福祉・介護サービス事業や地域活動を支える人材を育成するために、日常に役立つ介護の知識や介護職としての必要な基本的な技術の実践的手法を学ぶ。

2 事業内容

(1) 介護に関する基本的な知識や技術を学ぶための研修とし、研修時間は、3 時間の基礎講座及び 18 時間の入門講座の計 21 時間とし、年 3 回開催する。

(研修科目)

基礎講座：介護に関する基礎知識、介護の基本

入門講座：基本的な介護の方法、認知症の理解、障害の理解、
介護における安全確保

(2) 基礎講座と入門講座の受講者については、修了証明書を発行する。

(3) 入門者研修の実施後、介護分野での就労を希望する者については、介護施設・事業所とのマッチング支援の実施等により、研修修了者の介護分野への参入を支援する。

3 研修計画

令和 8 年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧 (P17) の No.47 のとおり

令和8年度 介護の仕事入門セミナー実施事業計画

1 基本方針

介護の仕事に関心のある方、介護の仕事に就きたいと考えている方等が介護の仕事に関する魅力やキャリアパス等の知識を学び、介護分野への多様な人材を促進する。

2 事業内容

- (1) 介護の仕事の魅力やキャリアパス等の知識を学ぶ介護職への導入セミナーを行う。
- (2) セミナーは2時間程度、年4回開催し、介護施設・サービス現場の見学と施設職員による講話を行う「福祉のしごと施設見学会」、介護福祉の専門家による講義等を実施する。
- (3) セミナーの実施後、セミナー参加者に対して介護施設・事業所とのマッチング支援の実施等により、介護分野への就労を支援する。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P17）のNo.48のとおり

令和8年度 福祉・介護人材マッチング機能強化事業計画

1 基本方針

福祉・介護分野においては、個々の事業者の実情がわかりにくいことや小規模な事業所が多いことなどから、求職者が自分にふさわしい職場を見つけにくい状況にある。また事業所・施設では、労働環境等が十分でないところもあり、キャリア展望を示すことができ難い状況にある。

そこで、キャリア支援専門員を配置し、個々の求職者にふさわしい職場を説明、紹介するとともに、事業所・施設に対し働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を行い、円滑な就労・定着を支援する。

2 事業内容

(1) 福祉のしごと相談会の開催

大分を除く県内6か所のハローワークとホルトホール大分で月2回（中津は1回）「福祉のしごと相談会」を実施し、求職者の相談に応じて就職活動の支援を行う。

(2) 地域別就職フェアの開催

県北地区、県南地区、豊肥地区、速見・杵築・国東地域、日田・玖珠・九重地域の県内5地域において就職フェアを開催する。

(3) 事業所訪問等による求人開拓や広報活動等を行う。

令和8年度 ノーリフティングケア普及促進事業計画

1 基本方針

介護する側・される側双方において安全で安心な「持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア」であるノーリフティングケアの福祉施設等での導入を促進し、働きやすい職場環境の整備、職員の離職防止・定着促進を図り、福祉・介護人材の確保に資する。

2 事業内容

(1) ノーリフティングケアマネジメント研修

ノーリフティングケア・ポリシーに係る管理者等のトップの意識改革、ノーリフティングケア導入に当たっての組織体制・職員研修や、機器導入の支援方策等の研修を実施する。

(2) ノーリフティングケア指導者養成研修

ノーリフティングケアを導入しようとする各施設の施設経営者及び管理者、ノーリフティングケアに取り組む際にリーダーの役割を担う職員等に対し、「実施組織づくり」、「導入計画の策定」、「腰痛予防リスクマネジメント」等の講義を3日間行う。また、ノーリフティングケアに係る基本的な技術や指導方法を習得する実技研修を3日間行う。合計6日間の研修により、研修参加施設での組織的な取組や技術指導を行う指導者を養成し、施設等での具体的な導入につなげていく。

(3) ノーリフティングケア先進施設の指定

「管理者」「推進組織」「リスクマネジメント」「職員の健康管理」等の要件を満たす施設を先進施設として指定する。

先進施設指定により、ノーリフティングケアの有用性を幅広く広報するとともに、新たに取り組を始める施設にとって、ノーリフティングケア導入の目標となってもらい、各施設での普及促進を図る。

(4) ノーリフティングケア圏域別研修

ノーリフティングケアの導入促進のために先進施設におけるノーリフティングケアの実践を学び、各圏域の施設同士の連携を図ることを目的とした研修を実施する。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P17）のNo.49のとおり

令和8年度 保育士・保育所支援センター設置事業計画

1 基本方針

保育士不足による保育所待機児童解消のため、保育士就業支援サイト「保育おおい」を活用した就職あっせんや、保育施設と就職希望者との面談の場としての就職フェアの開催、県内外養成校への大分県内施設の採用・実習受入れの情報提供など、再就職支援コーディネーターのきめ細かな取組により、保育士確保を支援する。

2 事業内容

(1) 就職あっせん・相談支援事業

- ① ハローワークでの出張相談
- ② 保育士・保育所等からの就職相談対応
- ③ 福祉のしごと就職フェアでの相談
- ④ 保育士就業支援サイト「保育おおい」の運営
 - ・施設情報登録管理、求人・求職登録管理
 - ・求人・求職の問合せ対応、求人者、求職者へのメールでの情報配信
 - ・求人情報、求人者・求職者、採用決定者の集計
- ⑤ 県内外養成施設への県内施設の採用情報及び実習情報の提供等

(2) 幼児教育・保育のしごと就職フェア

保育園、認定こども園、幼稚園、児童養護施設等に就職を希望する学生や再就職を希望する保育士等を対象に、施設の特徴や働き方、職員採用等の情報提供を行う場を対面・集合の形式で設け、就職活動の支援を行い、保育人材の確保を図る。

期 日：令和8年7月4日（土）

会 場：ホテル日航大分オアシスタワー5階

参加施設：60 法人 98 施設（予定）

(3) 再就職支援事業

ア 保育のおしごと体験

保育の仕事に再就職を希望する潜在保育士に、希望する保育施設での体験機会を提供し、再就職を支援する。

イ 潜在保育士のための研修会

潜在保育士が保育施設の職員等から、現在の保育施設の様子や子育て世代の働き方などの話を聞く機会を提供する。

(4) 保育士の魅力発信事業

ア 出前講座

保育士の仕事への理解・興味を深め、将来にわたって保育人材の安定的な確保に資することを目的として、希望のあった県内高校に県内保育士養成施設の教員等を派遣し、保育士の魅力等について出前講座を実施する。

イ 魅力発信パンフレット

県内中・高校生が保育士を目指すきっかけとなるよう、保育の仕事のやりがいや専門性、処遇や働き方を含めた最新の情報を分かりやすく発信する保育士の魅力発信パンフレットを作成する。

(5) 保育実習等旅費支援事業

県外の保育士養成施設に就学中の学生が、県内保育施設で就職活動として行う自主実習や見学及び就職の試験や面接を受ける際に必要な旅費を助成する。

(6) 人材定着のための保育施設に対する支援事業

ア 施設管理者研修

保育施設の設置者を対象として、勤労環境整備に関する研修等を実施する。

イ 個別相談対応

社会保険労務士を活用し、保育施設からの人材確保や就業継続に関する悩み等に助言・援助を行う。

令和8年度 介護DXサポートセンター設置事業計画

1 基本方針

介護、障害者支援現場において、生産性向上や人材確保の取組を進めるためには、一つの事業者のみの自助努力だけでは限界があるため、モデル事業所を地域で育成し、モデル事業所を拠点として周辺に取組を伝播させていくことが重要である。その際、地域の福祉関係者はもとより、中小企業支援や雇用、教育などの多様な関係者とも連携しながら、地域全体で取組を推進していく必要がある。

介護DXサポートセンターに業務アドバイザーを配置し、生産性向上に係る各種相談対応や、伴走支援等を通じ介護現場の生産性向上の取組支援を行う。また、伴走支援により各圏域に設置したモデル事業所においては、地域における生産性向上に資する取組のハブとして機能的・効率的な事業展開を図っていく。

2 事業内容

(1) 相談受付

介護事業所、障害福祉サービス事業所等から生産性向上に関する各種相談を受け付ける。相談内容に応じて介護労働安定センターやよろず支援拠点等の関係機関と連携し、相談者の課題解決につなげる。

(2) 介護ロボット・ICT 機器等の体験展示場の設置

体験展示場は介護福祉の専門職だけでなく、一般の方や国内外からの視察者等、多くの方へ介護テクノロジーを周知することを目的としている。各機器の活用場面をイメージできるようレイアウトを工夫し、実際に触れて体験することで機器の使用効果、管理方法、他の機器との連携等、導入に向けて各機器の特徴が学ぶことができる。また、必要に応じて補助金の活用等の説明や地域のイベント等の出張展示も行う。

(3) 介護ロボット・ICT 機器等の試用貸出

介護ロボット等の開発企業とその製品リストのリーフレット等を作成し、試用貸出リストの周知を図り、各事業所等での試用を促進する。試用貸出後はアンケートを実施し、開発企業へフィードバックし、さらなる開発促進へつなぐ。

(4) 伴走支援

- ① 介護テクノロジーやノーリフティングケア導入・活用等、介護生産性向上の取組を支援する介護DXアドバイザーを設置する。また、モデル事業所やノーリフティングケア先進施設等で活躍する現場リーダーをK A I G O生産性向上パートナーとして育成し、伴走支援者として派遣する。

② 支援内容

今年度より伴走支援プログラム（全４回の研修）を実施。「課題設定」・「解決策立案」・「導入機器選定」・「導入準備」・「運用と検証」など段階に応じた講義、ワークショップを実施する。また、プログラム当日以外にも実地訪問、メール、電話、Zoom等を利用して随時支援を行う。

（５）ホームページの運用

介護の生産性向上の取組の横展開と介護の魅力発信を目的として、以下のホームページを運用する。

① 「KAIGO SWITCH」

大分県介護生産性向上のモデル事業所の紹介動画をはじめ、ノーリフティングケア先進施設の紹介等のコンテンツがあり、これまでの介護の３Ｋイメージの脱却を図ることで人材確保を図るとともに、介護事業所生産性向上の取組の実例を紹介する。

② 「KAIGO DXオンライン展示場」

当研修センターで体験展示している介護テクノロジーをWEB上で閲覧することができる。紹介動画や製品紹介ホームページのリンク等のコンテンツがあり、テクノロジー導入に向けた情報収集や比較検討等に活用できる。

（６）研修会の実施

生産性向上の取組の必要性や取組手順、先進的な取組事例等を広く普及・啓発することを目的とした福祉・介護生産性向上セミナーを実施する。

伴走支援者養成研修では、介護事業所のリーダー職員等を伴走支援者（KAIGO生産性向上パートナー）として育成し、伴走支援施設数の増加および各圏域での生産性向上の横展開を行う。

また、県内３圏域のモデル事業所において圏域別生産性向上研修を開催し、モデル事業所の取組報告や事業所見学を通して生産性向上の実際を学ぶ機会を提供する。

（７）他機関との連携

センターのみでは対応が難しい相談には、福祉人材センター、介護労働安定センター、よろず支援拠点等の機関と連携し相談者の課題を解決する。

また、今年度は県が設置するコーディネーター（中小企業診断士等）やよろず支援拠点と連携し、経営改善支援モデル事業に取り組む。概要として、WAMが実施した事業所の経営診断または経営支援プログラムの結果に基づき、経営改善計画の策定および改善策の実施支援を行う。

（８）大分県介護DXサポートセンター事業推進協議会の開催

県の担当部署や介護ロボットの導入に先進的に取り組んでいる事業所、関係業

界団体を構成員として、生産性向上に向けた地域の課題を共有し、それぞれの立場から具体策について検討する場として設置する。

主な議題として、介護テクノロジーの活用、介護、障害者支援のイメージ改善や人材確保、生産性向上の意義・目的の理解や継続的な取組に向けた施策等について協議する。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P17）のNo.50のとおり

4 令和8年度 自主事業業務計画

○指定研修事業

- ・介護支援専門員研修事業計画

○自主研修事業

- ・福祉用具専門研修事業
- ・福祉サービス実践力向上研修事業計画

○連携共同事業

- ・介護担当職員専門研修事業計画

○その他業務

- ・福利厚生センター事業計画
- ・介護支援専門員実務研修受講試験事業計画
- ・介護職員初任者研修資格取得助成事業計画

令和8年度 介護支援専門員研修事業計画

1 基本方針

介護支援専門員の資質・専門性の向上を目的に義務化、体系化された介護支援専門員研修を、県の指定研修実施機関として実施する。

2 事業内容

(1) 介護支援専門員実務研修

① 目的

介護支援専門員として利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関して必要な知識及び技能を修得し、地域包括ケアシステムの中で医療との連携をはじめとする多職種協働を実践できる介護支援専門員の養成を図ることを目的とする。

研修内容については、「厚生労働大臣が定める介護支援専門員等に係る研修の基準」第1号・「介護支援専門員実務研修実施要綱」に基づき実施する。

② 対象

介護支援専門員実務研修受講試験合格者等

(2) 介護支援専門員専門研修

① 目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技能を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とする。

研修内容については、「介護支援専門員専門研修実施要綱」に基づき実施する。

② 対象者

ア 専門課程Ⅰ …… 原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6か月以上の者

イ 専門課程Ⅱ …… 原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、専門研修課程Ⅰを修了している就業後3年以上の者

(3) 介護支援専門員更新研修

① 目的

介護支援専門員証に有効期限が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な専門知識及び技術の修得を図ることにより、専門職としての能力の保持・向上を図ることを目的とする。

実務未経験者に対する更新研修内容は、「厚生労働大臣が定める介護支援専門員等に係る研修の基準」第2号・「介護支援専門員再研修実施要綱」3(2)「研修内容」と同様である。

実務経験者に対する更新研修内容は、「厚生労働大臣が定める介護支援専門員等に係る研修の基準」第3号・「介護支援専門員専門研修実施要綱」3(2)「研修内容」と同様である。

なお、実務経験者として初めての更新研修は、専門研修課程Ⅰ及び専門研修課程Ⅱと同内容であり、また、実務経験者としての更新研修が2回目以降の者に対する更新研修は、専門研修課程Ⅱと同内容である。

② 対象者

ア 実務未経験者

介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した経験を有しない者

イ 実務経験者

介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者

(4) 介護支援専門員再研修

① 目的

介護支援専門員として実務に就いていない者又は実務から離れている者が実務に就く際に、介護支援専門員としての必要な知識及び技能を再修得することを目的として研修を実施する。

研修内容は、「厚生労働大臣が定める介護支援専門員等に係る研修の基準」第2号「介護支援専門員再研修実施要綱」に基づき実施する。

② 対象者

介護支援専門員証を失効後、再び介護支援専門員証の交付を受けようとする者

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧(P17)のNo.51~55のとおり

令和8年度 福祉用具専門研修事業計画

1 基本方針

介護保険制度の円滑な運営に資するため、指定居宅サービスとしての福祉用具貸与事業において必要な知識、技能を有する者の養成を図る。

また、利用者と介護者にやさしいケアの実現にむけ、リフト等の福祉用具の活用を推進できる職員を養成する。

2 事業内容

(1) リフトリーダー養成研修の実施

① 目的

リフト等の福祉用具を使用し、抱え上げないことで、介護者の腰痛 予防に効果があるだけでなく、利用者の身体的負担の軽減につながることを期待されている。本研修では、利用者と介護者にやさしいケアを実現する為、リフト等の福祉用具の活用を推進し、 次のことができる指導者（リフトリーダー）を養成する。

② 対象

- ア 施設等に所属する職員または事業主で、福祉用具に関心を持ちリフト等を導入して職場内の介護者に対し腰痛予防対策を積極的に推進しようとする者
- イ 福祉用具関連事業者で、リフトをはじめとする福祉用具を導入することによって、介護者に対し腰痛予防対策を積極的に推進しようとする者
- ウ その他、特に研修受講の有効性があると（公財）テクノエイド協会が認める者

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P17）のNo.57のとおり

令和８年度 福祉サービス実践力向上研修事業計画

1 基本方針

多岐にわたり提供される福祉サービスに関して、主として利用者本位の視点を再確認する研修を行い、福祉人材の専門性を担保する実践力を有する人材を養成する。

2 事業内容

福祉関係者のニーズや社会情勢に応じて必要な研修を企画し、実施する。

3 研修計画

令和８年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P17）のNo.58のとおり

令和8年度 介護担当職員専門研修事業計画

1 基本方針

医療と介護の連携を意識し、介護職員等の専門性の向上と実践力を培い、質の高いサービスを提供できるようにする。

2 事業内容

(1) 研修内容

① 排泄初級セミナー

排泄のメカニズムの基本、排泄障害から生じる問題を学び、福祉用具や社会資源の活用などを含めた課題解決の方法について多職種でグループワークを通して学ぶ。さらに骨盤底筋体操の実践的な指導方法を身につける。

② 摂食・嚥下セミナー

嚥下のメカニズム等を学び、摂食・嚥下の評価・口腔ケア・リハビリテーション等についてチームでの支援について実践力を身につけることができる。

③ 介護技術セミナー

ノーリフティングケアの普及促進と定着を図るため、リフトの実技研修を実施する。

3 研修計画

令和8年度大分県社会福祉介護研修センター研修一覧（P17）のNo.59～61

令和8年度 福利厚生センター事業計画

1 基本方針

福祉人材確保の一環として、福祉施設等の福利厚生センターへの加入促進を図るとともに、加入会員に対し魅力ある事業を展開するため、県内交流事業の企画開発に努める。

2 事業内容

(1) 加入の促進

- ① 福祉施設等へ戸別訪問し、事業内容の周知と加入勧誘を行う。
- ② 未加入法人等に対し文書による加入勧誘を行う。
- ③ 法人役員や施設長等管理職研修会において広報及び加入勧誘を行う。

(2) 県内交流事業等の充実

加入会員に対し、魅力のある事業を展開し会員相互の交流を図る。

(3) 新規事業開発

地域に密着した各種サービスの新規開発に努める。

(4) 広報活動の充実

会員ニュースの工夫に努める。

令和8年度 介護支援専門員実務研修受講試験計画

1 基本方針

大分県の指定試験実施機関として、介護支援専門員実務研修受講試験を円滑に実施する。

2 事業内容

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

① 試験日

令和8年10月11日（日）

② 試験会場

大分大学旦野原キャンパス（予定）

③ 受験申込期間

令和8年5月29日（金）～6月30日（火）

④ 合格発表

日 時：令和8年11月24日（火）10時（予定）

掲示場所：社会福祉介護研修センターホームページ、大分県庁ホームページ
大分県庁舎本館1階の県政掲示板

令和8年度 介護職員初任者研修資格取得助成事業計画

1 基本方針

介護現場で働こうとする皆様を支援するため、「介護職員初任者研修課程」を修了し、新たに介護職員として就職した方、または既に介護職員として勤務している方へ助成金を支給することにより、入職促進を図るとともに、一定の質を担保することにより、介護サービスの質の向上を図る。

2 事業内容

- (1) 大分県が指定した法人等が開催する介護職員初任者研修課程を修了し、次のアまたはイのいずれかとウの条件を満たす者とする。
 - ア 令和8年度（4月1日以降）に開講した研修を修了し、申請日現在、県内の介護施設等で介護職員として直接雇用されている方。
 - イ 令和7年度に開講した研修を修了し、研修終了後6か月以内かつ令和8年4月1日以降に県内の介護施設等で介護職員として新たに就職した方。
 - ウ 受講費用等について、他の補助や助成（国、都道府県、民間等で行われる類似のもの）を受けていない方。
- (2) 助成金の金額は、支給対象者が受講した受講料（テキスト、実習費等を含む）の10分の10とし、60,000円を限度額とする。

IV 令和7年度業務実績

- 1 業務概要（概要・業務内容）
- 2 指定管理業務実績
- 3 知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結する業務実績
- 4 自主事業業務実績

1 令和7年度 業務概要

○令和7年度 業務概要

○令和7年度 業務内容

- ・ 2025大分県社会福祉介護研修センター研修体系
- ・ 令和7年度 大分県社会福祉介護研修センター研修実績一覧
- ・ 令和7年度 大分県社会福祉介護研修センター利用者一覧表

令和7年度 業務概要

1 概要

令和7年度は、第4期指定管理者（令和3～7年度）最終年度として、「2025 大分県社会福祉介護研修センター研修体系」に基づき、質の高い介護の提供を目指し、社会福祉施設職員や行政職員等の育成、資質・専門性の向上を図るとともに、県民への福祉・介護に関する理解や知識、技術、福祉用具等の普及促進に努めた。

引き続き感染症対策に配慮しながら、オンライン研修も活用し、階層別・職種別研修をはじめ、認知症介護実践者、介護支援専門員に対する専門研修、介護現場革新推進事業等を実施した。

県民向けには、福祉用具体験等を通じ、福祉・介護への関心を持つきっかけづくりを進めた。高齢化の進展による認知症高齢者の増加が見込まれることを踏まえ、引き続き認知症関係教室を実施するとともに、健康意識の高まりに応じた健康寿命延伸に向けた取組や、県民に関心のあるテーマで公開介護教室を実施した。

また、介護DXサポートセンターでは、介護の生産性向上のワンストップ窓口として、相談対応、介護ロボット等の体験展示や試用貸出、研修や業務アドバイザーによる伴走支援等の導入支援活動を行った。ノーリフティングケアについても、新たに4施設を先進施設に指定し、さらなる普及を図った。

福祉・介護人材確保対策としては、「福祉のしごと就職フェア」や「保育のしごと就職フェア」を拡大開催し、前年度を上回る事業所、求職者が参加した。また、福祉を担う人材育成のため実施する子どものための福祉講座や、高校生の進路選択での活用が図られるよう作成した介護・福祉の仕事魅力発信DVDを県内全中学校・高校に配付するとともに、YouTubeに掲載するなど若い世代への広報・啓発を進めた。

さらには、県内事業所の抱える「人材の確保と定着」と「自施設の魅力発信」の2つの課題に対応するため、「福祉職場の魅力発信～人材の定着までセミナー」を開催した。

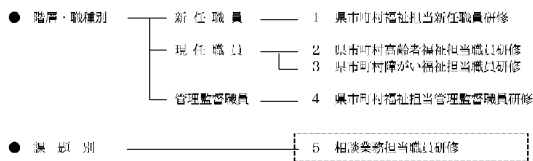
また、介護の日（11/11）のイベントとして大分県が初めて開催した「おおいた介護・福祉魅力発見フェス！2025」（11/3）に介護研修センターとして積極的に参加したことで、毎年開催している「センターまつり」（11/9）とともに、当センターの周知や県民の福祉・介護に対する理解が一層進む機会となった。

2 業務内容

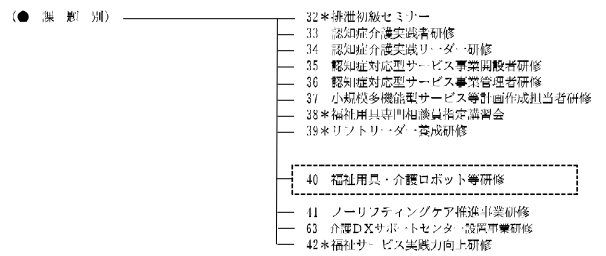
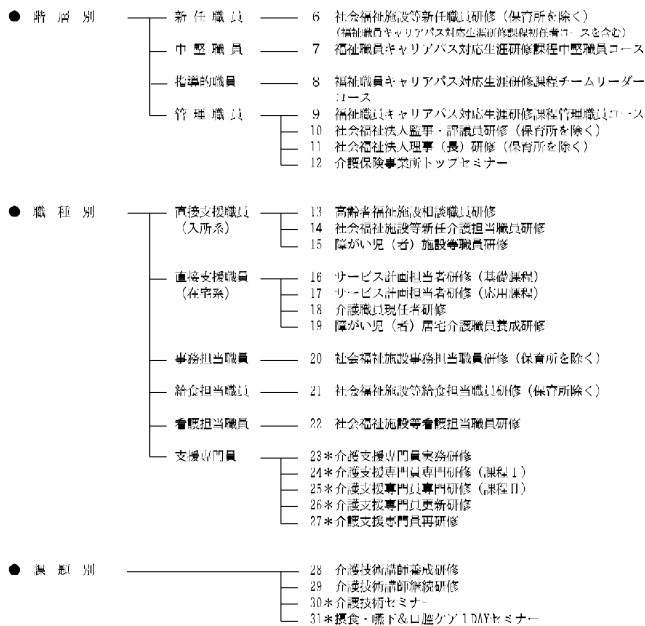
業 務		内 容
1	指定管理業務	施設の運営・維持管理に関する業務 介護実習・普及センター運営に関する業務 高齢者総合相談センター運営に関する業務 福祉人材センター運営に関する業務 介護・福祉職場の魅力発信&人材確保事業（提案事業）
2	知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結する業務	社会福祉施設職員等研修事業 認知症介護実践研修等事業 実践者研修、実践リーダー研修 認知症対応型サービス事業開設者・管理者研修 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 介護予防職員育成推進事業 介護保険事業所トップセミナー サービス計画担当者研修（基礎課程・応用課程） 介護職員現任者研修 地域包括ケア推進に係る人材育成研修事業 生活支援コーディネーター養成研修 地域包括支援センター（初任者・現任者）養成研修 地域ケア会議コーディネーター養成研修 在宅医療・介護連携研修 職場体験事業 介護入門者研修実施事業 介護の仕事入門セミナー実施事業 福祉・介護人材マッチング機能強化事業 ノーリフティングケア普及促進事業 保育士・保育所支援センター設置事業 介護DXサポートセンター設置事業
3 自主事業	指定研修事業	介護支援専門員実務研修 介護支援専門員専門研修（専門課程Ⅰ・Ⅱ） 介護支援専門員更新・再研修
	自主研修事業	福祉用具専門研修（リフトリーダー養成研修） 福祉サービス実践力向上研修
	連携共同事業	介護担当職員専門研修 介護技術セミナー（ノーリフティングケア導入セミナー） 摂食・嚥下&口腔ケア1DAYセミナー 排泄初級セミナー
	その他業務	福利厚生センター事業 介護支援専門員実務研修受講試験 介護職員初任者研修資格取得助成事業

令和7年度 大分県社会福祉介護研修センター研修体系

1 行政職員



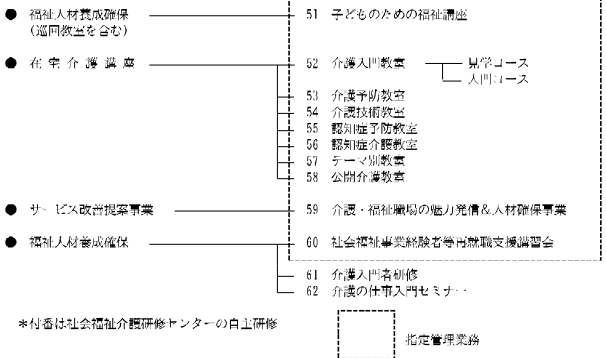
2 社会福祉施設・在宅等職員



3 地域福祉活動従事者



4 一般県民



令和7年度大分県社会福祉介護研修センター研修実績一覧

No	研修名	対象者	日数 (日)	人数 (名)
1	介護入門教室（見学コース）	一般県民、企業、専門学校、海外の団体等	16	307
2	介護入門教室（入門コース）	一般県民、企業、専門学校、海外の団体等	28	1080
3	介護予防教室	一般県民	12	311
4	介護技術教室	一般県民	27	527
5	認知症予防教室	一般県民	16	388
6	認知症介護教室	一般県民	18	347
7	テーマ別教室	一般県民	11	367
8	公開介護教室	一般県民	4	781
9	福祉用具・介護ロボット等研修	病院・施設・事業所等に從事する医療・福祉関係者、福祉用具貸与事業所等	2	43
10	相談業務担当職員研修	行政高齢者福祉担当課、市町村社協、地域包括支援センター等の相談業務職員	2	172
11-①	介護・福祉職場の魅力発信＆人材確保事業	中学校、高等学校の生徒・教員・保護者等	3	132
11-②	介護・福祉職場の魅力発信＆人材確保事業	社会福祉施設等の管理職員及び採用担当職員、広報担当職員	1	43
12	社会福祉事業経験者等再就職支援講習会	介護現場への再就職を希望する方または介護福祉系資格を取得後に介護職への就職を目指す方	2	24
13	子どものための福祉講座	小・中・高校生	39	2360
14	県市町村福祉担当新任職員研修	福祉行政機関の新任職員（実務経験1～2年程度、課長補佐級以下の職員）	2	130
15	県市町村高齢者福祉担当職員研修	高齢者福祉行政機関の職員	1	11
16	県市町村障がい福祉担当職員研修	障がい福祉行政機関の職員	1	17
17	県市町村福祉担当管理監督職員研修	県市町村高齢者福祉担当職員研修、県市町村障がい福祉担当職員研修内で実施	-	-
18	社会福祉施設等新任職員研修 （福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース）	新任職員研修：社会福祉施設等の入職後概ね1年未満の職員 初任者コース：社会福祉施設等の入職後概ね3年以内の職員	5	439
19	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース	社会福祉施設等で担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員（入職後概ね3～5年程度の職員）	3	147
20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース	社会福祉施設等で近い将来チームリーダー等の役割を担う中堅職員、主任・係長等の職員	3	164
21	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース	社会福祉施設等で近い将来管理者等の役割を担う指導的立場の職員または施設長や部門管理者等の職員	3	83
22	社会福祉法人監事・評議員研修	社会福祉法人の監事等	-	-
23	社会福祉法人理事（長）研修	社会福祉法人の理事長および理事	1	23

24	高齢者福祉施設相談職員研修	高齢者福祉施設等において相談援助業務に従事する職員	1	52
25	社会福祉施設等新任介護担当職員研修	社会福祉施設等の入職後概ね1年未満の介護職員	2	63
26	障がい児（者）施設等職員研修	障害者支援施設等において障害福祉サービスに従事する職員	2	95
27	障がい児（者）居宅介護職員養成研修	介護職員初任者研修課程修了者、実務者研修課程修了者又は介護福祉士で、現に障がい者（児）居宅介護等事業に従事する者等	2	28
28	社会福祉施設事務担当職員研修	社会福祉施設等の事務長、事務担当職員	2	165
29	社会福祉施設等給食担当職員研修	社会福祉施設等に勤務する管理栄養士・栄養士、調理員等	1	63
30	社会福祉施設等看護担当職員研修	社会福祉施設等の看護担当職員及び施設等利用者に対し直接または間接的に支援している職員	1	78
31	介護技術講師養成研修	社会福祉施設等で5年以上の勤務経験を有する方	10	68
32	介護技術講師継続研修	社会福祉介護研修センターの介護技術講師	2	55
33	社会福祉士養成研修	社会福祉士資格を取得しようとする者	配信	5
34	認知症介護実践者研修	①介護保険施設等の職員 ②認知症対応型サービス事業の管理者及び小規模多機能型居宅介護の計画作成担当者の就任予定者	18	799
35	認知症介護実践リーダー研修	①認知症介護実践者研修又は実務研修基礎課程を修了後、1年以上経過した者 ②介護保険施設等の介護職員等で認知症介護の実務経験が5年以上の者	6	239
36	認知症対応型サービス事業開設者研修	認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の代表者	1	5
37	認知症対応型サービス事業管理者研修	下記の事業の管理者又は管理者就任予定者 ①認知症対応型通所介護 ②小規模多機能型居宅介護 ③認知症対応型共同生活介護 ④看護小規模多機能型居宅介護	3	121
38	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業所また事業所の計画作成担当者、看護小規模多機能型は計画作成担当者就任予定者	2	26
39	サービス計画担当者研修（基礎課程）	指定訪問介護事業所・指定通所介護事業所における現任のサービス計画担当者	2	112
40	サービス計画担当者研修（応用課程）	指定訪問・通所介護事業所の職員、サービス計画担当者研修（基礎課程）を修了したサービス計画作成者	4	152
41	介護職員現任者研修	指定訪問介護事業所、通所介護事業所に所属する現任の介護職員等	3	99
42	介護保険事業所トップセミナー	指定訪問介護事業所、通所介護事業所の開設者、管理者等	1	83

43	生活支援コーディネーター養成研修	市町村のコーディネーター、行政担当者	4	183
44	地域包括支援センター（初任者・現任者）養成研修	地域包括支援センター、市町村保健所	4	146
45	地域ケア会議コーディネーター養成研修	市町村、地域包括支援センター職員、各専門職	3	198
46	在宅医療・介護連携研修	市町村職員、医療・介護関係者、保健所職員	2	82
47	介護入門者研修	介護未経験者であり、かつ介護職としての資格を持たない一般県民	8	17
48	介護の仕事入門セミナー	介護の仕事に関心のあり、介護の仕事に就きたいと考えている一般県民	3	27
49	ノーリフティングケア推進事業研修	通所系介護サービス事業所、訪問系介護サービス事業所、介護保険施設、有料老人ホーム等の管理者（施設長等）及び介護担当責任者等	14	271
50	介護DXサポートセンター設置事業研修	通所系介護サービス事業所、介護保険施設、有料老人ホーム等の管理者（施設長等）及び介護担当責任者（業務リーダー）等	10	580
51	介護支援専門員実務研修	大分県介護支援専門員実務研修受講試験の合格者等	15	2261
52	介護支援専門員専門研修（課程Ⅰ）	介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6か月以上の者。介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者。（実務経験者）	10	618
53	介護支援専門員専門研修（課程Ⅱ）	（専門） 介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後3年以上の者 （更新） 介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者（実務経験者）	12	1604
54	介護支援専門員更新研修	介護支援専門員証の有効期間中に介護支援専門員としての実務に従事した経験を有しない者（実務未経験者）	22	1639
55	介護支援専門員再研修	介護支援専門員証の有効期限が失効している者	22	578
56	福祉用具専門相談員指定講習会	福祉用具専門相談員を目指す者	-	-
57	リフトリーダー養成研修	施設等で腰痛予防対策を積極的に推進しようとする者	4	106
58	福祉サービス実践力向上研修	社会福祉施設・団体等の職員	2	182
59	介護技術セミナー	介護職員等	2	26
60	摂食・嚥下&口腔ケア1DAYセミナー	「食」に携わる医療・介護・福祉職または摂食・嚥下に関心のある者	1	36
61	排泄初級セミナー	現在排泄ケアに関わっている者または今後関わる予定の者	6	117

令和7年度大分県社会福祉介護研修センター利用者一覧表

	総務関係				各種事業								人材 来訪者 人員	総合相談 来訪者 人員	図書情報室		センター利用者数 (計)	
	総務		他団体連携事業		社会福祉研修・ ホームヘルパー		介護実習・普及 センター事業		子どものための 福祉講座		介護の魅力発信 &人材確保				自主事業			貸出者数
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	人員	開館日数	人員		
4月	8	14	9	177	2	246	9	477	0	0	0	0	2	74	65	25	1,264	
5月	7	15	18	769	1	57	13	316	0	0	0	0	10	1,154	40	26	2,609	
6月	9	224	15	657	9	539	15	492	2	26	0	0	12	946	46	25	3,199	
7月	6	23	36	1,115	10	277	11	325	10	496	0	0	11	803	35	27	3,306	
8月	11	258	26	984	17	592	5	309	0	0	0	0	5	577	50	27	2,967	
9月	10	70	23	878	17	694	13	324	10	895	0	0	11	1,038	42	24	4,133	
10月	10	47	26	1,116	16	451	11	258	2	35	1	42	9	1,229	29	26	3,396	
11月	11	1,109	23	796	15	220	15	525	8	597	0	0	12	1,749	40	26	5,205	
12月	10	31	26	743	14	361	10	204	2	36	0	0	8	509	36	23	2,045	
1月	5	21	20	727	11	373	14	255	3	272	1	43	7	772	45	23	2,719	
2月	17	239	29	817	8	264	8	369	1	80	0	0	4	622	52	23	2,683	
3月	5	9	21	632	2	63	10	293	0	0	0	0	0	0	37	25	1,195	
合計	109	2,060	272	9,411	122	4,137	134	4,147	38	2,437	2	85	91	9,473	517	300	34,721 ^①	

平成5年度～令和6年度センター利用者数 1,396,955 人 ②

総合計 ①+②= 1,431,676 人

2 令和7年度 指定管理業務実績

- ・ 令和7年度 介護実習・普及センター事業実績
- ・ 令和7年度 高齢者総合相談センター事業実績
- ・ 令和7年度 福祉人材センター事業実績

(1) 令和7年度 介護実習・普及センター事業実績

令和7年度 介護実習・普及センター事業実績

コロナ禍で健康に関する意識が高まったことを受けて、体操などの身体を動かす教室を多く企画した。昨年度に引き続き、夏休みに親子で参加できる教室を企画したり、SNSでの情報発信を定期的に行うなど、受講者層の拡大のための取り組みも行い、新たな受講者層の確保ができた。

1 運営委員会の開催

令和8年2月26日（木）

2 福祉用具専門部会の開催

令和7年10月22日（水）福祉用具展示品の入替え審査等

3 事業実績

（1）研修実績

（回、名）

NO	研 修 名	対 象 者	回数	参加者数
1	見学コース（一般）	県民・企業・海外他	16	307
2	入門コース（一般）	県民・企業・海外他	28	1,080
3	介護予防教室（1日間）	県民	12	311
4	介護技術教室（8日間＋1日間）	県民	3	527
5	認知症予防教室（1日間）	県民	16	388
6	認知症介護教室（1日間）	県民	18	347
7	テーマ別教室（1日間）	県民	11	367
8	公開介護教室（1日間）	県民	4	781
9	福祉用具・介護ロボット等研修 （1日間）	病院・施設・事業所等に従事する医療 ・福祉関係者、福祉用具貸与事業所等	2	43
合 計			110	4,151

（2）啓発及び情報提供

- ① SNS等を活用した介護予防、福祉用具展示場の広報
- ② パンフレット、リーフレットの配布
- ③ 図書、ビデオの貸出し
貸出件数 65件（図書 111冊、DVD 40本、ビデオ 4本 計155冊（本））

（3）福祉用具、介護ロボット・ICT機器等の普及啓発

- ① 福祉用具、介護ロボット・ICT機器等の展示、住宅改修モデルの展示
- ② 福祉用具、介護ロボット・ICT機器等に関する研修

- ③ 福祉用具、介護ロボット・ICT 機器等の利用方法等の情報提供
- ④ フィッティング、福祉用具の照会、取扱店等の情報提供、事業所等への
試用貸出 236 件
- ⑤ 福祉用具、住宅改修に関する助言・相談
福祉用具の相談件数 1,282 件（下記参照）
住宅改修等の相談件数 119 件
- ⑥ 福祉用具製造事業者等に利用状況を還元できる体制の整備

福祉用具等の相談内容

項 目	件数（件）	率（％）	項 目	件数（件）	率（％）
排泄	88	6.9	被服	124	9.7
入浴	241	18.8	生活関連	93	7.2
移動	388	30.3	コミュニケーション	89	6.9
移乗	128	10.0	ユニバーサルデザイン	0	0.0
ベッド、床ずれ	114	8.9	福祉用具業者関連	17	1.3
計			1,282	100.0	

（４）九州ブロック介護実習・普及センター等代表者及び担当者会議

- ア 開催日 令和 7 年 12 月 10 日（水）13：30～17：00
- イ 会 場 オンラインで開催（沖縄県介護実習・普及センター主催）
- ウ 参加者 九州・沖縄の介護実習・普及センター等関連機関職員 19 名
大分県社会福祉介護研修センター職員 1 名 計 20 名
- エ 講 演 「福祉用具を取り巻く最新情報」
【講師】公益財団法人 テクノエイド協会
普及部長・支援研修部長 矢沢 由多加 氏
- オ 協 議 事前に提出された「事業運営関連」、「講座・研修の運営関連」、「福祉用具展示場関連」に係る 12 議題について、協議・情報交換を行った。

研修名	1 介護入門教室(見学コース)		
研修区分	一般県民(在宅介護研修)		
目的	広く県民を対象に、介護問題に関心を持つ契機づくりを図るとともに福祉に関する理解を深める。		
対象者	一般県民、企業、専門学校、海外の団体等		
延べ参加人数	307名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年5月 3回 64名 令和8年 1月 2回 23名 令和7年6月 1回 13名 令和8年 2月 1回 24名 令和7年7月 3回 91名 令和8年 3月 1回 12名 令和7年9月 2回 25名 令和7年11月 2回 44名 令和7年12月 1回 11名		
	計 16回 307名 (うち海外3回 59名)		
	研修内容	講師	
	社会福祉介護研修センターの案内	社会福祉介護研修センター職員	
	福祉用具展示場見学	//	
	住宅改造モデル展示場見学	//	
	福祉用具の体験 等	//	

研修名	2 介護入門教室(入門コース)		
研修区分	一般県民(在宅介護研修)		
目的	広く県民を対象に、福祉に関する理解を深めるとともに、福祉用具、介護ロボット・ICT機器等の活用などを含めた、介護に関する基礎的な知識・技術の習得を図る。		
対象者	一般県民、企業、専門学校、海外の団体等		
延べ参加人数	1080名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年4月 3回 99名	令和7年10月 3回 77名	
	令和7年5月 2回 34名	令和7年11月 5回 251名	
	令和7年6月 4回196名	令和7年12月 2回 57名	
	令和7年7月 1回 60名	令和8年 1月 2回 36名	
	令和7年8月 0回 0名	令和8年 3月 4回165名	計28回 1080名
	令和7年9月 2回105名		(うち海外4回 121名)
	研修内容		講師
	【実習】 ・高齢者疑似体験 ・車いすの介助の仕方 【講義・実習】 ・ユニバーサルサービスについて ・車いす介助体験 ・アイマスク体験 ・からだの動かし方 【実習・韓国の方】 ・からだの動かし方 ・衣服の着脱 ・車いす介助の仕方 ・食事の介助の仕方 【講義】 ・認知症について ・アイフレイルについて ・介護研修センターの役割や活動内容 【出前講座】 講義・福祉用具展示) ・介護の魅力発信 ・床走行リフト、車いす、自助具等 【出前講座】 講義 ・認知症について (於:日出町ほほえみ広場) 【出前講座 福祉用具展示】 ・福祉用具展示 (別府市浜脇包括支援センター) (於:村橋病院) 【出前講座】 講義・実習 ・ユニバーサルサービスについて ・車いす介助体験 ・高齢者疑似体験体験 (於:花べっぴ)		高齢者疑似体験インストラクター 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 大分県認知症介護指導者 黒田 学志 視能訓練士 原 りえ 社会福祉介護研修センター職員 社会福祉介護研修センター職員 社会福祉介護研修センター職員 介護福祉士 佐藤ハツ子 社会福祉介護研修センター職員 社会福祉介護研修センター介護技術講師 社会福祉介護研修センター介護技術講師 高齢者疑似体験インストラクター

研修名	3 介護予防教室		
研修区分	一般県民(在宅介護研修)		
目的	広く県民を対象とし、健康寿命の延伸に向け、介護・介護予防に対する知識の啓発・普及を図る。		
対象者	一般県民		
延べ参加人数	311名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年4月16日(水) 令和7年9月19日(金) 令和7年5月16日(金) 令和7年10月7日(火) 令和7年6月20日(金) 令和7年12月18日(木) 令和7年7月4日(金) 令和8年1月22日(木) 令和7年7月16日(水) 令和8年2月4日(水) 令和7年8月22日(金) 令和8年3月3日(火)		
	研修内容		講師
4/16 9/19	【講義と実技】 「口腔機能向上・口腔ケア教室」	大分県歯科衛生士会 足立 史織 宮川 尚子	
5/16 10/7	【講義と実技】 「ストレッチングポールで疲労回復教室」	NPO法人 介護予防支援 リハフィットネス大分 理事長 理学療法士 首藤 康弘	
6/20 12/18	【講義と実技】 「転倒予防教室」	NPO法人 ヘルス・フィットネス・フォーラム代表 健康科学アドバイザー 健康運動指導士 松元 義人	
7/4 1/22	【講義と調理実習】 「栄養教室」 1.減塩のコツを学ぼう！ 2.大分郷土料理で健康に！	公益社団法人大分県栄養士会 副会長 管理栄養士・健康咀嚼指導士 特定検診保健指導実践担当者 上田 由美	
7/16 2/4	【講義と実技】 「排泄教室～骨盤底筋運動～」	理学療法士 毛井 敦	
8/22 3/3	【実技】 「太極拳体験教室」	大分県太極拳協会 会長 有川 岬	

研修名 4 介護技術教室			
研修区分 一般県民(在宅介護研修)			
目的 自立の気持ちを大切にしながら、楽に行える介護技術を学ぶ。			
対象者 一般県民			
延べ参加人数	527名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	<8日間コース × 3回> フォローアップ講座 3回		
	令和7年5月14日(水)	令和7年9月4日(木)	令和7年12月5日(金)
	令和7年5月21日(水)	令和7年9月11日(木)	令和7年12月12日(金)
	令和7年5月28日(水)	令和7年9月18日(木)	令和7年12月19日(金)
	令和7年6月4日(水)	令和7年9月25日(木)	令和8年1月9日(金)
	令和7年6月11日(水)	令和7年10月2日(木)	令和8年1月16日(金)
	令和7年6月18日(水)	令和7年10月9日(木)	令和8年1月23日(金)
	令和7年6月25日(水)	令和7年10月16日(木)	令和8年1月30日(金)
	令和7年7月2日(水)	令和7年10月23日(木)	令和8年2月6日(金)
	令和7年7月30日(水)	令和7年11月27日(木)	令和8年2月18日(水)
研修内容		講師	
1日目	【講義と実習】 「高齢者疑似体験・車いすの使い方」	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	
2日目	【講義と実習】 「寝返り・起き上がり・立ち上がりの介助方法」	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	
3日目	【講義と実習】 「移乗の方法、福祉用具の活用」	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	
4日目	【講義と実習】 「着替えの介助方法、シーツ交換」	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	
5日目	【講義と実習】 「食事の介助方法、手洗いの方法」	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	
6日目	【講義と実習】 「排泄の仕組み・トイレ介助」	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	
7日目	【講義と実習】 「尿器便器のあて方・おむつ交換・清拭」	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	
8日目	【講義と実習】 「入浴の介助・足浴」	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	
フォローアップ講座	【実習とお悩み相談会】	社会福祉介護研修センター 介護技術講師	

研修名	5 認知症予防教室		
研修区分	一般県民(在宅介護研修)		
目的	広く県民を対象とし、健康寿命の延伸に向け、認知症予防に対する知識の啓発・普及を図る。		
対象者	一般県民		
延べ参加人数	388名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年4月12日(土) 令和7年4月23日(水) 令和7年5月15日(木) 令和7年6月11日(水) 令和7年7月10日(木) 令和7年8月27日(水) 令和7年9月10日(水)	令和7年10月24日(金) 令和7年11月7日(金) 令和7年11月12日(水) 令和7年11月28日(金) 令和7年12月10日(水) 令和7年12月17日(水) 令和8年1月14日(水)	令和8年1月29日(木) 令和8年2月26日(木)
	研修内容	講師	
4/12	【講義と実技】 「園芸療法～多肉テラリウム～」	大分短期大学園芸科 作業療法士 園芸療法士 小石 鉄兵	
4/23 11/12	【講義と調理実習】 「薬膳教室」 1.春の薬膳 2.秋の薬膳	薬膳おおいた 国際中医薬膳管理師 小倉 倫子	
5/15 12/17	【実技】 「フラワーアレンジメント」 1.初夏のお花 2.冬のお花	華道家元池坊講師 財前 康子	
6/11 9/10 12/10	【実技】 「3B体操」	公益社団法人 日本3B体操協会 公認指導者 池辺 真智子	
7/10 11/7 2/26	【講義と実技】 「カラダを整えるトレーニング」 1.姿勢改善のための呼吸編 2.腰痛予防のためのインナーマッスル編 3.痛みのない動きやすい身体づくり編	一般社団法人 さかしい大分代表理事 アメリカスポーツ医学会認定スペシャリスト他 伊藤 千奈美	
8/27 1/14	【実技】 「Let's レクリエーション」	大分県レクリエーション協会 事務局長 レクリエーション・コーディネーター 仲 純子	
10/24 1/29	【実技】 「折り紙教室」	ORIGAMIサークルひまわり 主宰 日本折紙協会折紙講師資格 佐藤 智美	
11/28	【実技】 「消しゴムはんこ～クリスマスのはんこ～」	Sachihanko 主宰 津田 久美子	

研修名	6 認知症介護教室		
研修区分	一般県民(在宅介護研修)		
目的	認知症を正しく理解し、接し方や、住みなれた地域で済み続けることができる支援方法や、ひとりで悩まない介護について学び、認知症サポーターを養成する。また、認知症に対する生活のさまざまな場面での接し方や声のかけ方など、具体的なケアのポイントについて学ぶ。		
対象者	一般県民		
延べ参加人数	347名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	「認知症サポーター養成講座」 令和7年4月9日(水) 令和7年5月13日(火) 令和7年6月6日(金) 令和7年7月1日(火) 令和7年8月7日(木) 令和7年9月2日(火)	令和7年10月1日(水) 令和7年11月4日(火) 令和7年12月4日(木) 令和8年1月25日(日) 令和8年2月20日(金) 令和8年3月14日(土)	「認知症ケア講座」 令和7年5月22日(木) 令和7年7月24日(木) 令和7年9月24日(水) 令和7年11月25日(火) 令和8年1月31日(土) 令和8年3月17日(火)
	研修内容		講師
	【講義】 「認知症サポーター養成講座」 【講義】 「認知症ケア講座」	社会福祉士 進 孝美 (有)あしすと・けあ 統括管理者 介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員 大分県認知症介護指導者 黒田 学志	

研修名	7 テーマ別教室		
研修区分	一般県民(在宅介護研修)		
目的	広く県民を対象とし、介護・介護予防、認知症予防に対する知識の啓発・普及を図る。		
対象者	一般県民		
延べ参加人数	367名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年4月25日(金) 令和7年11月18日(火) 令和7年5月8日(木) 令和8年1月15日(木) 令和7年6月26日(木) 令和8年2月19日(木) 令和7年8月1日(金) 令和8年3月1日(日) 令和7年9月3日(水) 令和8年3月11日(水) 令和7年10月17日(金)		
	研修内容	講師	
4/25 9/3	【実技】 「ヨガ体験教室」 1.マットを使ったヨガ 2.椅子を使った簡単なヨガ	YOGA INSTRUCTOR 全米ヨガアライアンスRYT取得 岩野 奈緒美	
5/8	【講義と実技】 「災害の備え～誰でもできるカンタン災害食！～」	立松食育研究所 所長・CEO 食育シニアコンダクター 立松 洋子	
6/26 3/11	【講義】 「介護保険を知る教室」	あおば介護相談センター 管理者 主任介護支援専門員 社会福祉士・精神保健福祉士 川野 里奈	
8/1	【実技】 「親子消しゴムはんこ教室」	Sachihanko 主宰 津田 久美子	
10/17	【講義】 「睡眠教室」	株式会社 協栄商会 いとしや代表 日本睡眠環境研究機構認定 睡眠環境診断士 大杉 天伸	
11/18 1/15	【講義】 「生きるための終活教室」 1.知ろう！自分のこと 2.学ぼう！これからのこと	終活セミナー講師 終活ライフケアプランナー 保健師、もしバナマイスター 藤澤 沙織	
2/19	【講義】 「お薬教室」	別府市薬剤師会 理事 日伸薬局 薬剤師、柔道整復師 山田 真義	
3/1	【講義と実技】 「香りの講座～ミニ香水作り体験～」	大分香りの博物館 学芸員 本田 槇紀	

研修名	8 公開介護教室		
研修区分	一般県民(在宅介護研修)		
目的	県民及び専門職を対象に、健康・介護・認知症等に関する知識の啓発・普及を図る。		
対象者	一般県民		
延べ参加人数	781名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年4月20日(日) 令和7年8月3日(日) 令和7年11月9日(日) 令和8年2月22日(日)		
	研修内容	講師	
4/20	【講演】 「天国からの手紙」 ～落語で学ぶ相続・遺言～	行政書士・社会人落語家 生島 清身(天神亭 きよ美)	
8/3	【講演】 「生きるって、なに？」 ～自分らしく生きて自分を好きになろう～	地球の広報・旅人・エッセイスト たかの てるこ	
11/9	【講演】 「先入観のタガを外せ！」 ～福祉×医療×ファッションで世界の常識を変える～	日本福祉医療ファッション協会代表理事 平林 景	
2/22	【講演】 「認知症でその人らしさは失われてしまうのか？」 ～脳科学でわかる ご本人の思いと接し方～	脳科学者 恩蔵 絢子	

研修名	9 福祉用具・介護ロボット等研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	①「介護ロボットとは何か」また「介護ロボットの導入によって現場をどのように変えることができるか」を学び、実際の機器に触れ、体験することで介護ロボット等の活用、導入の推進を図ること ②介護リフトの基本的な知識や技術を学び、介護リフトの活用、導入の推進を図ること		
対象者	病院・施設・事業所等に従事する医療・福祉関係者、福祉用具貸与事業所等		
延べ参加人数	43名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	①6月28日(土) ②6月29日(日)		
	研修内容		講師
6/28	【講義】 姿勢を考える～適切なポジショニングについて～ ・基本的なポジショニングの考え方、アセスメントの方法 【実習】 応用的なポジショニングの方法について ・仰臥位、側臥位など ・ベッド操作、リフトとの組み合わせ ・ポジショニングへの活かし方		公益財団法人健和会 大手町リハビリテーション病院 松本 多正
6/29	【講義】 車いすのシーティングと介護リフトのはじめの一步 ・基本的なシーティングについて 【実技】 介護リフト、スリングシートの体験 ・リフト、スリングシートの選び方・使い方 ・床走行式リフト、天井走行式リフト、ベッド固定型リフト体験		公益財団法人健和会 大手町リハビリテーション病院 松本 多正

(2) 令和7年度 高齢者総合相談センター事業実績

令和7年度 高齢者総合相談センター事業実績

少子高齢社会に対応するため、高齢者やその家族が日常生活において抱える心配ごと・悩みごと、介護の問題や福祉用具、高齢者が住みやすい住宅の改修などの相談に応じた。また、研修の開催、情報の収集や提供、高齢者及びその家族の福祉の増進に努めた。

1 運営委員会の開催

令和8年2月26日（水）

2 事業実績

（1）高齢者及びその家族からの電話相談、面接相談の実施

- ① 一般相談・・・センターの相談員による日常生活における心配ごと・悩みごとなどの各種相談、福祉用具の選定や使用方法等の情報提供
- ② 専門相談・・・弁護士、一級建築士、税理士、保健師、言語聴覚士、認知症の人と家族の会会員などの専門家による相談

相談件数 3,782 件

電 話 2,276 件

来 所 1,506 件

（内訳）

	生活安全	法律	経済	福祉サービス	保健・医療	計
電話	1,132	73	42	568	461	2,276
来所	165	7	1	1,319	14	1,506
計(件)	1,297	80	43	1,887	475	3,782
割合	34.3%	2.1%	1.1%	49.9%	12.6%	100.0%

（2）高齢者及びその家族等が抱える各種の心配ごと・悩みごとを解決するために必要、適切と考えられる各種情報の収集、整理

（3）市町村の相談体制の支援に必要な研修及び情報提供等

① 研修の実施

地域包括支援センターや在宅介護支援センター、市町村、社会福祉協議会などの相談業務担当職員に対し、研修会を実施した。

ア 第1回 日 時：令和7年6月7日（上）10：00～16：00

内 容：「虐待対応経験交流会セミナー」

参加者： 145 名 （ハイブリッド形式）

イ 第2回 日 時： 令和7年11月14日（金）13：30～16：00

内 容：「高齢者の権利擁護における意思決定支援」
～その人らしい生き方支援～

参加者： 27 名

② インターネットや広報紙による情報提供

ア 大分県高齢者総合相談センターホームページに研修、利用情報を掲載

イ 大分県社会福祉介護研修センター発行の広報誌に、高齢者福祉等に関する情報や福祉用具展示場の用具等を紹介

ウ その他の情報提供

福祉サービスや介護保険制度、福祉用具の活用や住みやすい住宅の改修例などのパンフレットやリーフレットを適時配布

（4）広報活動

各関係機関の協力を得ながら、さまざまな媒体を通して広報活動を行った。

① 新聞等への広告掲載

大分合同新聞への広告掲載の実施

② インターネットを活用した広報

大分県社会福祉介護研修センターのホームページ上に事業内容等を掲載するほか、SNS で新規展示品を紹介した。

③ 広報用リーフレット配布

当センターで開催している研修会やイベント出展時に配布、また民生委員児童委員協議会の総会にて配布し周知を図った。

④ 広報用グッズの配布

エコバッグ・ポケットティッシュ・ボールペン等を展示場・住宅改造モデル展示場、研修会、イベント等で配布した。

⑤ 「大分県社会福祉介護研修センターだより」の発行 （年2回、5,000部）

だより内に高齢者の相談に関する記事や福祉用具展示場に関する案内などを掲載し、関係機関等への周知を図った。

⑥ その他

大分県消費生活・男女共同参画プラザ（アイネス）主催の『多重債務者対策連絡会議』書面開催に参加、法テラス主催の『犯罪被害者支援業務に関するアンケート』に回答するなど、関係機関と連携をとっている。

（5）福祉用具展示場の活用

各種福祉用具や介護用品など約 1,600 点を展示しており、年に1回の入替えを通じ展示品の見直しを行うとともに、使用方法や購入などの相談に応じた。

また、事業所に対して福祉用具の試用貸出を実施した。

貸出件数：236 件

(6) 高齢者の居住環境の改善に関する啓発

住宅改造モデル展示場の周知のため、研修センター1階エレベーター前とモデル展示場入口に案内パネルを設置した。

玄関には、福祉用具業者の協力を得て、改修実例を設置し、改修例が見える化し、寝室や居室は、動線を体験できる展示の仕方にするなど、高齢者や障がいのある方々の住宅改修の諸条件に応じた具体的な相談ができるように工夫した。

(7) 関連機関との連携

地域包括支援センター、在宅介護支援センター、地域総合相談支援センター、保健所、福祉事務所、市町村社協など関連機関と随時情報交換を行い、各種相談に応じた。

相談件数：112 件

令和7年度 高齢者総合相談件数

実日数 301 日

1 日平均 12.6 件

単位：件

【 電話 7.6 件 来所 5.0 件 】

	来 所	電 話	計	(%)	専門相談員対応分			
生 活 (安 全)						来 所	電 話	計 (%)
人生・家族	16	856	872		機能回復	0	0	0 (0.0%)
介 護	5	76	81		認 知 症	16	67	83 (95.4%)
認 知 症	18	94	112		住宅増改築	0	0	0 (0.0%)
虐 待	0	10	10		法 律	2	0	2 (2.3%)
近隣関係	3	64	67		税 金	0	1	1 (1.1%)
悪質商法	0	5	5		からの悩み	0	0	0 (0.0%)
振り込め詐欺	0	5	5		言語聴覚士	1	0	1 (1.1%)
生きがいづくり	1	11	12			0		
住宅・設備	53	3	56		合 計	19	68	87
モデル展示場	64	0	64	1,297	(%)	(21.8%)	(78.2%)	(100.0%)
その他	5	8	13	(34.3%)	相談者の男女別・年齢階層別			
小 計	165	1,132	1,297			男	女	計 (%)
法 律					49歳以下	376	417	793 (21.0%)
家族問題	0	9	9		50～59歳	241	465	706 (18.7%)
金銭トラブル	0	5	5		60～65歳	189	216	405 (10.7%)
財産・遺言	4	29	33		65～74歳	160	924	1,084 (28.7%)
事故・賠償	0	0	0		75～84歳	147	296	443 (11.7%)
人権・擁護	0	11	11		85歳以上	50	301	351 (9.3%)
その他	0	3	3	80	不 明	0	0	0 (0.0%)
相談機関	3	16	19	(2.1%)	合 計	1,163	2,619	3,782
小 計	7	73	80		(%)	(30.8%)	(69.2%)	(100.0%)
経済・経済（仕事）					対象者との関係			
生計・所得保障	0	25	25		本 人			1,831 (48.4%)
税 金	0	1	1		配 偶 者			274 (7.2%)
年 金	0	3	3		子供またはその配偶者			793 (21.0%)
仕 事	1	11	12	43	親 族			144 (3.8%)
その他	0	2	2	(1.1%)	各 種 機 関			372 (9.8%)
小 計	1	42	43		そ の 他			368 (9.7%)
福祉サービス					合 計			3,782 (100.0%)
地域支援	46	361	407		相談関連機関			
在宅福祉サービス	5	19	24		県			7 (6.3%)
施設福祉サービス	6	37	43		市町村			45 (40.2%)
福祉用具業者関連	15	2	17		地域包括支援センター			25 (22.3%)
福祉用具	1,175	90	1,265		社協			3 (2.7%)
制度・施策	59	14	73		その他			32 (28.6%)
福祉サービスの苦情	2	41	43	1,887	社			112 (100.0%)
その他	11	4	15	(49.9%)	相談者の居住地			
小 計	1,319	568	1,887		大分市	2,557	杵築市	15
保 健 ・ 医 療					別府市	233	宇佐市	104
保健衛生	11	384	395		中津市	20	豊後大野市	21
医療相談	3	70	73		日田市	328	由布市	27
医 療 費	0	3	3	475	佐伯市	85	国東市	5
その他	0	4	4	(12.6%)	臼杵市	171	姫島村	0
小 計	14	461	475		津久見市	15	日出町	38
合 計	1,506	2,276	3,782		竹田市	16	九重町	0
(%)	(39.8%)	(60.2%)	(100.0%)		豊後高田市	6	玖珠町	5
								合 計 3,782

研修名	10 相談業務担当職員研修		
研修区分	行政職員(課題別研修)		
目的	少子高齢社会の進展に伴い高齢者やその家族の抱える心配ごとや悩み事は複雑・多様化している。高齢者が安心して心配ごと・悩みごとを相談し、充実した生活が送れるよう、相談業務に従事している職員の資質向上を図ることを目的とする。		
対象者	行政高齢者福祉担当課、市町村社協、地域包括支援センター等の相談業務職員		
延べ参加人数	172名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	第1回 6月 7日(土) 第2回11月14日(金)		
	研修内容	講師	
6/7	【行政説明Ⅰ・Ⅱ】 『県内における虐待の動向等について』 【活動報告】 『高齢者虐待にかかる対応等について』 【講義Ⅰ】 『高齢者虐待防止法と障害者虐待防止法の概要』 【講義Ⅱ】 『精神保健福祉法の改正による精神障がい者の権利擁護について』 【事例検討・グループ討議】	大分県福祉保健部高齢者福祉課 大分県福祉保健部障害者福祉課 公益社団法人大分県社会福祉士会 虐待対応委員会・地域包括支援委員会 理事・委員長 兵頭 和弘 弁護士法人おおいた市民総合法律事務所 弁護士 柿木 大 弁護士法人平山法律事務所 弁護士 平山 蒼太 事例提供者: 国東市地域包括支援センター 課長補佐兼統括リーダー 河野 千鶴 一般社団法人別府権利サポート 相談支援事業所おとなり 代表理事・管理者兼主任相談支援専門員 加藤 智恵美 進行・まとめ: 公益社団法人大分県社会福祉士会 虐待対応委員会・地域包括支援委員会 理事・委員長 兵頭 和弘 大分県弁護士会 高齢者・障害者の権利擁護に関する 特別委員会 委員長 粉倉 了胤	
11/14	【講義】 『高齢者の権利擁護における意思決定支援』～その人らしい生き方支援～	公益社団法人大分県社会福祉士会 地域包括支援委員会 委員長 兵頭 和弘	

(3) 令和7年度 福祉人材センター事業実績

令和7年度 福祉人材センター事業実績

福祉関係の求人・求職の紹介・斡旋、ホームページ・SNS 等による情報提供、福祉現場の魅力発信セミナーの開催、就職フェア、福祉の仕事を目指す学生の意識調査、おおいた社会福祉施設ガイドブック作成や子どものための福祉講座等を実施し、福祉人材の確保と資質の向上に努めた。

1 運営委員会の開催

令和8年2月26日（木）

2 事業実績

（1）福祉人材無料職業紹介事業

① 情報提供

- ・ 求人情報一覧の配布（毎月）
- ・ 求人票の掲示（福祉人材センター内）
- ・ 福祉人材センターホームページでの最新求人情報発信

② 月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談（件）	153	129	129	142	143	137	116	133	156	166	126	116	1,649
求職（名）	16	23	53	6	17	10	9	15	11	8	14	20	202
求人（件）	68	89	161	61	114	113	57	98	139	128	92	73	1,193
（名）	129	155	299	106	201	196	128	172	250	217	181	120	2,154
紹介（名）	0	4	0	0	3	2	0	4	5	1	0	12	31
就職（名）	0	2	0	0	2	2	0	4	2	2	0	10	24

（2）介護・福祉職場の魅力発信&人材確保事業

① 福祉の仕事魅力発信 DVD 及び付属パンフレットの配付と活用

県内中学・高校生に福祉の仕事に関心を持ち、魅力とやりがいについて理解を深め、進路や職業選択の一助としてもらうため、介護・福祉職場の魅力発信 DVD 及び付属パンフレットを県内全中学校・高校に配付した。

また、福祉人材センターホームページ等で動画配信するとともに様々な機会を通して動画等を活用しながら福祉の仕事の魅力とやりがいを広く発信した。

② 「福祉現場の魅力発信～人材の定着までセミナー」の開催

各施設・事業所が自らの魅力を効果的に発信するための技法と人材の定着率を向上させる取組を学ぶためのセミナーを開催した。

期 日：令和8年1月23日（金）9:55～16:00

会 場：大分県社会福祉介護研修センター大ホール

参加者：43名

内 容：はじめに：「県内福祉施設における人材確保に関する調査結果から見てきたこと」

福祉人材センター 総務・人材部副部長 酒井 薫

講義Ⅰ：「福祉現場の効果的な魅力発信について～児施設の魅力、発信を雇用へ～」

講師：エデュテーション・パートナーズ代表 秋満 直人 氏

講義Ⅱ：「異業種から福祉へ」

講師：社会福祉法人ひまわり 統括施設長 真田 康德 氏

（3）福祉職場への就職説明会

① 2025年夏 福祉のしごと就職フェア

期 日：令和7年8月2日（土）

会 場：ホテル日航大分オアシスタワー

参加事業者：38事業所

求職参加者：77名（学生15名、一般求職者62名） ※就職者数：3名

② 2026年春 福祉のしごと就職フェア

期 日：令和8年2月22日（日）

会 場：ホテル日航大分オアシスタワー

参加事業者：47事業所

求職参加者：49名（学生 6名、一般求職者 43名）※就職者数：0名

（4）福祉人材確保推進事業

① 大分県福祉人材確保推進会議

福祉、特に介護人材の確保を図るため、課題の共有、課題解決のための協議・研究・情報交換を目的に開催。人材の確保・定着に関連するため、「介護DXサポートセンター事業推進協議会」と合同で開催した。

期 日：令和8年2月18日（水）

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

内 容：令和7年度の取組状況と令和8年度の取組予定について 等

委 員：社会福祉法人経営者協議会、老人福祉施設協議会、知的障害者施設協議会、身体障害児者施設協議会、老人保健施設協会、介護福祉士会、別府溝部学園短期大学、智泉福祉製菓専門学校、県立大分南等学校、大分労働局、大分公共職業安定所、介護労働安定センター大分支部、県（高齢者福祉課、障害福祉課、雇用労働政策課）の各代表者

② 介護職再就職支援講習会

介護現場への再就職を希望する方または介護福祉系資格を取得後、介護職への就職を目指す方を対象に、実践的な介護技術・知識を身につけるための講習会を実施した。

実施回数：1回（2日間） 参加人数：24名

日時	内 容	参加人数
令和8年 2月4日（水）	在宅生活を支える訪問系・通所系サービスの実際 排泄ケア～排泄の仕組みと正しいオムツのあて方～	12名
令和8年 2月5日（木）	口腔ケア～介護における口腔ケアの重要性とポイント 身体に負担をかけない移乗	12名

③ 子どものための福祉講座

小・中・高校生に対して、介護福祉体験や地域の様々な資源とつながりを持った福祉教育を実施し、地域社会の一員としての福祉意識の向上と、これからの福祉を担う人材の育成を図った。

ア 介護研修センター実施分

実施主体：大分県社会福祉介護研修センター

実施回数：8回

参加延人数：356名

	実施日	実施団体	内 容	参加者数
1	7/16	大分県立大分南高等学校 1年生	高齢者疑似体験 福祉用具展示場見学	80名
2	7/29	トレジャーアイランドまき 通所児童 （放課後等デイサービス）	視覚障害を知る体験 車いす体験	13名
3	9/19	大分市立明野東小学校 4年生	寝返りの介助体験・車いす体験 福祉用具展示場見学	48名
4	9/30	九重町立東飯田小学校 3年生	車いす体験・視覚障害を知る体験 福祉用具展示場見学	15名
5	10/23	大分県立情報科学高等学校 2年生 インターンシップ	認知症予防のための折り紙教室参加 福祉用具展示場見学	4名
6	1/13	由布市立由布川小学校 5年生	寝返りの介助体験・車いす体験 福祉用具展示場見学	80名
7	1/30	大分県立大分支援学校 中学部2年生	車いす体験 福祉用具展示場見学	36名
8	2/24	大分県立大分南高等学校 1年生 （出前講座）	認知症啓発ボードゲーム	80名
	計	8団体		356名

イ 地域実施分

実施主体：市町村社会福祉協議会

実施回数：32回

参加延人数：2,084名

(大分市社会福祉協議会)

	実施日	実施団体	内容	参加者数
1	7/1	大分市立別保小学校 5年生	点字体験	177名
2	7/4	大分市立佐賀関小学校 4年生	アイマスク体験 手話体験	11名
3	7/8	大分市立碩田学園 4年生	盲導犬体験 アイマスク体験	86名
4	7/15	大分市立吉野中学校 1・2年生	アイマスク体験 手話体験	48名
5	9/9	大分市立豊府小学校 4年生	点字体験	160名
6	9/16	大分市立金池小学校 4年生	盲導犬体験 手話体験	136名
7	9/18	大分市立長浜小学校 4年生	アイマスク体験 手話体験	89名
8	9/19	大分市立滝尾小学校 5年生	手話体験	109名
9	9/24	大分市立坂ノ市小学校 4年生	アイマスク体験	158名
10	9/25	私立岩田中学校 1年生	高齢者疑似体験	71名
11	9/26	大分市立南大分小学校 3年生	点字体験 盲導犬体験	99名
12	11/4	大分市立川添小学校 6年生	点字体験 手話体験	41名
13	11/7	大分市立口岡小学校 4年生	盲導犬体験	43名
14	11/14	大分市立野津原小学校 4年生	盲導犬体験	18名
15	11/18	大分市立丹生小学校 4年生	アイマスク体験 盲導犬体験	39名
16	11/26	大分市立明野北小学校 4年生	盲導犬体験	112名
17	1/27	大分市立判田小学校 4年生	点字体験	105名
	計	17団体		1502名

(佐伯市社会福祉協議会)

	実施日	実施団体	内容	参加者数
1	6/10	佐伯市立彦陽中学校 3年生	アイマスク体験 車いす体験	17名
2	6/20	佐伯市立直川小学校 6年生	車いすバスケットボール体験	12名
3	7/1	佐伯市立直川中学校 全学年	車いすバスケットボール体験	19名
4	7/14	佐伯市立直川中学校 全学年	手話体験	19名
5	9/11	佐伯市立東雲中学校 1年生	盲導犬体験 車いす体験	10名
6	11/11	佐伯市立上野小学校 1・2年生	盲導犬体験	37名
7	11/11	佐伯市立鶴岡小学校 5年生	アイマスク体験	82名
8	11/13	佐伯市立上野小学校 5・6年生	手話体験	33名
9	11/13	佐伯市立鶴岡小学校 4年生	盲導犬体験	87名
10	12/1	佐伯市立切畑小学校 6年生	手話体験	18名
11	12/5	佐伯市立切畑小学校 6年生	ボッチャ体験	18名
12	11/4	佐伯市立鶴谷中学校 3年生	車いす体験	156名
	計	12団体		508名

(津久見市社会福祉協議会)

	実施日	実施団体	内容	参加者数
1	7/3	津久見市立青江小学校 4年生	アイマスク体験	21名
2	7/4	津久見市立千怒小学校 4年生	車いすバスケットボール交流会	22名
3	10/14	津久見市立津久見小学校 4年生	アイマスク体験	31名
	計	3団体		74名

(合計)

32団体

2084名

④ 調査研究事業

ア 福祉の仕事を目指す学生の意識調査

福祉・介護の職場を目指す県内の福祉系の高校・専門学校・短期大学に在籍している学生が、福祉のしごとに対してどのような意識を持っているかを把握することにより、今後の円滑な人材確保に資することを目的として実施した。

イ おおいた社会福祉施設ガイドブック（2026 年版）

求職者の求職活動の参考として提供することを目的として作成した。

（５）福祉人材確保特別推進事業

① 社会福祉施設等新任職員研修及び新任介護担当職員研修の開催

ア 社会福祉施設等新任職員研修

福祉施設等の新任職員として、福祉の基礎知識や心得について学習するとともに、チームで働く重要性を学び、組織で働く自覚と意識の向上を図ることを目的として実施した。

期 日：令和 7 年 4 月 22・23 日

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：1 日目：124 名 2 日目：122 名

内 容：講義・演習 （計 2 日間×1 組）

イ 社会福祉施設等新任介護担当職員研修

新任の施設介護職員として、基礎的な介護理論及び技術を習得し、専門職に求められる職業倫理や基本姿勢を再認識するとともに、医学的知識、多職種連携、記録の活用方法等を学び、観察力や対応力の向上を図り、利用者の支援の充実につなげることを目的に実施した。

期 日：令和 8 年 2 月 18・27 日 計 2 日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：1 日目：31 名 2 日目：32 名

内 容：講義・演習・実技講習

② 社会福祉士養成講座

令和 7 年度（第 38 回）社会福祉士国家試験の受験対策として、大分県社会福祉士会の協力を得ながら受験対策講座を実施した。

期 日：令和 7 年 8 月 4 日～令和 8 年 1 月 31 日

※講義の事前収録による動画配信システムでの講義視聴

模擬試験（10 月 19 日）

参加者：講義 4 名

模擬試験 5 名

内 容：講義 7 科目、模擬試験

（６）介護の仕事・離職時届出制度

平成 29 年 4 月から令和 8 年 3 月までの登録者数 394 名

3 日田市福祉人材バンク事業実績

(1) 福祉人材バンク事業

- ① 情報提供 求職登録者への求人情報誌の配布（3か月に1回）
 日田市社会福祉協議会ホームページに求人情報一覧を掲載（12回）
 求人確保のための施設訪問等実施（44回）

② 月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談（件）	4	7	3	3	7	3	7	4	5	2	2	4	51
求職（名）	2	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	7
求人（件）	12	32	14	14	23	15	18	24	16	10	11	0	189
（名）	27	46	18	27	38	17	32	35	20	14	29	0	303
紹介（名）	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
就職（名）	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(2) 説明会・講習会等

「福祉・保育・看護のしごと 2025 就職フェア」

期 日：令和7年8月9日（土）

会 場：市民文化会館「パトリア日田」

主 催：日田市、日田市社会福祉協議会

参加事業者：25 事業所 求職参加者：21 名（学生 4 名、一般求職者 17 名）

(3) 福祉人材確保相談事業

第 29 回市民健康福祉まつり・相談コーナー

期 日：令和7年10月12日（日）

会 場：日田市民文化会館「パトリア日田」

相談者：1 名

主 催：日田市、日田市社会福祉協議会

(4) 啓発、広報事業

- ① 機関誌「社協だより・ひた」への福祉人材情報掲載
 年4回「6月号、8月号、10月号、2月号」
 市内全世帯（約 27,000 部）に配布

② 関係市町との連携

日田市、玖珠町、九重町の広報誌に福祉人材情報を掲載。日田市及び日田市社協公式ウェブサイトにも福祉人材センター・バンク情報を掲載。

研修名	11-① 介護・福祉職場の魅力発信＆人材確保事業		
研修区分	一般県民(学校)(福祉人材養成研修)		
目的	小中高校生等の若い世代に対し、将来の職業選択につながるよう介護・福祉の仕事のやりがいや環境改善の取り組みなど介護・福祉職場の魅力を発信し、人材確保に繋げる。		
対象者	中学校、高等学校の生徒・教員・保護者等		
延べ参加人数	287名	会場	実施希望校
期日	○福祉のお仕事魅力発見セミナー 令和7年10月8日(水) ○「福祉のお仕事魅力発信動画」上映 令和7年7月16日(水) 令和7年11月3日(月・祝)		
	研修内容	講師	
	○福祉のお仕事魅力発見セミナー 10/8 キャリア教育の一環として介護・福祉職として働く意義や働く人々の様々な思いを理解し、進路や職業選択のサポートとなるべく、実施希望校を募集して出前講座「福祉のお仕事魅力発見セミナー」を実施。 【VR認知症体験会】 対象:大分県立津久見高校 地域みらいビジネス科3年生 49名(生徒42名、教員等7名) ○「福祉のお仕事魅力発信動画」上映 7/16 介護研修センターで実施した福祉系高校の「子どものための福祉講座」の昼食時間を活用し、「福祉のお仕事魅力発信動画」を上映。 対象:大分県立大分南高校 福祉系学科1年生 80名(参加人数は子どものための福祉講座でカウント) 11/3 介護の魅力発信イベント「おおいた介護・福祉魅力発見フェス2025」で福祉人材センターブース来場者に「福祉のお仕事魅力発信動画」を上映。 福祉人材センターブース来場者:238名	【講師】 朝日カルチャーセンター「認知症フレンドリー事業」運営責任者 ディレクター 石嶋 俊郎 氏	

研修名	11-② 介護・福祉職場の魅力発信＆人材確保事業		
研修区分	施設・在宅等職員		
目的	高齢化の進展に伴う福祉・介護分野の人材不足に対応するため、本セミナーは、施設・事業所の魅力発信や効果的な採用手法、定着率向上の取組事例を共有し、採用力の強化および福祉人材の安定的な確保・定着を図ることを目的として開催した。		
対象者	社会福祉施設等の管理職員及び採用担当職員、広報担当職員		
延べ参加人数	43名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和8年1月23日(金)		
	研修内容		講師
	講義Ⅰ 「福祉現場の効果的な魅力発信について ～自施設の魅力、発信を雇用へ～」 自施設の魅力を明確化し、求職者に効果的に発信する手法や、時代に即した採用活動のポイントを学び、雇用定着に向けた課題を整理する。 講義Ⅱ 「異業種から福祉へ」 人間関係の課題への対応や信頼関係の構築、理念共有による人材定着と組織づくりの取組を学ぶ。		講義Ⅰ 【講師】エデュテーム・パートナーズ 代表 秋満 直人 氏 講義Ⅱ 【講師】社会福祉法人 ひまわり 統括施設長 真田 康德 氏

研修名	12 社会福祉事業経験者等再就職支援講習会		
研修区分	一般県民(福祉人材養成研修)		
目的	介護の現場を離れてブランクのある方、または介護の資格を取得しこれから介護職への就職を希望する方を対象に、就職に向けて必要な介護の知識・技術の習得を目指します。		
対象者	介護現場への再就職を希望する方または介護福祉系資格を取得後に介護職への就職を目指す方		
延べ参加人数	24名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	1日目:令和8年2月4日(水) 2日目:令和8年2月5日(木)		
	研修内容	講師	
1日目 2/4	【講義】 在宅生活を支える訪問系・通所系サービスの実際 【講義・実技】 排泄ケア ～排泄のしくみと正しいオムツのあて方	大分県ホームヘルパー協議会 会長 古野 善子 社会医療法人 敬和会 大分豊寿苑・けいわ 事業推進室次長 相良 円香	
2日目 2/5	【講義・実技】 口腔ケア ～介護における口腔ケアの重要性とポイント 【講義・実技】 身体に負担をかけない移乗	一般社団法人 大分県歯科衛生士会 足立 史織 社会福祉法人 農協共済別府リハビリテーションセンター リハビリテーション部 神宮 武	

研修名	13 子どものための福祉講座		
研修区分	一般県民(福祉人材養成研修)		
目的	小・中・高校生に対して、介護福祉体験や地域の様々な資源とつながりを持った福祉教育を実施し、地域社会の一員としての福祉意識の向上と、これからの福祉を担う人材の育成を図る。		
対象者	小・中・高校生		
延べ参加人数	2360名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	随時		
	研修内容	講師	
	【研修センター実施分】 介護体験・車いす体験 高齢者疑似体験・視覚障害を知る体験 福祉用具展示場見学 等 実施回数 8回 参加人数 356名 【地域実施分】 車いす体験・アイマスク体験 盲導犬とのふれあい体験 障がい者スポーツ体験 等 実施回数 32回 参加人数 2,084名	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 等 大分県介護福祉士会 障害のある当事者 他	

3 令和7年度 知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結する業務実績

- ・ 社会福祉施設従事者等研修事業実績
- ・ 福祉・介護人材確保対策事業実績
- ・ ノーリフティングケア普及促進事業実績
- ・ 保育士・保育所支援センター設置事業実績
- ・ 介護DXサポートセンター設置事業実績

令和7年度 社会福祉従事者等研修事業実績

(知事が必要に応じ指定管理者と別途契約を締結した業務)

1 社会福祉従事者等研修事業

1 行政職員研修

●階層・職種別研修

No.	研 修 名	対 象 者	口数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
14	県市町村福祉担当新任職員研修	福祉担当新任職員 (実務経験1～2年程度、 課長補佐級以下)	2日	130名 1日目 68名 2日目 62名	福祉における権利擁護 ー障がい者の権利と自立支援 認知症の人と家族の状況を知る ～当事者(本人と家族)の心理と置かれてい る環境から行政施策を考える～ 子どもを取り巻く環境と課題について ～スクールソーシャルワーカーの活動から～ 要配慮者体験研修 地域共生社会と地域福祉の推進
15	県市町村高齢者福祉担当職員研修	高齢者福祉担当職員	1日	11名	カスタマーハラスメントとは よくある問題点 必要な3つの要素(①自分たちのサービスの 基準を明確に・②お申し出から正しい判断を する・③個人のスキルと組織の体制)
16	県市町村障がい福祉担当職員研修	県・市町村の障害福祉担当 課、市福祉事務所の障害福 祉担当職員、県・市町村の 保健師等	1日	17名	令和6年度 障がい福祉サービス等制度改正・ 報酬改定の背景と目的 主な改定内容 制度改正により義務化されたもの 今後の方向性～令和9年度改正に向けて～
17	県市町村福祉担当管理監督 職員研修	上記2, 3の中で実施			

2 社会福祉施設・在宅等職員研修

●階 層 別

No.	研 修 名	対 象 者	H数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
18	社会福祉施設等新任職員研修(前期) (新任介護担当職員含む)	社会福祉施設等及び社会福 祉協議会に勤務する新任職 員(勤務年数1年未満)	2日	247名 1日目 124名 2日目 123名	福祉サービスの基本理念と倫理 社会人、組織人としての基本的理解 当事者・家族の思い 福祉現場で働く意義と自覚について

No.	研 修 名	対 象 者	日数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
18	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程 〔初任者コース〕	社会福祉施設や事業所及び 社会福祉協議会等の入職後 概ね3年以内の職員	2日	132名	セッション① ・福祉職員としてのキャリアデザインと 自己管理 セッション② ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・組織の一員としてのフォロワーシップ セッション③ ・対人関係マナーと言葉遣い セッション④ ・初任者としての能力開発 ・業務においての問題解決の必要性を学ぶ ・福祉サービスとリスクマネジメント ・組織内での多職種連携、協働 ・組織運営管理の基礎 セッション⑤ ・行動指針策定 セッション⑥ ・キャリアデザインとアクションプランの 策定
	社会福祉施設等初任者研修		1日	60名	新任職員のためのコミュニケーションと マナー
19	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程 〔中堅職員コース〕	社会福祉施設・事業所及び 社会福祉協議会等の担当業 務の独力遂行が可能なレベ ルの職員（入職後3～5年 程度の職員）	2日	118名	セッション① ・キャリアデザインと自己管理 セッション② ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・中堅職員としてのフォロワーシップの 醸成 セッション③ ・チームケアと問題解決 セッション④ ・中堅職員としての能力開発と後輩職員の 指導 ・業務課題の解決 ・利用者の尊厳を守る福祉サービスと リスクマネジメント ・他組織・地域の専門職との連携、協働 ・組織運営管理の理解促進と参画 セッション⑤ ・中堅職員の行動指針策定 セッション⑥ ・キャリアデザインとアクションプランの 策定
	社会福祉施設等中堅職員 研修		1日	29名	上司とのコミュニケーション
20	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程 〔チームリーダーコース〕	近い将来チームリーダー等 の役割を担う中堅職員、主 任・係長等の職員	2日	106名	セッション① ・チームリーダーとしてのキャリア デザインと自己管理 セッション② ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・チームリーダーとしてのリーダーシップ の醸成

	社会福祉施設等 チームリーダー研修		1 日	58 名	セッション③ ・OJTの効果的推進 セッション④ ・チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進 ・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携、地域協働の推進 ・組織運営管理への参画と協働 セッション⑤ ・行動指針策定 セッション⑥ ・キャリアデザインとアクションプランの策定 チームづくりのためのファシリテーション
21	福祉職員キャリアパス対応 生涯研修課程 〔管理職員コース〕	社会福祉施設の施設長等	2 日	50 名	セッション① ・管理職員としてのキャリアデザインと環境整備 セッション② ・福祉サービスの基本理念・倫理の徹底 ・組織、部門管理者としてのリーダーシップの醸成 セッション③ ・人材アセスメント セッション④ ・管理職員としての能力開発と人材育成 ・組織レベルの業務改善や問題解決の仕組みづくり ・福祉経営とリスクマネジメント ・チームアプローチや多職種連携の管理 ・地域協働の推進 ・組織運営管理体制の整備と推進 セッション⑤ ・職員の行動指針策定 セッション⑥ ・キャリアデザインとアクションプランの策定 離職を防ぐ職場環境づくり
22	社会福祉法人監事研修	「11 社会福祉法人理事（長）研修」と交互開催のため令和7年度は開催なし			
23	社会福祉法人理事（長）研修	社会福祉法人の理事長および理事	1 日	23 名	ストレスやメンタルヘルスの面からコンプライアンスを考える
42	介護保険事業所トップセミナー	県内の介護保険事業所開設者、職員、県・市町村高齢者福祉担当職員、県・市町村社会福祉協議会職員、地域包括支援センター職員等	1 日	83 名	介護保険制度改正・介護報酬改定の最新動向 介護保険事業所におけるサービス提供体制の現状と課題 地域包括ケアシステムの更なる深化 2040 年に向けた今後の在り方

					新たな地域医療構想における 2026 年診療報酬改定の方向と介護事業への影響と対応策 令和 8 年度策定：第 10 期介護保険事業計画策定に向けた事業者の関わり
--	--	--	--	--	---

●職 種 別

No.	研 修 名	対 象 者	日数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
24	高齢者福祉施設相談職員研修	高齢者福祉施設において相談業務に携わる職員	1 日	52 名	カスタマーハラスメント防止と対応 暴力・暴言や不審者のリスクに強い組織づくり
25	社会福祉施設等新任介護担当職員研修	社会福祉施設等において専ら介護等の業務に従事する職員（介護職員等）で、業務経験年数が概ね 1 年未満の者	2 日	63 名 1 日目 31 名 2 日目 32 名	介護職における大切な姿勢やマインド 動ける介護職になるために高齢者にみられる 症状の観察ポイントを学ぶ チームメンバーとしての介護職 大分県介護 DX サポートセンターについて 介護・支援記録研修 介護従事者のためのメンタルヘルス
26	障がい児（者）施設等職員研修	障害者支援施設等において施設サービスに従事する職員	2 日	95 名 A コース 47 名 B コース 48 名	【A コース】 発達障がいの基本特性 発達障がい者の支援とコミュニケーション 保護者への関わりや支援 実際の現場における対応 【B コース】 対人援助専門職としての価値 援助関係の形成
39	サービス計画担当者研修（基礎課程）	指定訪問介護事業所、指定通所介護事業所における現任のサービス計画担当者	2 日	112 名 （訪問・通所） 1 日目 57 名 2 日目 55 名	大分県における地域包括ケアの構築と推進について 自立支援型介護計画を目指した課題抽出の仕方 昨年度の事例発表の体験 因子分解を用いた計画書作成
40	サービス計画担当者研修（応用課程）	指定訪問介護事業所、指定通所介護事業所における現任のサービス計画担当者で基礎課程を修了した者	6 日	152 名 （訪問・通所） 1 日目 34 名 2 日目 36 名 3 日目 31 名 4 日目 51 名	大分県における地域包括ケアの構築と推進について 実践！自立支援に向けた介護計画を目指した課題抽出の仕方（応用編） 前年度の事例発表の体験 各自事前課題の発表・事例検討 やってみよう！自立支援に向けたケースカンファレンス 実証！元気になる自立支援ケースカンファレンス 自立支援型サービス実践事例報告会 介護保険の理念・生活機能・説明力・人材育成 ※1 日目及び 4 日目は訪問介護事業所・通所介護事業所合同で実施し、2 日目及び 3 日目は各事業所別を実施。

41	介護職員現任者研修	指定訪問介護事業所、又は、通所介護事業所に所属する現任の介護職員	3日	99名 (訪問・通所) 1日目 33名 2日目 33名 3日目 33名	大分県における地域包括ケアの構築と推進について 生活機能アセスメントについて 昨年度実践事例体験発表 高齢者の暮らしをひろげる筋力アップトレーニングと目標設定の立案 口腔機能向上アセスメントと実際 おいしく食べるための支援 正しい薬の管理のための支援 口腔内から守る健康～生きること食べることを支えるために～ コミュニケーション障害とその対応 認知症ケアの理解と対応方法～共生と予防を目指して～ 自立支援型サービス実践事例発表と関連ミニレクチャー 介護保険の理念・生活機能・説明力・人材育成 ※3日目はサービス計画担当者研修(応用課程)の4日目と合同で実施。
27	障がい者(児)居宅介護職員養成研修	原則として、「介護職員初任者研修課程修了者」「従前の訪問介護員養成研修2級課程修了者」「介護福祉士」「社会福祉士及び介護福祉士法に基づく実務者研修修了者」「介護職員基礎研修・従前の訪問介護員養成研修1級課程修了者」であって、現に居宅介護等事業に従事(今後、勤務を予定している者を含む)し、勤務する事業所の推薦を受けた者	2日	28名 1日目 14名 2日目 14名	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくり 障がい者ケアマネジメントについて 身体障がいについて 知的障がいの理解と支援 精神障がいの理解と支援 当事者・家族の思い
28	社会福祉施設事務担当職員研修	社会福祉施設(保育所を除く)の事務長、事務担当職員	2日	165名 1日目 82名 2日目 83名	社会福祉法人会計簿記Ⅰ・Ⅱ Ⅰ 会計入門 Ⅱ 簿記初級
29	社会福祉施設等給食担当職員研修	社会福祉施設等に勤務する給食担当職員及び食事を外部委託している施設等の関係職員	1日	63名	食中毒と感染予防 福祉施設の「食」の安全対策
30	社会福祉施設等看護担当職員研修	社会福祉施設等(保育所を除く)の看護担当職員及び施設等利用者に対し直接・間接的に支援している職員	1日	78名	福祉施設や事業所で起こりやすい感染症、食中毒 感染対策指針 感染対策マニュアル 感染症BCPの目的

●課 題 別

No.	研 修 名	対 象 者	日数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
31	介護技術講師養成研修	社会福祉施設等で5年以上の勤務経験を有する方、所属事業所において指導者あるいは中核的な役割を担っている方	10 日	68 名	自立支援、利用者本位の視点に立った基本的な介護技術の指導方法の習得。 ・寝返り/起き上がり/立ち上がりの介助 ・衣服の着脱の介助/シーツ交換 ・入浴の介助 ・清拭/足浴/洗髪の介助 ・排泄の介助/おむつのあて方 ・食事の介助 ・福祉用具の活用 ・巾いすの介助 ・模擬教室の開催
32	介護技術講師継続研修	介護技術講師	3 日	①24 名 ②31 名	①排泄ケア ②介護技術
34	認知症介護実践者研修	①介護職員等で認知症介護における実務経験が3年以上の者 ②認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の管理者及び計画作成担当者や認知症対応型通所介護の管理者に就任予定の者	6 日 + 実習 × 3 組	799 名 1 組 324 名 2 組 236 名 3 組 239 名	認知症ケアの基本的視点と理念 認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 QOLを高める活動と評価の視点 家族介護者の理解と支援方法 権利擁護の視点に基づく支援 地域資源の理解とケアへの活用 学習成果の実践展開と共有 アセスメントケアの実践の基本 生活支援のためのケアの演習 職場実習の課題設定 職場実習評価
35	認知症介護実践リーダー研修	①認知症介護実践者研修（実務者研修基礎課程）を修了した者で、研修修了から1年以上経過している者 ②介護職員等で認知症介護における実務経験が5年以上の者	6 日 + 実習	239 名	認知症介護実践リーダー研修の理解 認知症の専門的理解 施策の動向と地域展開 チームケアを構築するリーダーの役割 ストレスマネジメントの理論と方法 ケアカンファレンスの技法と実践 認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法 職場内教育の基本視点 職場内教育（OJT）の方法の理解 職場内教育（OJT）の実践 職場実習の課題設定 結果報告&職場実習評価
36	認知症対応型サービス事業開設者研修	認知症介護事業所の代表者または代表者になることが具体的に予定されている者	1 日 + 現場 体験	5 名	認知症高齢者の基本的理解 認知症高齢者ケアのあり方 地域密着型サービスの取組みについて 家族の理解・高齢者との関係の理解 現場体験

37	認知症対応型サービス事業 管理者研修	認知症対応型サービス事業所の管理者または就任予定者	3日	121名 1日目 41名 2日目 40名 3日目 40名	地域密着型サービス基準 管理者研修の役割と心構え 介護従事者に対する労務管理（労働基準法） 介護従事者に対する労務管理（実務） 地域密着型サービスの取組 適切なサービス提供のあり方（Ⅰ）（Ⅱ）
38	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	指定小規模多機能型居宅介護事業所または指定看護小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者または計画作成担当者就任予定者	2日	26名 1日目 13名 2日目 13名	総論・小規模多機能ケアの視点 ケアマネジメント論 地域生活支援 チームケア 居宅介護支援計画作成の実際

●福祉人材養成確保

No.	研 修 名	対 象 者	日数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
33	社会福祉士養成研修	社会福祉士資格を取得しようとする者 ※動画配信システムによる 講義視聴 (視聴期間：令和7年8月 4日～令和8年1月31 日)	一	4名 5名	【講義】 高齢者福祉 児童・家庭福祉 貧困に対する支援 保健医療と福祉 ソーシャルワークの基盤と専門職（専門） ソーシャルワークの理論と方法（専門） 福祉サービスの組織と経営 【模擬試験】 全国統一模試

3 地域福祉活動従事者

●地域支援事業関連

No.	研 修 名	対 象 者	日数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
43	生活支援コーディネーター 養成研修	市町村のコーディネーター、行政担当者	4日	183名 (初任者・現任者) 81名 連絡会 (1回目) 50名 (2回目) 52名	初任者 ・地域支援事業実施要綱等の改正の概要と生活支援コーディネーターの業務 現任者 ・各地域生活支援コーディネーター及び市町村担当者が抱える“課題”について 連絡会(第1回) ・生活支援体制整備事業の現状と課題について ・多様な主体との生活支援にかかる取組について ・生活支援体制整備事業の成果とは

					連絡会(第2回) ・別府市における SC の取組 ・各市町 SC のマッチング活動(課題)の共有と多様な主体とのサービス創出手法
44	地域包括支援センター(初任者・現任者)養成研修	地域包括支援センター、市町村、保健所	4 日	146 名 初任者 第 1 回 32 名 第 2 回 17 名 第 3 回 59 名 現任者 38 名	初任者(第 1 回) ・地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議の役割と機能について ・地域ケア会議の資料の見方 ・模擬地域ケア会議の視聴 ・地域ケア会議のコーディネートのポイント ・地域ケア会議における助言者の役割について ※第 1 回地域ケア会議コーディネーター養成研修(初任者)との併催 初任者(第 2 回) ・地域包括支援センターについて ・多頭飼育対策について ・虐待の事実の有無及び緊急性についての考え方 初任者(第 3 回) ・大分県における高齢者虐待の現状について ・大分県のひきこもり対策について ・グループワークを通じた事例検討 ・カスタマーハラスメントについて 現任者 ・新しい認知症観について ・若年性認知症支援コーディネーターの活動紹介 ・ワークを通じた困難事例検討
45	地域ケア会議コーディネーター養成研修	市町村、地域包括支援センター職員、各専門職	3 日	198 名 初任者 32 名 アドバイザー ・現任者 129 名 保険者 機能強化支援 研修会 37 名	初任者 ・地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議の役割と機能について ・地域ケア会議の資料の見方 ・模擬地域ケア会議の視聴 ・地域ケア会議のコーディネートのポイント ・地域ケア会議における助言者の役割について ※第 1 回地域包括支援センター初任者研修との併催 アドバイザー・現任者 ・これからの地域ケア会議のあり方について ・総合事業の充実に向けて専門職に求められる役割 介護保険における保険者機能強化支援に向けた研修会 ・大分県の介護保険の現状 ・保険者機能強化支援に活用できる各種ツール・取組みについて
46	在宅医療・介護連携研修	市町村、医療・介護関係者、保健所	2 日	32 名 コーディネーター 33 名 全体 49 名	コーディネーター ・在宅医療・介護連携推進事業におけるコーディネーターの可能性 ・グループワーク ①講演を踏まえた連携・協働の実態共有 ②各地域での在宅医療・介護連携の取組

					全体 【講演】 ごちゃまぜ師に学ぶ 地域を支える多職種連携 【グループワーク】 地域事例から多職種連携を考える
--	--	--	--	--	---

4 一般県民

No.	研 修 名	対 象 者	日数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
47	介護入門者研修	一般県民（介護未経験者であり、かつ介護職としての資格を持たない者）	4 日 × 2 組	17 名	◎基礎講座 介護に関する基礎知識 介護の基本 ◎入門講座 基本的な介護の方法 認知症の理解 障がいの理解 介護における安全確保
6	介護の仕事入門セミナー	県民（介護の仕事に関心のある者、介護の仕事の就労や学びを希望する者）	1 日 × 3 回	27 名	介護職の魅力について 介護の仕事の基礎知識、介護保険制度 施設職員による講話・魅力紹介 グループホームとは 認知症とは 施設見学

(1) 令和7年度 社会福祉施設従事者等研修事業実績

- ・ 社会福祉施設職員等研修事業
- ・ 認知症介護実践研修事業
- ・ 介護予防職員等育成推進事業
- ・ 地域包括ケア推進に係る人材育成研修事業

研修名	14 県市町村福祉担当新任職員研修		
研修区分	行政職員(階層別研修)		
目的	行政の福祉担当職員としての基礎的な知識、技術を身につけ、社会福祉従事者としての資質の向上を図る。		
対象者	福祉行政機関の新任職員(実務経験1～2年程度、課長補佐級以下の職員)		
延べ参加人数	130名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年6月24日(火) 令和7年6月26日(木)		
	研修内容	講師	
6/24	【講義】 福祉における権利擁護 【講義】 認知症の人と家族の状況を知る 【講義】 子どもを取り巻く環境と課題について	大分県自閉症協会 会長 平野 亙 大分県認知症介護指導者 黒田 学志 スクールソーシャルワーカー 井上 裕美	
6/26	【講義・演習】 要配慮者体験研修 【講義・演習】 地域共生社会と地域福祉の推進	NPO法人 自立支援センターおおいた 理事長 後藤 秀和 九州ルーテル学院大学人文学部 准教授 西 章男	

研修名	15 県市町村高齢者福祉担当職員研修		
研修区分	行政職員(職種別研修)		
目的	カスタマーハラスメントの現状と課題を共有するとともに、実践的な対応の考え方や組織的な支援体制の構築に向けた基礎を学ぶことを目的とする。		
対象者	高齢者福祉行政機関の職員		
延べ参加人数	17名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和8年2月4日(水)		
	研修内容	講師	
2/4	【講義・演習】 カスタマーハラスメント対応研修・現場職員編 ・カスタマーハラスメントとは ・よくある問題点 ・必要な3つの要素(①自分たちのサービスの基準を明確に・②お申し出から正しい判断をする・③個人のスキルと組織の体制)	一般社団法人コーチングプラットフォーム 認定コーチ 日本プロフェッショナル講師協会 認定講師 堅田 雅子	

研修名	16 県市町村障がい福祉担当職員研修		
研修区分	行政職員(職種別研修)		
目的	令和6年度障がい福祉サービス等制度改正および報酬改定を振り返り、制度の“今”を的確に把握するとともに、次期制度改正・報酬改定の最新動向を踏まえ、障がい福祉担当職員等としての役割を再確認し、障がい福祉サービス事業者等への相談・支援や運営指導等、日々の実務に活かすことを目的とする。		
対象者	障がい福祉行政機関の職員		
延べ参加人数	11名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和8年3月4日(水)		
	研修内容	講師	
3/4	【講義・演習】 障がい福祉サービス等制度改正の動向と日 体の実務対応 ～制度の“今”を振り返り、“次”の展開を 見据える～ ・令和6年度 障がい福祉サービス等制度改正・報酬改定の背景と目的 ・主な改定内容 ・制度改正により義務化されたもの ・今後の方向性～令和9年度改正に向けて～	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社 専任講師 WELL WAVE 代表 溝部 一夫	

研修名	17 県市町村福祉担当管理監督職員研修		
研修区分	行政職員(階層別研修)		
目的			
対象者	県市町村高齢者福祉担当職員研修、県市町村障がい福祉担当職員研修内で実施		
延べ参加人数	-	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日			
	研修内容	講師	

研修名	18 社会福祉施設等新任職員研修(福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース含む)		
研修区分	施設・在宅等職員(階層別研修)		
目的	<社会福祉施設等新任職員研修> 福祉施設等の新任職員として福祉の基礎知識や心得について学習するとともに、グループワークを通してチームで働く重要性を学び、組織で働く自覚と意識の向上を図る。 <福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース> 福祉業界の初任者として、社会福祉の基礎を学び、組織の一員として業務に従事するための基本姿勢を身につけるほか、事前学習や演習をとおして、自身のキャリアアップの方向性を見出し、その実現に向けて必要なことを考える。 <社会福祉施設等初任者研修> 社会人として求められるビジネスマナーの基礎やコミュニケーションスキルについて学び、組織人としての基礎を身につけるとともに、今後の業務に活かす。		
対象者	新任職員研修:社会福祉施設等の入職後概ね1年未満の職員 初任者コース:社会福祉施設等の入職後概ね3年以内の職員		
延べ参加人数	439名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	<社会福祉施設等新任職員研修> 令和7年4月22日(火) 令和7年4月23日(水) <福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース> 令和7年8月6日(水) 令和7年8月7日(木) <社会福祉施設等初任者研修> 令和7年9月30日(火)		
	研修内容	講師	
4/22	<社会福祉施設等新任職員研修> 【講義】 福祉サービスの基本理念と倫理 社会人、組織人としての基本的理解 【講義】 当事者・家族の思い	諏訪緑の園 施設長 施設長 宇都宮 浩二	
4/23	【講義・演習】 福祉現場で働く意義と自覚について	大分県医療的ケア児者の親子サークルここから 代表 安藤 歩	
8/6	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース> 【講義・演習】 ・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・組織の一員としてのフォロワーシップ ・対人関係マナーと言葉遣い	ケアプランセンターこくが 管理者 國部 昭夫	
8/7	【講義・演習】 ・初任者としての能力開発 ・業務においての問題解決の必要性を学ぶ ・福祉サービスとリスクマネジメント ・組織内での多職種連携、協働 ・組織運営管理の基礎	ケアプランセンターこくが 管理者 國部 昭夫	

	・行動指針策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	
9/30	<社会福祉施設等初任者研修> 【講義・演習】 新任職員のためのコミュニケーションとマナー	有限会社ファニーフェイス 取締役・講師 木本 須賀美

研修名	19 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース		
研修区分	施設・在宅等職員(階層別研修)		
目的	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース> 中堅職員として、自身の果たすべき役割と行動指針を明確にし、挑戦目標等のキャリアデザインの設定を行うとともに、描いたキャリアデザインをもとに業務を通じて能力を発揮し、質の高い福祉サービスの提供につなげる。 <社会福祉施設等中堅職員研修> 自身の仕事の原点や魅力などを振り返り、「やる気の素」を知り、「意識」を変えることによって、自己肯定感や自己効力感を高め、モチベーションアップにつなげるとともに組織の活性化を図る。		
対象者	社会福祉施設等で担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員(入職後概ね3～5年程度の職員)		
延べ参加人数	147名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース> 令和7年9月9日(火) 令和7年9月10日(水) <社会福祉施設等中堅職員研修> 令和7年12月16日(火)		
	研修内容	講師	
9/9	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース> 【講義・演習】 ・キャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・中堅職員としてのフォローアップの醸成 ・チームケアと問題解決	諏訪緑の園 施設長 宇都宮 浩二	
9/10	【講義・演習】 ・中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導 ・業務課題の解決 ・利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント ・他組織・地域の専門職との連携、協働 ・組織運営管理の理解促進と参画 ・中堅職員の行動指針策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	諏訪緑の園 施設長 宇都宮 浩二	
12/16	<社会福祉施設等中堅職員研修> 【講義・演習】 上司とのコミュニケーション	NPO法人 ヘルスコーチ・ジャパン 代表理事 最上 輝未子	

研修名	20 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース		
研修区分	施設・在宅等職員(階層別研修)		
目的	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース> 近い将来チームリーダーを担う者として、自己管理や組織内でのリーダーシップについて学ぶと同時に、事前学習や演習を通して自身のキャリアアップの方向性を見出し、その実現に向けて必要なことを考える。 <社会福祉施設等チームリーダー研修> 様々なスタッフの意見を引き出しながら、課題を整理し、合意形成に向け、効果的なコミュニケーションを実現するファシリテーションの基本的なスキルを学ぶとともに、今後、組織の中核となるチームリーダーの資質向上に資する。		
対象者	社会福祉施設等で近い将来チームリーダー等の役割を担う中堅職員、主任・係長等の職員		
延べ参加人数	164名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース> 令和7年10月8日(水) 令和7年10月9日(木) <社会福祉施設等チームリーダー研修> 令和7年8月8日(金)		
	研修内容	講師	
10/8	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース> 【講義・演習】 ・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成 ・OJTの効果的推進	大分県日田はぎの園 園長 穴井 靖彦	
10/9	【講義・演習】 ・チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進 ・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携、地域協働の推進 ・組織運営管理への参画と協働 ・行動指針策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	大分県日田はぎの園 園長 穴井 靖彦	
8/8	<社会福祉施設等チームリーダー研修> 【講義・演習】 チームづくりのためのファシリテーション	ひとづくり工房 esuco(えすこ) 代表 浦山 絵里	

研修名	21 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース		
研修区分	施設・在宅等職員(階層別研修)		
目的	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース> 社会福祉施設・事業所の管理職員や、近い将来その役割を担う指導的立場の職員が、職場の環境整備や管理職員としてのリーダーシップについて学ぶとともに、事前学習や演習を通して管理職員としてのキャリアアップの方向性を見出し、その実現に向けて必要なことを考える。 <社会福祉施設等管理職員研修> 「指導に悩む部下」の育った社会背景がもたらす影響を分析しどんな世代にも通用する効果的なアプローチ方法を学ぶことで、今後の円滑な業務や組織運営につなげる。		
対象者	社会福祉施設等で近い将来管理者等の役割を担う指導的立場の職員または施設長や部門管理者等の職員		
延べ参加人数	83名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース> 令和7年12月2日(火) 令和7年12月2日(火) <社会福祉施設等管理職員研修> 令和7年10月30日(木)		
	研修内容	講師	
12/2	<福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程管理職員コース> 【講義・演習】 ・管理職員としてのキャリアデザインと環境整備 ・福祉サービスの基本理念・倫理の徹底 ・組織、部門管理者としてのリーダーシップの醸成 ・人材アセスメント	社会福祉法人みずほ厚生センター 本部長 高橋 智秀	
12/3	【講義・演習】 ・管理職員としての能力開発と人材育成 ・組織レベルの業務改善や問題解決の仕組みづくり ・福祉経営とリスクマネジメント ・チームアプローチや多職種連携の管理 ・地域協働の推進 ・組織運営管理体制の整備と推進 ・職員の行動指針策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	社会福祉法人みずほ厚生センター 本部長 高橋 智秀	
10/30	<社会福祉施設等管理職員研修> 【講義・演習】 離職を防ぐ職場環境づくり	エデュテーション・パートナーズ 代表 秋満 直人	

研修名	22 社会福祉法人監事・評議員研修		
研修区分	施設・在宅等職員(階層別研修)		
目的	23 社会福祉法人理事(長)研修」と交互開催のため令和7年度は開催なし		
対象者	社会福祉法人の監事等		
延べ参加人数	0名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日			
	研修内容	講師	

研修名	23 社会福祉法人理事(長)研修		
研修区分	施設・在宅等職員(階層別研修)		
目的	理事長および理事が経営層として、心の健康に配慮した職場づくりと実効性あるコンプライアンス体制の構築を学び、職員が高いモチベーションを維持しながら継続的に法令遵守を実践できる組織づくりを目的とする。		
対象者	社会福祉法人の理事長および理事		
延べ参加人数	23名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和8年1月9日(金)		
	研修内容	講師	
1/9	【講義・演習】 心の健康とコンプライアンス ・コンプライアンスとは？ ・身近な事例で考えるコンプライアンス ・コンプライアンスが必要になった背景 ・働く人の日常とコンプライアンス ・コンプライアンス違反を犯してしまう「心の状態」とは ・コンプライアンス違反を防ぐための「心の健康づくり」 ・コンプライアンス意識を高め、よりよい職場環境を作るために～コンプライアンスとモチベーション	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社 専任講師 福岡工業大学短期大学部 非常勤講師 西日本看護専門学校 非常勤講師 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 指導者 公認心理師 産業カウンセラー 山本 素子	

研修名	24 高齢者福祉施設相談職員研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	高齢者福祉施設・事業所における支援に必要な専門知識や技術について習得し、相談援助業務に携わる職員としての資質向上を図る。		
対象者	高齢者福祉施設等において相談援助業務に従事する職員		
延べ参加人数	52名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年10月22日(水)		
	研修内容	講師	
10/22	【講義・演習】 カスハラ・不適切行為リスク対応研修 ～職員安全を守る職場づくり～ ・カスタマーハラスメント等のリスクに対応する職員個人のマインドと対応力 ・組織としてのリスクマネジメントとクライシスマネジメント	株式会社STU 代表取締役 危機管理コンサルタント 1秒護身術トレーナー 皆川 博伸	

研修名	25 社会福祉施設等新任介護担当職員研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	新任の介護担当職員に対して、基礎的な介護理論及び技術を習得させ、施設利用者の処遇の充実を図る。		
対象者	社会福祉施設等の入職後概ね1年未満の介護職員		
延べ参加人数	63名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和8年2月18日(水) 令和8年2月27日(金)		
	研修内容	講師	
2/18	【講義】 介護職における大切な姿勢やマインド 【講義】 動ける介護職になるために高齢者にみられる症状の観察ポイントを学ぶ 【講義】 チームメンバーとしての介護職	特定非営利活動法人虹の翼 理事長 田中 努 けいわ訪問看護ステーション大分 特定行為研修修了看護師 平松 恵子 諏訪緑の園 施設長 宇都宮 浩二	
2/27	【講義】 大分県介護DXサポートセンターについて 【講義・演習】 介護・支援記録研修 介護従事者のためのメンタルヘルス	大分県介護DXサポートセンターについて 理学療法士 小原 裕一 Healing forest ～癒しの森～ 代表 明石 二郎	

研修名	26 障がい児(者)施設等職員研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	障がい児(者)施設等における支援に必要な専門知識や技術について習得し、施設等職員としての資質向上を図る		
対象者	障害者支援施設等において障害福祉サービスに従事する職員		
延べ参加人数	95名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	(Aコース) 令和7年7月1日(火) (Bコース) 令和7年7月31日(木)		
	研修内容		講師
7/1	Aコース 【講義・演習】 発達障がいの理解と支援へのアプローチ ・発達障がいの基本特性を理解する ・発達障がい者の支援とコミュニケーション ・ライフステージにおける発達障がい児(者)支援の現状 ・保護者への関わりや支援 ・関係機関との連携 ・実際の現場における対応(事例検討から考える支援へのアプローチ)	元児童発達支援センター こだま 園長 元福岡市発達障がい者支援センター 所長 緒方 よしみ	
7/31	Bコース 【講義・演習】 支援者の支援 ～支援者の元気と支援の視座～ ・対人援助専門職としての価値 ・スーパービジョン ・援助関係の形成 ・ストレングス視点と背景の理解 ・ナラティブアプローチ 等	九州ルーテル学院大学 人文学部 心理臨床学科 准教授 西 章男	

研修名	27 障がい児(者)居宅介護職員養成研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	障害者総合支援法で規定する障害福祉サービスにおいて、障がい者(児)の特性に配慮した適切な居宅介護等を提供するため、必要な知識及び技能を習得する。		
対象者	介護職員初任者研修課程修了者、実務者研修課程修了者又は介護福祉士で、現に障がい者(児)居宅介護等事業に従事する者		
延べ参加人数	28名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年11月19日(水) 令和7年12月23日(火)		
	研修内容	講師	
11/19	【講義Ⅰ】 障がい者が地域で暮らし働ける社会づくり 【講義Ⅱ】 障害者ケアマネジメントについて 【講義Ⅲ】 精神障がいの理解と支援	大分県福祉保健部障害福祉課 自立・療育支援班 主幹(総括) 白岩 敬子 社会福祉法人農協共済 別府リハビリテーションセンター 障害者生活支援センター 別府市基幹相談支援センター 課長 青山 昌憲 大分県精神保健福祉士協会 公益社団法人日本精神保健福祉士会 大分県支部 会長・支部長 松本 憲治	
12/23	【講義Ⅳ】 知的障がいの理解と支援 【講義Ⅴ】 当事者・家族の思い 医療的ケア児子育てを通じて伝えたいこと サービス利用者として支援者の知ってほしいこと・期待すること 【講義Ⅵ】 身体障害の理解と支援	社会福祉法人みずほ厚生センター 法人本部 本部長 高橋 智秀 大分県医療的ケア児者の親子サークル ここから 代表 安藤 歩 社会福祉法人農協共済 別府リハビリテーションセンター 障害者支援施設にじ 社会福祉士 國武 奈菜	

研修名	28 社会福祉施設事務担当職員研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	社会福祉施設の会計・経理事務に携わる者が、社旗福祉法人会計基準の概要や留意点、適切な会計処理のあり方を学ことで、適切な施設経営に資することを目的とする。		
対象者	社会福祉施設等の事務長、事務担当職員		
延べ参加人数	165名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年6月3日(火) 令和7年6月10日(火)		
	研修内容		講師
6/3	【講義・演習】 社会福祉法人会計簿記Ⅰ (内容) ・社会福祉法人の有り様と会計 ・基本になる貸借対照表をまず理解しよう！ ・会計はダムである ・建物は老朽化する… ・自法人の経理規定を見てみよう！	税理士法人 プロスパー 所長・税理士 梯 茂之	
6/10	【講義・演習】 社会福祉法人会計簿記Ⅱ (内容) ・簿記・会計とは？ ・勘定科目 ・仕訳と転記 ・支払い資金の取引 ・精算表 ・固定資産と減価償却 ・固定負債と引当金 ・フローの計算書はなぜ2種類あるのか？ ・実際の計算書類はどうなっているの？ ・資本金・国庫補助金など ・決算 ・計算書類の種類と様式	税理士法人 プロスパー 所長・税理士 梯 茂之	

研修名	29 社会福祉施設等給食担当職員研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	社会福祉施設等における給食実施に必要な専門知識等について学び、給食担当職員の資質の向上を図る。		
対象者	社会福祉施設等に勤務する管理栄養士・栄養士、調理員等		
延べ参加人数	63名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年6月25日(水)		
	研修内容	講師	
6/25	【講義・グループ討議・演習】 食中毒と感染予防 ～福祉施設・事業所の『食』の安全対策～ ・ウイルスと細菌について ・ノロウイルス対策 ・調理・食事介助における注意点 ・利用者から食中毒が発生したら食事は どうするか？ ・自身の健康管理	管理栄養士 南 春子	

研修名	30 社会福祉施設等看護担当職員研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	社会福祉施設等に勤務する看護担当職員等が、職務遂行上必要となる専門的知識や技術について学ぶことにより、資質の向上を図る。		
対象者	社会福祉施設等の看護担当職員及び施設等利用者に対し直接または間接的に支援している職員		
延べ参加人数	78名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年9月16日(火)		
	研修内容	講師	
9/16	【講義・演習】 福祉施設・事業所の感染予防・対応力強化と感染症BCP ～感染に強い体制づくりと発生時の業務継続～ ・福祉施設や事業所で起こりやすい感染症、食中毒 ・感染対策指針、感染対策マニュアル、感染症BCPの目的 ・感染症BCP	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社 専任講師 WELL WAVE 代表 溝部 一夫	

研修名	31 介護技術講師養成研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	自立支援、利用者本位の視点にたった基本的な介護技術の指導方法を学ぶことにより、介護職のプロとして、事業所や地域における指導的立場となる人材を育てることを目的とする。		
対象者	社会福祉施設等で5年以上の勤務経験を有する方		
延べ参加人数	68名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	〈全10日間〉 1.令和7年6月27日(金) 2.令和7年7月11日(金) 3.令和7年7月23日(水) 4.令和7年8月6日(水) 5.令和7年8月21日(木) 6.令和7年9月3日(水) 7.令和7年9月11日(木) 7.令和7年9月25日(木) 7.令和7年10月2日(木) 7.令和7年10月9日(木) 7.令和7年10月16日(木) 7.令和7年10月23日(木) (※7.はいずれか1日) 8.令和7年10月29日(水) 9.令和7年11月5日(水) 10.令和7年11月13日(木)		
	研修内容	講師	
6/27	【講義】介護技術講師の目的	社会福祉介護研修センター 職員	
7/11	【教室の概要と指導のポイントの把握・実習】 ①寝返り・起き上がり・立ち上がりの介助	社会福祉介護研修センター 介護技術講師 佐藤加奈子 荒木 崇宏	
7/23	②食事の介助／手洗いの方法	吉田 浩美 佐藤ハツ子	
8/6	③衣服の着脱／シーツ交換	佐藤ハツ子 遠藤 隆介	
	④排泄の仕組み／トイレ介助／尿器便器	荒木 崇宏 佐藤加奈子	
	⑤おむつのあて方／清拭／足浴	遠藤隆介 岩里友敬 佐藤加奈子	
	⑥入浴の介助	荒木 崇宏 岩里 友敬	
8/21	・福祉用具の活用 ・福祉用具展示場の見学	社会福祉介護研修センター 職員 社会福祉介護研修センター 職員	
9/3	【講師デモのチェック】 ①ベッドからの起き上がり ・椅子からの立ち上がり	社会福祉介護研修センター 介護技術講師 佐藤加奈子 荒木崇宏 佐藤ハツ子	
	②おむつ/清拭	荒木崇宏 岩里友敬 遠藤隆介	
	③入浴/トイレの一部介助		
9月	【講義】介護技術講師の心構え	社会福祉介護研修センター 介護技術講師 岩里 友敬	
10月	【見学】介護技術教室の見学		
10/29	【模擬教室】 ①衣服の着脱／シーツ交換	社会福祉介護研修センター 介護技術講師 佐藤ハツ子	
11/5	②排泄の仕組み／トイレ介助	荒木 崇宏 佐藤加奈子	
	③入浴・足浴の介助	佐藤加奈子 岩里 友敬	
11/13	④尿器便器／おむつのあて方／清拭	佐藤加奈子 佐藤ハツ子 岩里友敬	
	⑤寝返り・起き上がり・立ち上がりの介助	佐藤加奈子 荒木 崇宏	
	⑥食事の介助／手洗いの方法	佐藤加奈子 岩里 友敬	
	・修了式、最終打ち合わせ		

研修名	32 介護技術講師継続研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	介護技術講師としてのスキルアップのため、介護福祉士としての知識の専門化・深化を図ることを目的とする。		
対象者	社会福祉介護研修センターの介護技術講師		
延べ参加人数	55名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年9月14日(日) 令和8年2月13日(金)・2月19日(木)		
	研修内容	講師	
9/14	【講義】 『チームで取り組む気持ちの良い排泄ケア』 ～押さえておきたいきほんの”き”～	コンチネンスアドバイザー 種子田 美穂子	
2/13 2/19	【実技】 令和8年度介護技術教室カリキュラム変更 新マニュアルに沿った実技演習	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師養成研修講師	

研修名	33 社会福祉士養成研修		
研修区分	施設・在宅等職員(福祉人材養成研修)		
目的	令和7年度(第38回)社会福祉士国家試験の受験希望者を対象に、受験科目(専門科目・7科目)の重要事項の確認と確実な知識の習得を目指し、受験準備に資する。		
対象者	社会福祉士資格を取得しようとする者		
延べ参加人数	5名	会場	(動画配信システムによるオンデマンド型)
期日	(動画視聴)令和7年8月4日(月)～令和8年1月31日(土) (模擬試験)令和7年10月19日(日)		
	研修内容	講師	
8/4～ 1/31	【講義】① 高齢者福祉 【講義】② 児童・家庭福祉 【講義】③ 貧困に対する支援 【講義】④ 保健医療と福祉 【講義】⑤ ソーシャルワークの基盤と専門職(専門) 【講義】⑥ ソーシャルワークの理論と方法(専門) 【講義】⑦ 福祉サービスの組織と経営	日田市西部地域包括支援センター センター長 梶原 貴久 児童家庭支援センター「和(やわらぎ)」 センター長 古屋 康博 社会福祉法人みずほ厚生センター 事務局長・統括管理者 高橋 智秀 社会医療法人関愛会 法人本部 病院事業局事務局長 高橋 勝 別府大学文学部人間関係学科 准教授 日和 恭世 別府大学文学部人間関係学科 准教授 日和 恭世 末永社会福祉士事務所 代表 末永 浩二	
10/19	【模擬試験】		

研修名	34 認知症介護実践者研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	施設・在宅に関わらず認知症の原因となる疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得する。		
対象者	①介護保険施設等の職員 ②認知症対応型サービス事業の管理者及び小規模多機能型居宅介護の計画作成担当者の就任予定者		
延べ参加人数	799名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	(1組)令和7年7月18日(金) (2組)令和7年8月26日(火) (3組)令和7年10月10日(金) 令和7年 7月19日(土) 令和7年 8月29日(金) 令和7年10月14日(火) 令和7年 8月 1日(金) 令和7年 9月13日(土) 令和7年10月19日(日) 令和7年 8月 2日(土) 令和7年 9月20日(土) 令和7年11月 6日(木) 令和7年 8月19日(火) 令和7年10月 7日(火) 令和7年11月19日(水) 令和7年 9月 3日(水) 令和7年10月26日(日) 令和7年12月11日(木)		
	研修内容	講師	
1日目	【講義】 「認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援」 【講義・演習】 「生活支援のためのケアの演習1」	認知症介護指導者 尾崎 正史 山本 裕子 相良 信穂 市川 恵子 酒井 久美子 早川 研史 坂下 知可 黒田 学志 久富 良一 菅原 隆太 池邊 憲之 末綱 宣之 宮尾 辰吾	
2日目	【講義】 「QOLを高める活動と評価の視点」 【講義】 「家族介護者の理解と支援方法」 【講義】 「権利擁護の視点に基づく支援」 【講義】 「地域資源の理解とケアへの活用」		
3日目	【講義】 「学習成果の実践展開と共有」 【講義・演習】 「生活支援のためのケアの演習2」 【講義】 「アセスメントとケアの実践の基本」		
4日目	【講義】 「アセスメントとケアの実践の基本」 【講義・演習】 「職場実習の課題設定」		

5日目	【講義・演習】 「職場実習中間報告」	
6日目	【講義・演習】 「職場実習評価」	

研修名	35 認知症介護実践リーダー研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する。		
対象者	①認知症介護実践者研修又は実務研修基礎課程を修了後、1年以上経過した者 ②介護保険施設等の介護職員等で認知症介護の実務経験が5年以上の者		
延べ参加人数	239名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年12月 6日(土) 令和7年12月17日(水) 令和7年12月18日(木) 令和7年12月23日(火) 令和8年 1月15日(木) 令和8年 2月19日(木)		
	研修内容	講師	
1日目	【講義】 「認知症の専門的理解」	国立大学法人大分大学医学部 神経内科学講座准教授 木村 成志 認知症介護指導者 尾崎 正史 山本 裕子 相良 信穂 市川 恵子 酒井 久美子 早川 研史 坂下 知可 黒田 学志 久富 良一 池邊 憲之 末綱 宣之 宮尾 辰吾	
	【講義】 「認知症介護実践リーダー研修の理解」		
	【講義】 「施策の動向と地域展開」		
2日目	【講義】 「チームケアを構築するリーダーの役割」		
	【講義】 「ストレスマネジメントの理論と方法」		
	【講義・演習】 「ケアカンファレンスの技法と実践」		
3日目	【講義】 「認知症ケアにおけるチームアプローチの理論と方法」		
	【講義】 「職場内教育の基本視点」		
4日目	【講義】 「職場内教育(OJT)の方法と理解」		
	【講義・演習】 「職場内教育(OJT)の実践」		
5日目	【講義・演習】 「職場内教育(OJT)の実践」		

6日目	【講義・演習】 「職場実習の課題設定」 【講義・演習】 「結果報告 & 職場実習評価」	
-----	---	--

研修名	36 認知症対応型サービス事業開設者研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の代表者(開設者)となる方がこれらの運営に必要な「認知症高齢者の基本的な理解」「認知症高齢者ケアのあり方」「地域密着型サービスの取組み」などの必要な知識を身につける。		
対象者	認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護の代表者		
延べ参加人数	5名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年11月15日(土)		
	研修内容	講師	
11/15	【講義】 「認知症高齢者の基本的理解」	国立大学法人大分大学医学部 神経内科学講座准教授 木村 成志	
	【講義】 「家族の理解、高齢者との関係の理解」	認知症介護指導者 黒田 学志	
	【講義】 「認知症高齢者のケアのあり方」	認知症介護指導者 尾崎 正史	
	【講義】 「地域密着型サービスの取組み」	認知症介護指導者 菅原 隆太	

研修名	37 認知症対応型サービス事業管理者研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護の管理者となる者が、これらの運営に必要な「地域密着型サービスの基準及び取組」「介護従事者に対する労務管理」「適切なサービス提供のあり方」などの必要な知識・技術を身につける。		
対象者			
延べ参加人数	121名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年1月19日(日) 令和7年1月25日(土) 令和7年1月31日(金)		
	研修内容	講師	
1/19	【講義】 「地域密着型サービス基準」 【講義・演習】 「管理者の役割と心構え」	大分県高齢者福祉課介護保健推進班 副主幹 吉良 文晃 アクティブ・サポート・ネットワーク(株) 専任講師 石橋 哲哉	
1/25	【講義】 「介護従事者に対する労務管理(労働基準法)」 【講義】 「介護従事者に対する労務管理(実務)」 【講義】 「地域密着型サービスり取り組み」	ななせ総合事務所 社会保険労務士 高橋 誠 認知症介護指導者 坂下 知可 認知症介護指導者 早川 研史 菅原 隆太	
1/31	【講義】 「適切なサービスのあり方」	認知症介護指導者 尾崎 正史 吉川 浩之 黒田 学志	

研修名	38 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	指定小規模多機能型居宅介護事業所または指定看護小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者となる者(介護支援専門員)が居宅介護支援計画や小規模多機能型居宅介護計画、看護小規模多機能型居宅介護計画を作成する上で必要な、知識・技術を身につける。		
対象者	小規模多機能型居宅介護事業所また事業所の計画作成担当者、看護小規模多機能型は計画作成担当者就任予定者		
延べ参加人数	26名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和8年3月5日(木) 令和8年3月6日(金)		
	研修内容	講師	
3/5	【講義】 「総論・小規模多機能ケアの視点」 【講義】 「ケアマネジメント論」 【講義】 「地域生活支援」 【講義】 「チームケア(記録・カンファレンス・アセスメント・プラン)」	認知症介護指導者 菅原 隆太 ビハーラ豆田 主任介護支援専門員 松下 収一	
3/6	【講義】 「居宅介護支援計画作成の実際」 【講義】 「居宅介護支援計画作成の実際」		

研修名	39 サービス計画担当者研修(基礎課程)		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	介護保険制度における居宅サービスの中心となる訪問・通所介護サービスの中で、訪問・通所介護計画を作成するなど重要な役割を担うサービス計画担当者の研修を効率的かつ円滑に運営し、介護保険制度の基本理念である自立支援や介護予防等の必要な知識の習得及び技術の向上を図る。		
対象者	指定訪問介護事業所・指定通所介護事業所における現任のサービス計画担当者		
延べ参加人数	112名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	(訪問介護・通所介護事業所) 令和7年5月21日(水) 令和7年6月5日(木)		
	研修内容	講師	
5/21 1日目	【講義Ⅰ】 大分県における地域包括ケアの構築と推進について ～自立支援に向けた自治体の役割～	大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 技師 杉田 苑美	
	【講義Ⅱ・演習】 自立支援型介護計画を目指した課題抽出の仕方について	株式会社アイトラック 児玉 隆典	
6/5 2日目	【講義Ⅲー1】 昨年度の事例発表の体験	(訪問介護事業所) 株式会社アクト・ケア ホームヘルプサービスかがやき 管理者 サービス提供責任者 波多 清子	
		(通所介護事業所) 社会福祉法人恵愛会 茶寿苑 通所介護サービス事業 相談員 兼 介護職員 屋田 貴英	
	【講義Ⅲー2・演習】 因子分解を用いた計画書作成について	株式会社アイトラック 児玉 隆典	

研修名	40 サービス計画担当者研修(応用課程)		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	介護保険制度における居宅サービスの中心となる訪問・通所介護サービスの中で、訪問・通所介護計画を作成するなど重要な役割を担うサービス計画担当者の研修を効率的かつ円滑に運営し、介護保険制度の基本理念である自立支援や介護予防等の必要な知識の習得及び技術の向上を図る。		
対象者	指定訪問・通所介護事業所の職員、サービス計画担当者研修(基礎課程)を修了したサービス計画作成者		
延べ参加人数	152名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	(訪問介護事業所) 令和7年7月9日(水) 令和7年8月22日(金) 令和7年11月14日(金) 令和8年1月28日(水)	(通所介護事業所) 令和7年7月9日(水) 令和7年8月21日(木) 令和7年11月13日(木) 令和8年1月28日(水)	※2日目・3日目はそれぞれ訪問介護事業所および通所介護事業所に分かれ、講義・演習を実施。
	研修内容		講師
7/9 1日目	【講義Ⅰ】 大分県における地域包括ケアの構築と推進について 【講義Ⅱ】 実践！自立支援に向けた介護計画を目指した課題抽出の仕方(応用編) 【講義Ⅲ・演習】 前年度の自立支援型サービス実践事例発表の体験について		大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 技師 杉田 苑美 株式会社アイトラック 代表取締役 佐藤 孝臣 (訪問介護事業所) 株式会社マルモ ホームヘルパーステーション森の棲家 サービス提供責任者 大石 美紀 (通所介護事業所) 社会福祉法人大翔会 Greenガーデン南大分デイサービス 介護福祉士 奥村 裕子 (訪問介護事業所) 大分県理学療法士協会 理学療法士 川井 康平 理学療法士 板井 一弘 大分県作業療法協会 作業療法士 山崎 翔太 作業療法士 熊谷 圭介 大分県言語聴覚士協会 言語聴覚士 渡邊 健太 大分県栄養士会 管理栄養士 廣瀬 大 管理栄養士 岡崎 未央

2日目 【講義Ⅳ・演習(実践課程での課題検討)】
やってみよう！自立支援に向けたケース
カンファレンス

大分県歯科衛生士会
歯科衛生士 川村 佳美
歯科衛生士 後藤 優子

(通所介護事業所)
大分県理学療法士協会
理学療法士 宮本 一樹
理学療法士 藤井 伸一

大分県作業療法協会
作業療法士 小合瀬 健志
作業療法士 今井 浩実

大分県言語聴覚士協会
言語聴覚士 福島 千瑛

大分県栄養士会
管理栄養士 高 優子
管理栄養士 江藤 美和

大分県歯科衛生士会
歯科衛生士 川村 佳美
歯科衛生士 後藤 優子

株式会社アイトラック
代表取締役 佐藤 孝臣

(訪問介護事業所)
8月22日(金)
大分県理学療法士協会
理学療法士 川井 康平
理学療法士 板井 一弘
理学療法士 野崎 真歩

大分県作業療法協会
作業療法士 山崎 翔太
作業療法士 熊谷 圭介

大分県言語聴覚士協会
言語聴覚士 釘宮 紫乃
言語聴覚士 井口 加梨

大分県栄養士会
管理栄養士 廣瀬 大
管理栄養士 岡崎 未央

大分県歯科衛生士会
歯科衛生士 川村 佳美
歯科衛生士 後藤 優子
歯科衛生士 久保 久美

3日目 【講義Ⅴ・演習(実践途中経過時点の検証・評価)】

(通所介護事業所)

8月22日(木)

大分県理学療法士協会

理学療法士 宮本 一樹

理学療法士 藤井 伸一

理学療法士 板井 高子

大分県作業療法協会

作業療法士 小合瀬 健志

作業療法士 今井 浩実

大分県言語聴覚士協会

言語聴覚士 渡邊 健太

言語聴覚士 福島 千瑛

大分県栄養士会

管理栄養士 高 優子

管理栄養士 江藤 美和

大分県歯科衛生士会

歯科衛生士 川村 佳美

歯科衛生士 山下 里織

歯科衛生士 猪上 香

株式会社アイトラック

代表取締役 佐藤 孝臣

(訪問介護事業所)

11月14日

大分県理学療法士協会

理学療法士 川井 康平

理学療法士 板井 一弘

理学療法士 野崎 真歩

大分県作業療法協会

作業療法士 山崎 翔太

作業療法士 熊谷 圭介

大分県言語聴覚士協会

言語聴覚士 釘宮 紫乃

言語聴覚士 井口 加梨

大分県栄養士会

管理栄養士 廣瀬 大

管理栄養士 岡崎 未央

大分県歯科衛生士協会

歯科衛生士 川村 佳美

歯科衛生士 久保 久美

歯科衛生士 後藤 優子

1/28 【講義Ⅵ】
4日目 「自立支援型サービス実践事例発表」と
関連ミニレクチャー

(通所介護事業所)
11月14日(木)
大分県理学療法士協会
理学療法士 宮本 一樹
理学療法士 藤井 伸一
理学療法士 板井 高子

大分県作業療法協会
作業療法士 小合瀬 健志
作業療法士 今井 浩実

大分県言語聴覚士協会
言語聴覚士 渡邊 健太
言語聴覚士 福島 千瑛

大分県栄養士会
管理栄養士 高 優子
管理栄養士 江藤 美和

大分県歯科衛生士会
歯科衛生士 川村 佳美
歯科衛生士 山下 里織
歯科衛生士 猪上 香

株式会社アイトラック
代表取締役 佐藤 孝臣

(訪問介護事業所)
1月28日(金)
(訪問)事例報告者 2名
(R7年度サービス計画担当者研修応用課程
受講者代表)

大分県理学療法士協会
理学療法士 川井 康平
理学療法士 野崎 真歩
理学療法士 板井 一弘

大分県作業療法協会
作業療法士 山崎 翔太
作業療法士 熊谷 圭介

大分県言語聴覚士協会
言語聴覚士 井口 加梨
言語聴覚士 釘宮 紫乃

大分県栄養士会
管理栄養士 廣瀬 大
管理栄養士 岡崎 未央

大分県歯科衛生士会
歯科衛生士 川村 佳美

	歯科衛生士 後藤 優子 歯科衛生士 久保 久美 (通所介護事業所) 1月28日(金) (通所)事例報告者 4名 (R7年度サービス計画担当者研修応用課程 受講者代表) 大分県理学療法士協会 理学療法士 宮本 一樹 理学療法士 板井 高子 理学療法士 藤井 伸一 大分県作業療法協会 作業療法士 小合瀬 健志 作業療法士 今井 浩実 大分県言語聴覚士協会 言語聴覚士 渡邊 健太 言語聴覚士 福島 千瑛 大分県栄養士会 管理栄養士 高 優子 管理栄養士 江藤 美和 大分県歯科衛生士会 歯科衛生士 川村 佳美 歯科衛生士 猪上 香 歯科衛生士 山下 里織
--	--

研修名	41 介護職員現任者研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	介護保険制度における現任の介護職員等を対象とし、日々の業務において直面する個別の問題に対応するために、介護保険制度の基本理念である自立支援や介護予防等の必要な知識の習得及び技術の向上を図る。		
対象者	指定訪問介護事業所、通所介護事業所に所属する現任の介護職員等		
延べ参加人数	99名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	(訪問介護・通所介護事業所) ※3日目はサービス計画担当者研修(応用課程)の4日目と合同で実施。 令和7年9月5日(金) 令和7年9月17日(水) 令和8年1月28日(水)		
	研修内容	講師	
9/5 1日目	【講義Ⅰ】 大分県における地域包括ケアの構築と推進について 【講義Ⅱ－1】 生活機能アセスメントについて 【講義Ⅱ－2】 昨年度実践事例体験発表	大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 技師 杉田 苑美 株式会社アイトラック 児玉 隆典 (訪問介護事業所) 社会福祉法人松山会 緑風苑ホームヘルプサービス サービス提供責任者 田口 和枝 (通所介護事業所) 社会福祉法人みのり村 菩提樹デイサービスセンター 「風と樹々と空と」 生活相談員 末次 恵美	
9/17 2日目	【講義Ⅲ】 高齢者の暮らしをひろげる筋力アップトレーニングと目標設定の立案 【講義Ⅳ】 コミュニケーション障害とその対応	大分県理学療法士協会 理学療法士 加藤 祐里 大分県言語聴覚士協会 言語聴覚士 渡邊 健太	
	【講義Ⅴ】 おいしく食べるための支援 【講義Ⅵ】 正しい薬の管理のための支援	大分県栄養士会 濱田 美紀 大分県薬剤師会 薬剤師 多森 直樹	
	【講義Ⅶ】 口腔内から守る健康	大分県歯科衛生士会 歯科衛生士 川村 佳美	

	～生きること・食べることを支えるために～ 【講義Ⅷ】 認知症ケアの理解と対応方法 ～共生と予防を目指して～	大分県作業療法協会 作業療法士 池戸 睦美 作業療法士 安藤 歩美 作業療法士 重藤 ひかる
1/28 3日目	【講義Ⅸ】 まとめ 介護保険の理念・生活機能・説明力 人材育成	株式会社アイトラック 代表取締役 佐藤 孝臣 (訪問介護事業所) 1月28日(金) (訪問)事例報告者 2名 (R7年度サービス計画担当者研修応用課程 受講者代表) 大分県理学療法士協会 理学療法士 川井 康平 理学療法士 野崎 真歩 理学療法士 板井 一弘 大分県作業療法協会 作業療法士 山崎 翔太 作業療法士 熊谷 圭介 大分県言語聴覚士協会 言語聴覚士 井口 加梨 言語聴覚士 釘宮 紫乃 大分県栄養士会 管理栄養士 廣瀬 大 管理栄養士 岡崎 未央 大分県歯科衛生士会 歯科衛生士 川村 佳美 歯科衛生士 後藤 優子 歯科衛生士 久保 久美 (通所介護事業所) 1月28日(金) (通所)事例報告者 4名 (R7年度サービス計画担当者研修応用課程 受講者代表) 大分県理学療法士協会 理学療法士 宮本 一樹 理学療法士 板井 高子 理学療法士 藤井 伸一 大分県作業療法協会 作業療法士 小合瀬 健志 作業療法士 今井 浩実 大分県栄養士会

管理栄養士 高 優子
管理栄養士 江藤 美和

大分県歯科衛生士会
歯科衛生士 川村 佳美
歯科衛生士 猪上 香
歯科衛生士 山下 里織

大分県言語聴覚士協会
言語聴覚士 渡邊 健太
言語聴覚士 福島 千瑛

研修名 42 介護保険事業所トップセミナー			
研修区分 施設・在宅等職員(階層別研修)			
目的		介護保険事業所の開設者等に対して、介護保険制度の基本理念である自立支援や介護予防等の必要な知識の習得及び技術の向上を図る。	
対象者		指定訪問介護事業所、通所介護事業所の開設者、管理者等	
延べ参加人数	83名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和8年2月17日(火)		
	研修内容		講師
2/17	【講演】 ～意識改革＝視点を変える～ 住み慣れた地域での暮らしを支える ～2040年に向けた介護サービスの展望～		一般社団法人 地域ケア総合研究所 所長 竹重 俊文

研修名	43 生活支援コーディネーター養成研修		
研修区分	地域福祉活動従事者(職種別研修)		
目的	生活支援コーディネーターとしての技術及び資質向上を図る。		
対象者	市町村のコーディネーター、行政担当者		
延べ参加人数	183名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	初任者・現任者(81名) 連絡会①(50名) 令和7年8月8日(金) 令和7年9月18日(木) 連絡会②(52名) 令和8年1月20日(火)		
	研修内容	講師	
8/8 初任者	【講師説明・グループワーク】 地域支援事業実施要綱等の改正の概要と 生活支援コーディネーターの業務	一般財団法人医療経済研究・ 社会保険福祉協会 医療経済研究機構 政策推進部 副部長 兼国際長寿センター・ディレクター 中村 一朗	
8/8 現任者	【講師説明・グループワーク】 各地域生活支援コーディネーター及び市町村担 当者が抱える“課題”について	一般財団法人医療経済研究・ 社会保険福祉協会 医療経済研究機構 政策推進部 副部長 兼国際長寿センター・ディレクター 中村 一朗	
9/18 連絡会 ①	【行政説明】 生活支援体制整備事業の現状と課題につ いて	大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事 高山 耕輔	
	【市町村事例報告】 多様な主体との生活支援にかかる取組につ いて	社会福祉法人国東市社会福祉協議会 地域共生課 地域支援係長(第1層生活支援 コーディネーター)松本 博晃	
	【講話・グループワーク】 生活支援体制整備事業の成果とは	一般財団法人医療経済研究・ 社会保険福祉協会 医療経済研究機構 政策推進部 副部長 兼国際長寿センター・ディレクター 中村 一朗	
1/20 連絡会 ②	【市町村事例報告】 別府市におけるSCの取組	社会福祉法人別府市社会福祉協議会 福祉推進課地域福祉係長 第1層生活支援コーディネーター 上里 情	
	【講話・グループワーク】 各市町SCのマッチング活動(課題)の共有 と多様な主体とのサービス創出手法	一般財団法人医療経済研究・ 社会保険福祉協会 医療経済研究機構 政策推進部 副部長 兼国際長寿センター・ディレクター 中村 一朗	

研修名	44 地域包括支援センター(初任者・現任者)養成研修		
研修区分	地域福祉活動従事者(職種別研修)		
目的	地域包括支援センターの業務に関する技術及び資質向上を図る。		
対象者	地域包括支援センター、市町村保健所		
延べ参加人数	146名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	第1回初任者(32名) 令和7年5月14日(水) 第2回初任者(17名) 令和7年6月20日(金) 第3回初任者(59名) 令和8年1月23日(金) ※第1回地域ケア会議コーディネーター養成研修(初任者)との併催 第3回現任者(38名) 令和7年12月11日(木)		
	研修内容	講師	
5/14	【講義Ⅰ】 地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議の役割と機能 【講義Ⅱ】 ・地域ケア会議の資料の見方 ・模擬地域ケア会議の視聴 ・地域ケア会議コーディネートのポイント 【講義Ⅲ】 地域ケア会議における助言者の役割	大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 株式会社アイトラック 代表取締役 佐藤 孝臣 大分県理学療法士協会 渉外部部員 竹村 仁 大分県作業療法協会 常務理事 佐藤 暁 大分県言語聴覚士協会 事務局長 藤本 知宏 大分県歯科衛生士会 専務理事 川村 佳美 大分県栄養士会 常任理事 濱田 美紀 大分県薬剤師会 医療福祉委員会委員 長野 曲来 大分県訪問看護ステーション協議会 副会長 高根 利依子	
6/20 初任者	【行政説明①】 地域包括支援センターについて 【行政説明②】	大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事 高山 耕輔 大分県生活環境部 食品・生活衛生課	

	多頭飼育対策について	副主幹 江川 章子 おおいた動物愛護センター 主任 永田 万歩
	【講義・グループワークによる事例検討】 虐待の事実の有無及び緊急性についての 考え方	公益社団法人大分県社会福祉士会 地域包括支援委員会 委員長 兵頭 和浩
1/23 初任者	【行政説明①】 大分県における高齢者虐待の現状について	大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事 高山 耕輔
	【行政説明②】 大分県のひきこもり対策について	大分県生活環境部 生活環境企画課 青少年育成班 主幹 甲斐 龍夫
	【講師説明①】 グループワークを通じた事例検討	公益社団法人大分県社会福祉士会 虐待対応委員会 担当理事 兵頭 和浩
	【講師説明②】 カスタマーハラスメントについて	弁護士法人おおいた市民総合法律事務所 日田事務所 弁護士 柿木 大
12/11 現任者	【行政説明】 新しい認知症観について	大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主査 芋迫 英里香
	【講義】 若年性認知症支援コーディネーターの活動 紹介	医療法人明和会 佐藤病院 看護師 秦 美穂
	【講義】 ワークを通じた困難事例検討	公益社団法人大分県社会福祉士会 虐待対応委員会 担当理事 兵頭 和浩

研修名	45 地域ケア会議コーディネーター養成研修		
研修区分	地域福祉活動従事者(職種別研修)		
目的	地域ケア会議のコーディネート、助言に関する技術及び資質向上を図る。		
対象者	市町村、地域包括支援センター職員、各専門職		
延べ参加人数	198名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	第1回初任者研修(32名) アドバイザー全体研修・ 介護保険における保険者 令和7年5月14日(水) 現任者研修(129名) 機能強化支援に向けた ※第1回地域包括支援セン 令和7年9月4日(木) 研修会(37名) ター初任者研修との併催 令和8年2月10日(火)		
	研修内容	講師	
5/14	【講義Ⅰ】 地域包括ケアシステムにおける地域ケア会議の役割と機能 【講義Ⅱ】 ・地域ケア会議の資料の見方 ・模擬地域ケア会議の視聴 ・地域ケア会議コーディネートのポイント 【講義Ⅲ】 地域ケア会議における助言者の役割	大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 株式会社アイトラック 代表取締役 佐藤 孝臣 大分県理学療法士協会 渉外部部員 竹村 仁 大分県作業療法協会 常務理事 佐藤 暁 大分県言語聴覚士協会 事務局長 藤本 知宏 大分県歯科衛生士会 専務理事 川村 佳美 大分県栄養士会 常任理事 濱田 美紀 大分県薬剤師会 医療福祉委員会委員 長野 曲来 大分県訪問看護ステーション協議会 副会長 高根 利依子	
8/24	【講義】 これからの地域ケア会議のあり方について	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 政策推進部 副部長 兼国際長寿センター・ディレクター	

2/10	【講義】 総合事業の充実に向けて専門職に求められる役割 【行政説明】 大分県の介護保険の現状 【講義】 保険者機能強化支援に活用できる 各種ツール・取組みについて	中村 一郎 氏 三田尻訪問看護ステーション 作業療法士 山口県作業療法士会理事 古谷 正登 氏 大分県福祉保健部 高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 上席主任研究官 大夢賀 政昭
------	--	---

研修名	46 在宅医療・介護連携研修		
研修区分	地域福祉活動従事者(職種別研修)		
目的	在宅医療従事者、在宅介護従事者の連携を深めるとともに在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口業務の充実を図る。		
対象者	市町村職員、医療・介護関係者、保健所職員		
延べ参加人数	82名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	コーディネーター養成研修(33名) 全体研修(49名) 令和7年11月25日(火) 令和8年3月14日(土)		
	研修内容	講師	
11/25	【講演】 在宅医療・介護連携事業におけるコーディネーターの可能性 グループワーク ①講演を踏まえた連携・協働の実態共有 ②各地域での在宅医療・介護連携の取り組み	新潟県医師会在宅医療推進センター コーディネーター 服部 美加	
3/14	【講演】 ごちゃまぜ師に学ぶ 地域を支える多職種連携 【グループワーク】 地域事例から多職種連携を考える	都農町国民健康保険病院 院長 吉村 学	

(2) 令和7年度 福祉・介護人材確保対策事業実績

- ・ 職場体験事業
- ・ 介護入門者研修実施事業
- ・ 介護職員初任者研修資格取得助成事業
- ・ 介護の仕事入門セミナー実施事業
- ・ 福祉・介護人材マッチング機能強化事業

令和7年度 福祉・介護人材確保対策事業実績

福祉・介護職員等の福祉人材の確保・定着を図るため、福祉・介護事業者と就職希望者との面談の機会を提供する地域別就職フェアの開催や、福祉に関心のある者に職場体験の機会を提供するなど、福祉職場への参入を促した。

また、ハローワーク等での相談や事業所訪問を通じて福祉・介護人材のマッチング支援を行った。

1 事業実績

(1) 職場体験事業

福祉・介護の仕事に関心のある者に対して、職場を実際に体験し、職場の雰囲気やサービス内容を直接知る機会を提供することにより、福祉・介護の仕事への関心を高め、人材の参入を促進した。

実施期間：令和7年4月12日から令和8年2月28日まで

体験者数：45名（実数：35名）

受入施設：45施設（実数：36施設） 延べ 93日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
延人員	1	2	4	7	8	5	3	4	4	5	2	45
延日数	1	3	6	14	16	8	7	8	12	13	5	93

※就職者数：2名

(2) 介護入門者研修実施事業

期 日 ①令和7年10月8日、15日、22日、29日（4日間）

②令和7年11月23日、30日、12月7日、14日（4日間）

③令和8年2月12日、15日、19日、26日（4日間）

会 場 ①社会福祉法人一燈園 地域交流ホーム ※参加申込者少なく中止

②大分県社会福祉介護研修センター

③特別養護老人ホーム紫雲荘

参加者 ①1名 ②11名 ③6名 計 17名

修了者 ①1名 ②9名 ③6名 計 15名

内 容 介護未経験かつ無資格の方が、日常に役立つ介護の知識や介護職としての必要な基本的技術の実践的手法を学ぶ。時間の「基礎講座」と18時間の「入門講座」を実施（計21時間）。

※就職者数：0名

(3) 介護職員初任者研修資格取得助成事業（自主事業）

介護職員初任者研修を修了した者に対して助成金を支給することにより、地域の福祉・介護人材の育成及び確保・定着を支援した。

支給者数：45名 助成金額 2,267,000円

(4) 介護の仕事入門セミナー実施事業

介護サービス事業での幅広い新たな人材の確保をめざし、介護の仕事に関心のある方、介護の仕事に就きたいと考えている方などの掘り起こしを図り、就職や学びへ

の動機づくりのため開催した。

<期日・会場・参加者数>

第1回：令和7年7月26日 特別養護老人ホーム清流苑 12名

第2回：令和7年9月26日 ホルトホール大分 409 会議室 8名

第3回：令和7年11月22日 特別養護老人ホームアイリスおおいた - 名

※施設内でインフルエンザ感染が発生したため中止

第4回：令和8年1月25日 県社会福祉介護研修センター 7名

<内 容>：（施設見学や講義・講話：介護職の魅力紹介）

- ・介護に関する基礎知識
- ・介護保険制度
- ・認知症への基礎知識
- ・施設職員による仕事の魅力紹介

※就職者数 5名

（5）福祉・介護人材マッチング機能強化事業

福祉人材センターにキャリア支援専門員3名を配置し、個々の求職者に相応しい職場を開拓するとともに働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を行った。

① ハローワーク等における出張相談

大分を除く6か所のハローワーク（大分はホルトホール大分）で毎月「福祉のしごと相談会」を実施した。

<ハローワーク等出張相談実績>

（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談者総数	17	17	14	11	12	16	15	11	29	33	17	16	208
HW別府	3	5	3	5	4	5	3	7	5	3	2	5	50
HW中津	3	3	2	0	1	1	1	1	1	0	2	0	15
HW日田	1	1	0	1	0	0	3	0	1	0	0	0	7
HW佐伯	2	0	2	1	0	0	2	1	2	7	2	3	22
HW宇佐	2	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	6
HW豊後大野	1	1	1	0	0	2	2	1	2	0	1	0	11
ホルトホール大分	4	5	5	4	5	6	2	0	4	9	8	2	54
その他	1	1	1	0	1	2	0	1	14	14	2	6	43
性別													
男性	6	11	6	4	3	3	8	1	12	19	4	3	80
女性	11	6	8	7	9	13	7	10	17	14	13	13	128
福祉関係資格													
無資格者	6	10	9	3	3	8	7	8	14	17	9	2	96
有資格者	11	7	5	8	9	8	8	3	15	16	8	14	112
年齢													
10代	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
20代	1	3	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	8
30代	2	0	4	0	1	0	2	0	2	8	1	0	20
40代	5	2	0	2	4	1	2	1	2	5	7	4	35
50代	4	8	2	0	4	6	7	4	11	14	6	8	74
60代	5	4	7	9	2	8	4	6	13	6	2	4	70
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

相談内容は、「求人を知りたい」が112件（30.3%）、「福祉の仕事について知りたい」が68件（18.4%）、「資格の取得方法を知りたい」が62件（16.8%）、「職場体験事業について」が59件（15.9%）、「その他」が69件（18.6%）であった。

② その他の出張相談等

ア 出張相談・出張登録等

区 分	月 日	会 場	相談者数
合同企業就職説明会	7月1日	クラスス武道スポーツセンター (高校生等向け合同企業説明会)	6名
出張登録説明会	7月12日	県総合社会福祉会館 (大分市介護に関する入門的研修)	20名
出張相談	11月3日	大分駅前広場 (介護の魅力発見フェス)	2名
出張登録説明会	11月14日	智泉福祉製菓専門学校 (介護労働講習：実務者研修を含む)	33名
出張登録説明会	11月30日	県社会福祉介護研修センター (大分県介護入門者研修)	11名
出張登録説明会	2月7日	県総合社会福祉会館 (大分市介護に関する入門的研修)	21名
合同企業就職説明会	2月21日	杵築市文化体育館 (杵築・国東・日出企業紹介就職フェア)	0名
出張登録説明会	2月21日	県社会福祉介護研修センター (大分県介護入門者研修)	6名
計8回			99名

③ 地域別就職フェア等の開催

ア 日田・玖珠・九重地域 福祉のしごと就職フェア

期 日：令和7年8月9日（土）

会 場：日田市民文化会館 パトリア日田

参加者：21名

内 容：就職面接会（参加事業所：25事業）

イ 県北地区 福祉のしごと就職フェア

期 日：令和7年8月30日（土）

会 場：中津市教育福祉センター

参加者：20名

内 容：就職面接会（参加事業所：10事業所）

ウ 豊肥地区 福祉のしごと就職フェア

期 日：令和7年9月13日（土）

会 場：豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの

参加者：3名

内 容：就職面接会（参加事業所：8事業所）

エ 速見・杵築・国東地域 福祉のしごと就職フェア

期 日：令和7年9月27日（土）

会 場：日出町保健福祉センター

参加者：19名

内 容：就職面接会（参加事業所：13事業所）

オ 県南地区 福祉のしごと就職フェア

期 日：令和7年10月4日（土）

会 場：佐伯市保健福祉センター 和楽

参加者：18名

内 容：就職面接会（参加事業所：10事業所）

※就職フェアによる就職決定者数 計 8名

④ 事業所訪問

キャリア支援専門員が、訪問、電話、ファックス、メールなどにより、人材確保や定着に関する情報提供や助言指導等を行った。

〈事業所相談実績〉

（件）

区分 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問	5	1	6	8	3	0	1	5	8	2	0	2	41
来所	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
電話	3	5	3	2	8	4	6	5	19	5	5	9	74
種別													
社福	4	6	7	5	11	2	4	4	18	6	5	7	79
医療	1	0	1	3	0	1	1	1	5	1	0	0	14
NPO	2	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	6
行政	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式	0	1	0	1	0	0	0	2	1	0	0	4	9
有限	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	4
学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	6
計	9	7	9	10	12	4	7	10	27	7	5	11	118

相談内容は、「求人開拓」82件（48.8%）、「フォローアップ」1件（0.6%）
「就職フェア関連」33件（19.6%）、「職場体験」13件（7.7%）、「その他」
39件（23.2%）であった。

研修名	47 介護入門者研修		
研修区分	一般県民(福祉人材養成研修)		
目的	介護分野への多様な人材の確保と参入を促し、福祉・介護サービス事業者地域活動を支える人材を育成するために、日常に役立つ介護の知識や介護職として必要な基本的な技術の実践的な手法を習得する。		
対象者	介護未経験者であり、かつ介護職としての資格を持たない一般県民		
延べ参加人数	17名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	(第1日程) 令和7年10月8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)で計画するも、参加申込者が少なく開催中止 社会福祉法人一燈園	(第2日程) 令和7年11月23日(日) 令和7年11月30日(日) 令和7年12月7日(日) 令和7年12月14日(日)	(第3日程) 令和8年2月12日(木) 令和8年2月15日(日) 令和8年2月19日(木) 令和8年2月26日(日) 特別養護老人ホーム紫雲荘
	研修内容	講師	
第2日程 11/23	【講義】 介護に関する基礎知識	大分県高齢者福祉課介護保険推進班 主幹(総括)塩月 満生 大分労働局雇用環境・均等室 監理官 糸永 教行	
	【講義】 介護の基本	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 佐藤 ハツ子	
	【講義・実技】 基本的な介護の方法	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 佐藤 ハツ子 介護技術講師 佐藤 加奈子	
11/30	【講義・実技】 基本的な介護の方法	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 大下 雪枝 介護技術講師 入江 小百合 介護技術講師 伊串 香苗	
	【講義・演習】 認知症の理解	大分県認知症介護指導者 早川 研史	
12/7	【講義・実技】 基本的な介護の方法	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 佐藤 ハツ子	
	【講義・演習】 障がいの理解	大分大学福祉健康科学部 准教授 滝口 真	
12/14	【講義・実技】 基本的な介護の方法	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 荒木 崇宏 介護技術講師 江藤 利恵子 介護技術講師 岩里 友敬	
	【講義・実技】	大分県社会福祉介護研修センター	

第3日程 2/12	基本的な介護の方法	介護技術講師 足立 千恵 介護技術講師 峰 利栄
	【講義】 介護における安全確保	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 佐藤 ハツ子
	【講義】 介護に関する基礎知識	大分県高齢者福祉課介護保険推進班 主幹(総括)塩月 満生 大分労働局雇用環境・均等室 厚生労働事務官 堀 真奈美
	【講義・実技】 基本的な介護の方法	特別養護老人ホーム 紫雲荘 施設長 羽田 正司
	【講義・実技】 介護の基本	特別養護老人ホーム 紫雲荘 ユニットリーダー 松下 大輝 支援課長 衛本 明美 介護支援専門員 赤嶺 美紀
	2/15 【講義・実技】 基本的な介護の方法	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 足立 千恵、峰 利栄
	【講義】 大分県福祉人材センターの概要	大分県福祉人材センター 専門員 成松 順子
	【講義・実技】 基本的な介護の方法	大分県社会福祉介護研修センター 介護技術講師 北嶋健輝、伊串 香苗 今村 加代子
	2/19 【講義】 介護における安全確保	特別養護老人ホーム 紫雲荘 支援課長 衛本 明美 看護師長 三浦 正典 介護支援専門員 赤嶺 美紀
	【講義・実技】 基本的な介護の方法	特別養護老人ホーム 紫雲荘 介護部長 新宮 富由子 介護部長 佐藤 真由子 サービス提供責任者 十時 真美 歯科衛生士 和田 美津子 介護支援専門員 赤嶺 美紀
2/26	【講義】 障がいの理解	大分県認知症介護指導者 黒田 学志 (あいすと・けあ 統括責任者)
	【講義】 介護入門者研修のまとめ	大分県高齢者福祉課人材確保・DX推進班 主幹(総括) 野中 公成

研修名	48 介護の仕事入門セミナー		
研修区分	一般県民(福祉人材養成研修)		
目的	介護サービス事業への幅広い新たな人材の確保をめざして、介護に関心のおある方、介護の仕事に就きたいと考えている方などの掘り起こしを図り、就労や学びへの同期づくりとするため		
対象者	介護の仕事に関心のあり、介護の仕事に就きたいと考えている一般県民		
延べ参加人数	27名	会場	大分県社会福祉介護研修センター他3か所
期日	第1回令和7年 7月26日(金) 特別養護老人ホーム 清流苑 第2回令和7年 9月26日(金) J:COMホルトホール大分 第3回令和7年11月22日(金) 特別養護老人ホーム アイリスおおいた ※中止 第4回令和7年 1月25日(日) 大分県社会福祉介護研修センター		
	研修内容	講師	
第1回 7/26	【施設見学会】 ・施設内見学 ・施設職員による講話	社会福祉法人 清流共生会 特別養護老人ホーム 清流苑 生活相談員 平山 敦士	
第2回 9/26	【講義】 ・認知症グループホームとは ・認知症とは ・利用者本位とは	永寿会合同会社 グループホームぽかぽか 施設長 山本 さおり 現場マネージャー 麻生 静香	
第3回 11/22	【施設見学会】 ・施設内見学 ・施設職員による講話 ※施設内でインフルエンザ感染が発生したため中止	社会福祉法人 虹の会 特別養護老人ホーム アイリスおおいた 施設長 丸木 勇	
第4回 1/25	【講義】 ・介護の仕事とは ・資格取得の流れ ・ケアマネージャーとは	社会医療法人 帰巖会 臼木病院ケアプランナー 主任介護支援専門員 水口 裕子	

(3) 令和7年度 ノーリフティングケア普及促進事業実績

令和7年度 ノーリフティングケア普及促進事業実績

平成30年度から、介護職場において働きやすい職場環境を整備することにより職員の離職防止・定着促進及び生産性の向上などをめざす、ノーリフティングケアの普及促進事業を実施している。

本事業で、法人代表者や施設管理職等を対象としたマネジメント研修、指導者養成研修、ノーリフティングケア先進施設での研修を実施した。

1 事業実績

(1) ノーリフティングケアマネジメント研修

ノーリフティングケア・ポリシーに係る管理者等のトップの意識改革を図るとともに、ノーリフティングケア導入に当たっての手順（組織体制や職員研修等）及び機器導入の支援方策の周知を行った。

日時：令和7年6月12日（木） 10：00～16：00

場所：大分県社会福祉介護研修センター 3階 大ホール、小ホール

参加人員：103名

実施内容：

① 第1部（講演）

「ノーリフティングケア定着に向けて実践すべき組織マネジメント」

講師：一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク
代表理事 下元 佳子 氏

② 第2部（発表）

「ノーリフティングケア導入、定着に向けての取り組み」

・老人保健施設 はね

（R6年度ノーリフティングケア指導者養成研修 受講施設）

・介護老人保健施設 オアシス宇佐

（R6年度大分県ノーリフティングケア先進施設 指定施設）

「まとめ及び意見交換」

講師：一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク
代表理事 下元 佳子 氏

③ 第3部（助成金及び事業説明）

「大分県ノーリフティングケア用福祉機器導入に係る補助について」

説明：大分県高齢者福祉課

「大分県内の介護現場での労働災害発生状況と、エイジフレンドリー補助金について」

説明：大分労働局 健康安全課

「大分県ノーリフティングケア普及促進事業及び介護現場革新事業について」

説明：大分県社会福祉介護研修センター

(2) ノーリフティングケア指導者養成研修

施設でのノーリフティングケアの導入には、管理者と技術指導ができる現場リーダー等が一体となった組織的な取組が必要不可欠であり、両者を対象とする導入マネジメント及び技術指導者養成に係る研修を実施し、導入の促進を図った。

日程：

指導者養成研修		受講者	参加者数
1日目	7月4日(金)	管理者、リーダー	29名
2日目	8月22日(金)	管理者、リーダー	29名
3日目	9月19日(金)	リーダー	16名
4日目	10月15日(水)	管理者、リーダー	29名
5日目	10月28日(火)	リーダー	16名
6日目	11月21日(金)	リーダー	16名

参加施設：8施設が参加

実施内容：

① マネジメント研修（1日目、2日目、4日目）

「ノーリフティングケア総論・用語の理解」、「推進委員会の設置」、「腰痛調査」、「利用者の個別アセスメント」、「福祉用具導入等の環境整備」の講義を実施。また、ノーリフティングケアを組織的に行うために、初日には因果関係図作りにて施設毎に課題分析を行った。出てきた課題に対して、改善活動の計画書を作成し、ノーリフティングケアの導入を図った。

② 技術指導者研修（3日目、5日目、6日目）

「身体の基本的な使い方」、「寝返り・起き上がり」、「スライディンググローブ」、「スライディングシート」、「スライディングボード」について実技指導を実施。最終日には各自、技術指導場面を想定したプレゼンテーションを行い、技術や指導方法のポイントなどの助言、指導を行った。

(3) ノーリフティングケア先進施設等の指定

「大分県ノーリフティングケア先進施設指定に係る審査基準」を満たす施設をノーリフティングケア先進施設として指定している。今年度は「アドバンス」に対して7施設の申請があり、4施設を指定した。

ノーリフティングケア先進指定施設

【先進施設（マスター）】

申請なし

【先進施設（アドバンス）】

特別養護老人ホーム 緑風苑－地域密着型－（大分市）

特別養護老人ホーム 美晴が丘(竹田市)

介護老人保健施設 鶴見の太陽(佐伯市)

玖珠郡医師会立老人保健施設 はね(玖珠町)

(4) ノーリフティングケア圏域別研修

令和6年度、令和7年度指定の先進施設において、他施設の職員を受け入れて研修を実施し、先進施設におけるノーリフティングケアの実際を学び、施設同士の連携を図った。

日程：

圏域別研修	開催施設	参加者数
11月27日(木)	特別養護老人ホーム 偕生園	4名
12月5日(金)	老人保健施設 六和会センテナリアン	2名
12月10日(水)	特別養護老人ホーム 緑風苑-地域密着型-	3名
12月11日(木)	介護老人保健施設 オアシス宇佐	7名
12月18日(木)	玖珠郡医師会立老人保健施設 はね	5名
1月22日(木)	特別養護老人ホーム 美晴が丘	6名
1月29日(木)	介護老人保健施設 鶴見の太陽	6名

参加施設：合計 17 施設が参加

実施内容：

項 目	内 容
オリエンテーション	1 施設の概要について 2 施設におけるノーリフティングケア推進の経緯・状況について
介護実践、施設見学等	1 職員研修の指導基準について 2 課題ケース（片麻痺のある利用者等）におけるアセスメントからケアプラン作成 3 福祉用具を使用したデモ 4 施設見学
課題検討	1 先進施設職員と研修参加者間の意見交換

上記を標準的な内容とし、詳細は各施設で異なる内容で実施した。

研修名	49 ノーリフティングケア普及促進事業研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	施設でのノーリフティングケアの導入には、管理者と技術指導ができる現場リーダー等が一体となった組織的な取組が必要不可欠であり、両者を対象とする導入マネジメント及び技術指導者養成に係る研修を実施し、導入の促進を図る。		
対象者	通所系介護サービス事業所、訪問系介護サービス事業所、介護保険施設、有料老人ホーム等の管理者(施設長等)及び介護担当責任者等		
延べ参加人数	271名	会場	大分県社会福祉介護研修センター、他
期日	<マネジメント研修> 令和7年6月12日(木)	<指導者養成研修> 令和7年7月4日(金) 令和7年8月22日(金) 令和7年9月19日(金) 令和7年10月15日(水) 令和7年10月28日(火) 令和7年11月21日(金)	<圏域別研修> 令和7年11月27日(木) 令和7年12月5日(金) 令和7年12月10日(水) 令和7年12月11日(木) 令和7年12月18日(木) 令和8年1月22日(木) 令和8年1月29日(木)
	研修内容		講師
6/12	第1部 講演 ノーリフティングケア定着に向けて実践すべき組織マネジメント 第2部 発表 ノーリフティングケア導入、定着に向けての取り組みまとめ及び意見交換 第3部 助成金及び事業説明 大分県ノーリフティングケア用福祉機器導入に係る補助について 大分県内の介護現場での労働災害発生状況とエイジフレンドリー補助金について 大分県ノーリフティングケア普及促進事業及び介護現場革新事業について	ナチュラルハートフルケアネットワーク 下元佳子 老人保健施設 はね 介護老人保健施設 オアシス宇佐 ナチュラルハートフルケアネットワーク 下元佳子 大分県高齢者福祉課 大分労働局 健康安全課 大分県社会福祉介護研修センター	
7/4	【講義・演習】 因果関係図づくり、ノーリフティングケアの導入に向けて	コネクトリハビリテーション 山形茂生	
8/22	【結果報告・講義・演習】 実践結果報告、ノーリフティングケア導入に向けて	コネクトリハビリテーション 山形茂生	
9/19	【講義・演習】 実技指導に係る技術指導	ノーリフティングケア推進施設 技術指導者	
10/15	【結果報告・講義・演習】 実践結果報告・ノーリフティングケア導入に向けて	コネクトリハビリテーション 山形茂生	
10/28	【講義・演習】 実技指導に係る技術指導の復習	ノーリフティングケア推進施設 技術指導者	
11/21	【講義・演習】 模擬指導による指導方法の習得	ノーリフティングケア推進施設 技術指導者	
11/27 ～ 1/29	【介護実践・施設見学・意見交換】 各施設にて個別に設定	令和6年度、令和7年度指定推進施設 担当者	

(4) 令和7年度 保育士・保育所支援センター設置事業実績

令和7年度 保育士・保育所支援センター設置事業実績

保育人材の確保を図るため、保育施設と就職希望者との面談の機会を提供する就職フェアの開催や、保育士資格のある者に職場体験の機会を提供するなど、保育職場への参入を促した。

また、再就職支援コーディネーターによるハローワークへの出張相談や、保育士就業支援サイト「保育おおいた」を活用した就職あっせん、県内外養成校への大分県内施設の採用・実習受入予定の情報提供等、きめ細かな支援を実施した。

1 事業実績

(1) 就職あっせん・相談支援等事業

①保育のしごと相談会（県内7ハローワークでの相談会）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	5	5	4	5	5	4	5	5	4	5	4	4	55
相談者数	5	4	8	6	4	7	5	7	0	5	7	2	60

②電話・来所での求人求職相談

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	9	14	17	15	14	11	21	15	12	13	16	10	167

③保育士就業支援サイト「保育おおいた」の運営

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
求職登録	3	12	6	3	7	7	9	11	3	7	6	5	79
保育士	2	7	3	2	4	4	5	8	0	1	5	4	45
支援員	1	1	1	0	0	3	1	1	0	4	0	0	12
学生	0	3	2	1	3	0	2	0	3	0	1	1	16
無資格者	0	1	0	0	0	0	1	2	0	2	0	0	6
求人登録	15	27	68	33	44	12	41	54	39	39	23	17	412
正規	10	17	46	19	27	9	15	28	17	20	13	10	231
パート等	5	10	22	14	17	3	26	26	22	19	10	7	181

(就職者数 6名)

④その他

- ・ 県内施設の採用・実習受入予定調査の実施及び県内外養成校への情報提供
- ・ 魅力発信事業や保育体験を行なった際のレポートをサイト上に投稿
- ・ 相談会等に参加された方の継続的な支援 (就職者数 14名)

(2) 幼児教育・保育のしごと就職フェア

保育園、認定こども園、幼稚園等の職場に就職を希望する学生や再就職を希望する保育士等を対象に、保育施設から業務や採用内容等の情報提供を行う場を対面形式で設け、保育人材確保推進と就職活動の支援を行った。

期 日：令和7年6月29日（日） 13:00～16:00

会 場：J:COM ホルトホール大分

参加施設数：35 法人 61 施設

面 談 者 数：113 名

就 職 者 数：17 名

フェア参加施設に PR 動画を作成してもらい、事前に「保育おおいた」に掲載。

視 聴 数：3,373 回

（３）再就職支援事業

①保育の仕事に再就職を希望する者に、希望職場を実際に体験し、職場の雰囲気やサービス内容を直接知る機会を提供した。

実施回数：16 回 体験者：13 名

②潜在保育士を対象とした研修会を実施し、保育施設の現状を知るとともに再就職に対する不安や疑問を解消する機会を提供した。

期 日：令和 7 年 12 月 6 日（土） 10:00～12:00

場 所：富士見ヶ丘あすなろこども園

参 加 者 数：4 名

（４）保育士の魅力発信事業

高校生等を対象に、保育士の仕事への理解・興味を深めることにより、保育士を目指す者を増やし、将来にわたって保育人材の安定的な確保に資することを目的として、県内保育士養成施設の教員が高校に出向き、保育士の職業としての魅力等について、出前講座を行った。

参加校：3 校 参加者数：254 名

（５）Ｕターン学生支援事業

保育士や幼稚園教諭の確保・定着を目的として、大分県内保育所等への就職を検討している県外の保育士養成施設に修学中の学生を対象に、県内保育所等で就職活動として行う自主実習や見学及び就職の試験や面接を受ける際に必要な旅費を助成した。

支給者数：4 名（実人数 3 名） 助成金額：68,000 円

(5) 令和7年度 介護DXサポートセンター設置事業実績

令和7年度 介護DXサポートセンター設置事業実績

介護人材不足が深刻な課題となる中、人材確保を進めつつ、限られたマンパワーの中で高齢者の自立支援を促進し、質の高い介護を実現するため、介護テクノロジー導入やノーリフティングケアの導入等による介護生産性向上の普及・促進が求められている。

当センターは、大分県が設置する介護生産性向上総合相談センター（ワンストップ窓口）として、相談窓口を設置するだけでなく、生産性向上の意義・目的や取組手順等の理解を深める研修会の開催、介護テクノロジーの体験展示や試用貸出、介護事業所等における介護DXアドバイザーによる伴走支援等、介護生産性向上の普及・促進に取り組んだ。

1 事業実績

(1) 相談窓口業務

介護事業所等から生産性向上の取組手順、活用できる補助金の紹介、介護テクノロジーの選定等の相談に応じた。相談対応はホームページの相談受付フォームや電話対応、メール、Zoom等を活用して実施した。

(2) 介護ロボットの体験展示

① 体験展示場の運営

現在、介護ロボットやICT機器を50点展示している。また、ネット上でも当センターの展示品を閲覧できるようにホームページを運営しており、SNSでの発信等も含めた普及啓発活動を行っている。

② 展示の実際・広報

当センターの研修受講者に展示場のチラシを配布する、ホームページ、SNS等により展示場への来場を促した。展示スペースにおいても、介護現場での活用場面をイメージできるようにレイアウトを工夫し、実際に触れて体験できる環境を構築している。また、一般の方にも周知するため、地域のイベントへ出向き展示ブースを設ける等により、介護に普段関係のない一般の方や学生等に現在の介護現場の状況を知ってもらうことができた。

(3) 介護ロボットの試用貸出

試用貸出の周知について、介護ロボット等の開発企業とその製品リストのリーフレットを作成、ホームページでの紹介等を行った。試用貸出後はアンケートを実施し、開発企業へフィードバックし、さらなる開発促進へつなげた。

(4) 研修会の開催

① 介護生産性向上セミナー

概要：介護生産性向上の実践に向けて、必要な知識やモデル事業所等の実践事例等を共有する。

会場：大分県社会福祉介護研修センター 大ホール

第1回 5月8日（木）303名

第2回 2月5日（木）147名

② 伴走支援者養成研修

概要：地域における生産性向上の横展開に向けて、伴走支援者の不足が課題となっている。今回の研修では、伴走支援におけるアドバイザー（K A I G O 生産性向上パートナー）を育成することを目的とし、伴走支援に必要な生産性ガイドラ

インの理解、組織開発、課題分析などの理論を学んだ。

会場：大分県社会福祉介護研修センター 小ホール

1日目 6月24日（火）9名参加

2日目 6月25日（水）9名参加

③ 圏域別介護生産性向上研修

概要：各圏域のモデル事業所を拠点とした生産性向上の普及促進を目的として、モデル事業所にて事例発表、施設見学、生産性向上のワークショップ等を実施した。

（南部：特別養護老人ホーム四季の郷）9月12日（金）14名参加

（東部：特別養護老人ホーム鈴鳴荘）9月18日（木）16名参加

（西部：特別養護老人ホーム日田園）10月23日（木）20名参加

（北部：特別養護老人ホームいずみの園）11月18日（火）27名参加

（豊肥：特別養護老人ホーム偕生園）12月16日（火）10名

（中部：特別養護老人ホーム Green ガーデン南大分）1月23日（金）25名参加

（5）介護施設への伴走支援

介護DXアドバイザーが介護事業所等に対し、介護ロボットやICT機器導入等の生産性向上の取組開始、継続に向けて、事業所の課題分析、解決策の立案や介護テクノロジーの選定等に関する助言を行う伴走支援を6事業所に対して行った。

伴走支援の希望をWEB、電話等で受付し、伴走支援の方法、スケジュールを初回訪問にて実施。その後、丁寧に施設の現状を聞き取り、2回目の訪問にて課題抽出・分析（因果関係図作りワークショップ）を職員と一緒に行った。その後もオンラインやメール・電話などで頻回にやり取りを行い、機器の選定、試験的導入等の支援を実施した。2月以降に3回目の訪問を行い、導入後評価や次年度に向けた更なる改善活動について協議する。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	20	50	70	120	72	17	18	13	25	15	9	14	443
体験展示来場者数	107	115	312	663	14	1,029	89	1,553	178	323	117	113	4,613
試用貸出件数	0	0	0	7	1	0	0	0	1	0	2	0	10

（5）大分県介護DXサポートセンター事業推進協議会の開催

大分県介護DXサポートセンター事業推進協議会は、大分県の担当部署や介護ロボットの導入に先進的に取り組んでいる介護施設、関係業界団体を構成員として、介護生産性向上に向けた地域の課題を共有し、それぞれの立場から具体策について検討する場として設置される。

主な議題：介護テクノロジーの活用、介護のイメージ改善や人材確保、生産性向上の意義・目的の理解や継続的な取組に向けた施策等

場所：大分県社会福祉介護研修センター

期日：令和8年2月18日（水）

研修名	50 介護DXサポートセンター設置事業研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	介護人材不足が深刻な課題となる中、人材確保を進めつつ、限られたマンパワーの中で高齢者の自立支援を促進し、質の高い介護を実現するため、介護テクノロジー導入やノーリフティングケアの導入等による介護生産性向上の普及・推進を図る。		
対象者	通所系介護サービス事業所、介護保険施設、有料老人ホーム等の管理者(施設長等)及び介護担当責任者(業務リーダー)等		
延べ参加人数	580名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	<介護生産性向上セミナー> <圏域別:介護生産性向上研修> 第1回令和7年5月8日(木) 南部:令和7年9月12日(金) 中部:令和8年1月23日(金) 第2回令和8年2月5日(木) 東部:令和7年9月18日(木) <伴走支援養成研修> 西部:令和7年10月23日(木) 1日目令和7年6月24日(火) 北部:令和7年11月18日(火) 1日目令和7年6月25日(水) 豊肥:令和7年12月16日(火)		
	研修内容	講師	
5/8	第1部 基調講演 今日からはじめる生産性向上の取組を通じた組織開発 第2部 事例報告・シンポジウム 大分県戻る事業所の取組報告 第3部 行政説明 介護テクノロジーにおける補助金について 第4部 事業説明 大分県介護DXサポートセンターについて	NTTデータ経営研究所 足立圭司 老人保健施設センテナリアン荒川佳奈 特別養護老人ホーム四季の郷大塚悦子 大分県高齢者福祉課 鈴木 図南 大分県社会福祉介護研修センター 小原 裕一	
6/24	テーマ1「生産性向上の取組が組織にもたらす影響」	NTTデータ経営研究所	
6/25	テーマ2「伴走支援者が目指すゴール」 テーマ3「現状分析と実行計画の策定」 テーマ4「生産性向上って結局何か？」 テーマ5「自らが目指す伴走支援者像とは」	足立圭司	
9/12 ～ 1/23	第1部 事例報告 第2部 施設見学&ミニセミナー 第3部 因果関係図作りミニワークショップ	南部:特別養護老人ホーム四季の郷 東部:特別養護老人ホーム鈴鳴荘 西部:特別養護老人ホーム日田園 北部:特別養護老人ホームいずみの園 豊肥:特別養護老人ホーム偕生園 中部:特別養護老人ホームGreenガーデン南大分	
2/5	第1部 行政説明 県の生産性向上関連事業に係る今後の方向性について 第2部 事業説明 大分県介護DXサポートセンターの取組報告 第3部 基調講演 生産性向上の向こう側 ～介護の価値向上に向けた組織開発の視点～ 第4部 取組報告 モデル事業所の取組報告 第5部 シンポジウム	大分県高齢者福祉課 鈴木 図南 大分県社会福祉介護研修センター 小原 裕一 NTTデータ経営研究所 足立圭司 特別養護老人ホーム若葉苑 原田禎二 NTTデータ経営研究所 足立圭司 特別養護老人ホーム若葉苑 原田禎二 金子真樹	

4 令和7年度 自主事業業務実績

○指定研修事業

- ・介護支援専門員研修
- ・介護支援専門員専門研修（課程Ⅰ・Ⅱ）
- ・介護支援専門員更新・再研修

○自主研修事業（連携共同事業を含む）

- ・介護技術セミナー
- ・摂食・嚥下&口腔ケア1DAYセミナー
- ・排泄初級セミナー
- ・福祉用具専門相談員指定講習会
- ・リフトリーダー養成研修
- ・福祉サービス実践力向上研修

○その他業務

- ・福利厚生センター事業
- ・介護支援専門員実務研修受講試験

(1) 令和7年度 指定研修事業・自主研修事業実績

令和7年度 指定研修事業・自主研修事業実績

1 指定研修事業

No.	研 修 名	対 象 者	口数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
51	介護支援専門員実務研修	令和6年度介護支援専門員 実務研修受講試験合格者等	7 H + 実習	1,124 名	実習振り返り ケアマネジメントの展開 ケアマネジメントの展開 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・心疾患のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・高齢者に多い疾患等の留意点の理解 ・認知症のある方及び家族を支えるケアマネジメント ・看取りに関する事例 ・地域共生社会の実現に向け他法多制度の活用が必要な事例のケアマネジメント アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り
		令和7年度介護支援専門員 実務研修受講試験合格者等	8 H + 実習	1,137 名	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ケアマネジメントに係る法令等の理解 自立支援のためのケアマネジメントの基本 利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意 相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎 介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント） 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 ケアマネジメントのプロセス ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術 ・受付及び相談並びに契約 ・アセスメント及びニーズの把握の方法 ・居宅サービス計画等の作成 ・サービス担当者会議の意義及び進め方 ・モニタリング及び評価 実習オリエンテーション
52	介護支援専門員専門・更新研修（課程Ⅰ）	（専門） 就業後6か月以上の者 （更新） 介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者（実務経験者）	10 口	618 名	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定 対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）及び地域援助技術（コミュニティソーシャルワーク）

					生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践 ケアマネジメントの実践における倫理 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント リハビリテーション・福祉用具等の活用に関する理解 脳血管疾患のある方のケアマネジメント 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント 看取り等における看護サービスの活用に関する事例 心疾患のある方のケアマネジメント 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り
53	介護支援専門員専門・更新研修（課程Ⅱ）	（専門） 就業後３年以上の者 （更新） 介護支援専門員証の有効期間が１年以内に満了する者（実務経験者）	6 口 × 2 組	1,604 名	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ケアマネジメントの実践における倫理 リハビリテーション及び福祉用具などの活用に関する理解 ケアマネジメントにおける実践事例の研究発表：生活の計測および家族などを支える基本的なケアマネジメント ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表：脳血管疾患のある方のケアマネジメント ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表：認知症のある方のケアマネジメント ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表：大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表：心疾患のある方のケアマネジメント ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表：誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表：看取り等における看護サービスの活用に関する事例 ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表：家族への支援や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント
54	介護支援専門員更新研修（実務未経験者）	介護支援専門員証の有効期間が１年以内に満了する者（実務未経験者）	11 日 × 2 組	更新 1,639 名	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント ケアマネジメントに係る法令等の理解 自立支援のためのケアマネジメントの基本

55	介護支援専門員再研修	介護支援専門員証を失効後、再び介護支援専門員証の交付を受けようとする者		再 578名	介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント） 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義 ケアマネジメントの展開 ・生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント ・脳血管疾患のある方のケアマネジメント ・大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント ・心疾患のある方のケアマネジメント ・誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント ・高齢者に多い疾患等の留意点の理解 ・認知症のある方及び家族を支えるケアマネジメント ・看取りに関する事例 ・地域共生社会の実現に向け他法多制度の活用が必要な事例のケアマネジメント アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習
----	------------	-------------------------------------	--	-----------	---

2 自主研修事業

No.	研 修 名	対 象 者	日数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
56	福祉用具専門相談員指定講習会	福祉用具専門相談員を目指す者	令和6年度より休止		
57	リフトリーダー養成研修	施設等で腰痛予防対策を積極的に推進しようとする者	2日 × 2回	1回目 55名 2回目 51名	リフトリーダーと助成金制度 腰痛の原因と対策 介護作業とリフト 移乗関連用具指導法
58 ①	福祉サービス実践力向上研修（虐待対応経験交流会セミナー）	地域包括支援センター、介護保険施設・事業所、基幹型相談支援センター、相談支援事業所、障がい者施設・事業所、県・市町村社会福祉協議会職員等	1日	145名	講義 ・県内における高齢者虐待の動向等について ・障がい者虐待の状況について ・虐待にかかる対応等について ・高齢者虐待防止法と障害者虐待防止法 ・精神保健福祉法改正と権利擁護 事例検討・グループ討議 ※第1回相談業務担当職員研修との併催
58 ②	福祉サービス実践力向上研修（講師・ファシリテーター・養成研修）	研修講師等	1日	37名	講義・演習 参加型研修に活かすファシリテーション

3 連携共同事業（介護担当職員専門研修事業）

No.	研 修 名	対 象 者	日数	延べ 人数	主 な 研 修 内 容
59	介護技術セミナー ノーリフティングケア導入 セミナー	ノーリフティングケアの導 入を検討する施設、もしく は導入後進んでいない施設	2 日	26 名	ノーリフティングケア総論・用語の確認 ノーリフティングケアとは 身体の使い方 寝返り・起き上がり スライディングシートの使い方 スライディングボードの使い方
60	摂食・嚥下&口腔ケア 1 DAYセミナー	「食」に携わる医療、介護、 福祉職又は摂食・嚥下に関 心のある者	1 日	36 名	オーラルフレイル予防のために必要な知識技 術 食べる力を取り戻す口腔ケア・口腔リハビリ
61	排泄初級セミナー	現在排泄ケアに関わってい る者、又は今後関わる者	6 日	117 名	有意義なセミナーにするために 排泄障害から生じる問題（Part 1） 排尿メカニズムの理解 排尿・蓄尿障害の理解 排泄障害から生じる問題（Part 2） 尿失禁のアセスメント 排泄障害と日常生活のケア 排泄ケア用品 排泄問題における社会資源の活用 骨盤底筋体操の実際 初級セミナーのまとめ フォローアップセミナー

研修名	51 介護支援専門員実務研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	介護支援専門員として利用者の自立支援に資するケアマネジメントに関して必要な知識及び技能を修得し、地域包括ケアシステムの中で医療との連携をはじめとする多職種協働を実践できる介護支援専門員の養成を図る。		
対象者	大分県介護支援専門員実務研修受講試験の合格者等		
延べ参加人数	2,261 名	会場	大分県社会福祉介護研修センター及びオンライン
期日	令和6年度合格者等		令和7年度合格者等
	1日目		令和8年1月8日(木)
	2日目		令和8年1月10日(土)
	3日目		令和8年1月16日(金)
	4日目		令和8年1月24日(土)
	5日目		令和8年1月30日(金)
	6日目		令和8年2月1日(日)
	7日目		令和8年2月13日(金)
	8日目		令和8年2月20日(金)
	9日目	令和7年5月14日(水)	
	10日目	令和7年5月17日(土)	
	11日目	令和7年5月23日(金)	
	12日目	令和7年5月31日(土)	
	13日目	令和7年6月8日(日)	
	14日目	令和7年6月15日(日)	
	15日目	令和7年6月18日(水)	
	研修内容		講師
1日目	【講義】 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	大分県高齢者福祉課 主任 阿南 香菜子 主幹(総括) 阿南 百合香	
	【講義】 ケアマネジメントに係る法令等の理解	諏訪緑の園 施設長 宇都宮 浩二	
2日目	【講義】 自立支援のためのケアマネジメント	老人保健施設六和会センテナリアン 主任介護支援専門員 中嶋 保恵 株式会社アイトラック 作業療法士 児玉 隆典 植田東地域包括支援センター センター長 高山 智恵子 大分県高齢者福祉課 主任 阿南 香菜子	
3日目	【講義】 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	フォレスト・ジャパン合同会社 主任介護支援専門員 小倉 亮一 戸次・吉野地域包括支援センター 社会福祉士 佐渡 志保	
	【講義・演習】 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	戸次・吉野地域包括支援センター 社会福祉士 佐渡 志保	

		中津市地域包括支援センター三光園 主任介護支援専門員 相良 愛子 居宅介護支援事業所センテナリアン 主任介護支援専門員 相部 真也
4日目	【講義】 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	大分県医療ソーシャルワーカー協会 理事 今尾 顕太郎
	【講義】 ケアマネジメントのプロセス	いちごプラン 主任介護支援専門員 細岡 さい子
5日目	【講義】 利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	株式会社アイトラック 代表取締役 佐藤 孝臣
	【講義】 受付及び相談並びに契約	植田東地域包括支援センター センター長 高山 智恵子 氏
	【講義】 介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	大分県作業療法協会 監事 日隈 武治
6日目	【講義】 アセスメント及びニーズの把握の方法	介護保険サービスセンター暖家 理学療法士 吉田 留美
	【講義・演習】 相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 脇坂 健史
7日目	【演習】 アセスメント及びニーズの把握の方法	由布市地域包括支援センター センター長 高田 文子
	【講義・演習】 居宅サービス計画等の作成	やまなみ苑指定居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 河野 龍一郎
8日目	【講義・演習】 サービス担当者会議の意義及び進め方	介護保険サービスセンター白梅荘 主任介護支援専門員 川元 竜次
	【講義・演習】 モニタリング及び評価	中津市地域包括支援センター村上 主任介護支援専門員 高西 保行
	【講義】 実習オリエンテーション	大分県社会福祉介護研修センター
9日目	【講義・演習】 実習振り返り	特別養護老人ホーム花月園 主任介護支援専門員 宮崎 和美 老人保健施設メデイトピアこが 介護支援専門員 坂下 知可
	【講義・演習】 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	介護保険サービスセンター白梅荘 主任介護支援専門員 浅香 睦美 介護保険サービスセンターこが 主任介護支援専門員 大木 恵子

10日目	【講義・演習】 地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント 【講義・演習】 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	SJR大分ケアプランセンター センター長 工藤 整 介護保険支援センターアルメイダ 主任介護支援専門員 大原 千香子 臼杵病院ケアプランセンター 主任介護支援専門員 水口 裕子
11日目	【講義・演習】 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント 【講義・演習】 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	株式会社ハビサポ 代表取締役 中村 太一 特別養護老人ホーム玖珠園 理学療法士 松尾 理
12日目	【講義・演習】 看取りに関する事例	一燈園訪問看護ステーション 緩和ケア認定看護師 首藤 美由紀 けいわ訪問看護ステーション大分 訪問看護認定看護師 佐々木 真理子
13日目	【講義・演習】 高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等)の留意点の理解 【講義・演習】 心疾患のある方のケアマネジメント	明野中央病院 明野中央在宅医療介護センター 医師・センター長 木下 昭生 明野中央病院 明野中央在宅医療介護センター 医師・センター長 木下 昭生 けいわ訪問看護ステーション大分 特定行為研修修了看護師 平松 恵子
14日目	【講義・演習】 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	株式会社アイトラック 代表取締役 佐藤 孝臣
15日目	【講義・演習】 アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習 【講義・演習】 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	国東中央福祉センター居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 河田 研吉 いずみ在宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 若林 幹雄 学校法人平松学園 専門学校専任課長 森尾 高樹

研修名	52 介護支援専門員専門・更新研修(課程Ⅰ)		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながら利用者の自立支援に資するケアマネジメントを実践できる知識・技術を修得し、もって介護支援専門員の資質向上を図る。		
対象者	介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6か月以上の者。介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者。(実務経験者)		
延べ参加人数	618名	会場	大分県社会福祉介護研修センター及びオンライン
期日	令和7年5月15日(木) 令和7年5月16日(金) 令和7年5月24日(土) 令和7年6月11日(水)	令和7年6月14日(土) 令和7年6月27日(金) 令和7年6月28日(土) 令和7年7月6日(日)	令和7年7月16日(水) 令和7年7月17日(木)
	研修内容		講師
5/15	【講義・演習】 ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定①	老人保健施設六和会センテナリアン 主任介護支援専門員 中嶋 保恵 国東中央福祉センター居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 河田 研吉 ライフサポート愛和 主任介護支援専門員 城井 典子	
5/16	【講義・演習】 ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定②	老人保健施設六和会センテナリアン 主任介護支援専門員 中嶋 保恵 国東中央福祉センター居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 河田 研吉 ライフサポート愛和 主任介護支援専門員 城井 典子	
5/24	【講義】 ケアマネジメントの実践における倫理	医療法人健清会 運営部長 兵頭 和浩	
	【講義】 対人個別援助技術(ソーシャルケースワーク)及び地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク)	大分県医療ソーシャルワーカー協会 副会長 脇坂 健史	
6/11	【講義】 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の実践	臼杵市医師会立コスモス病院 医療ソーシャルワーカー 川野 壮彦	
	【講義】 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	大分県高齢者福祉課 主任 阿南 香菜子 主幹(総括) 阿南 百合香	
	【講義・演習】 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	大分県介護支援専門員協会 古賀 周一郎 宮崎 和美	

6/14	【講義・演習】 リハビリテーション・福祉用具等の活用に関する理解	井野辺病院在宅リハケアセンターかく 作業療法士 佐藤 暁
	【講義・演習】 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	自立訓練(生活訓練)ゆずいろ 作業療法士 後藤 綾 井野辺病院在宅リハケアセンターかく 作業療法士 佐藤 暁
6/27	【講義・演習】 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	特別養護老人ホーム玖珠園 理学療法士 松尾 理
	【講義・演習】 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	明和記念病院 言語聴覚士 吉田 玲子
6/28	【講義・演習】 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	臼杵病院ケアプランセンター 主任介護支援専門員 水口 裕子
7/6	【講義・演習】 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	けいわ訪問看護ステーション大分 訪問看護認定看護師 佐々木 真理子
	【講義・演習】 心疾患のある方のケアマネジメント	明野中央病院 明野中央在宅医療介護センター 医師・センター長 木下 昭生 けいわ訪問看護ステーション大分 特定行為研修修了看護師 平松 恵子
7/16	【講義・演習】 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	植田東地域包括支援センター センター長 高山 智恵子 いずみの園介護保険サービスセンター 主任介護支援専門員 瀧澤 由美恵
9/14	【講義・演習】 個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	特定非営利活動法人chields ソーシャルワーカー 和田 亮二
	【講義・演習】 研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	特定非営利活動法人chields ソーシャルワーカー 和田 亮二

研修名	53 介護支援専門員専門・更新研修(課程Ⅱ)		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識及び技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、多様な疾病や生活状況に応じて、医療との連携や多職種協働を図りながらケアマネジメントを実践できる知識・技術を習得し、もって介護支援専門員の資質向上を図る。		
対象者	(専門) 介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後3年以上の者 (更新) 介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了する者(実務経験者)		
延べ参加人数	1604名	会場	大分県社会福祉介護研修センター及びオンライン
期日	1組		2組
	1日目	令和7年8月31日(日)	令和7年11月15日(土)
	2日目	令和7年9月11日(木)	令和7年11月18日(火)
	3日目	令和7年9月21日(日)	令和7年11月22日(土)
	4日目	令和7年9月26日(金)	令和7年11月29日(土)
	5日目	令和7年10月16日(木)	令和7年12月5日(金)
	6日目	令和7年10月25日(土)	令和7年12月14日(日)
	研修内容		講師
1日目	【講義】 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 【講義・演習】 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント 【講義】 ケアマネジメントの実践における倫理		大分県高齢者福祉課 主任 阿南 香菜子 主幹(総括) 阿南 百合香 株式会社アイトラック 代表取締役 佐藤 孝臣 小規模多機能型居宅介護ビハーラ豆田 主任介護支援専門員 松下 収一 在宅介護支援センターきつきの里 社会福祉士 高尾 毅一
2日目	【講義・演習】 認知症のある方及び家族などを支えるケアマネジメント		臼杵病院ケアプランセンター 主任介護支援専門員 水口 裕子 First star 主任介護支援専門員 田北 正寿
3日目	【講義】 リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解 【講義・演習】 心疾患のある方のケアマネジメント		杵築市立山香病院 理学療法士 永徳 研二 諏訪の杜病院 理学療法士 梅野 朋美
4日目	【講義・演習】 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント 【講義・演習】 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント		株式会社ハビサポ 言語聴覚士 中村 太一 明和記念病院 言語聴覚士 吉田 玲子 介護老人保健施設清流荘 理学療法士 高橋 知良 理学療法士 松尾 理一

5日目	【講義・演習】 脳血管疾患のある方のケアマネジメント 【講義・演習】 看取り等における看護サービスの活用に関する事例	自立訓練(生活訓練)ゆずいろ 作業療法士 後藤 綾 井野辺病院 在宅リハケアセンターかく 作業療法士 佐藤 暁 けいわ訪問看護ステーション大分 訪問看護認定看護師 佐々木 真理子
6日目	【講義・演習】 家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント	日田市西部地域包括支援センター 社会福祉士 梶原 貴久 別府リハビリテーションセンター 社会福祉士 青山 昌憲 大分県社会福祉士会 社会福祉士 三浦 靖子

研修名	54 介護支援専門員更新研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	更新研修の受講対象となる介護支援専門員(実務未経験者)に対して、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な知識及び技術の向上と専門職としての能力の保持・向上を図ることにより、専門職としての能力の保持・向上を図る。		
対象者	介護支援専門員証の有効期間中に介護支援専門員としての実務に従事した経験を有しない者(実務未経験者)		
延べ参加人数	1,639 名	会場	大分県社会福祉介護研修センター及びオンライン
期日	1組 2組 1日目 令和7年7月10日(木) 令和7年10月3日(金) 2日目 令和7年7月12日(土) 令和7年10月4日(土) 3日目 令和7年7月22日(火) 令和7年10月17日(金) 4日目 令和7年7月23日(水) 令和7年10月23日(木) 5日目 令和7年8月20日(水) 令和7年11月1日(土) 6日目 令和7年8月27日(水) 令和7年11月5日(水) 7日目 令和7年8月30日(土) 令和7年11月8日(土) 8日目 令和7年9月12日(金) 令和7年11月20日(木) 9日目 令和7年9月14日(日) 令和7年12月7日(日) 10日目 令和7年9月19日(金) 令和7年12月9日(火) 11日目 令和7年9月27日(土) 令和7年12月12日(金)		
	研修内容		講師
1日目	【講義】 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	大分県高齢者福祉課 主任 阿南 香菜子 主幹(総括) 阿南百合香	
2日目	【講義】 ケアマネジメントに係る法令等の理解 【講義】 自立支援のためのケアマネジメント	臼杵市地域力創生課 課長代理 石井 義恭 老人保健施設六和会センテナリアン 主任介護支援専門員 中嶋 保恵 株式会社イトラック 作業療法士 児玉 隆典 植田東地域包括支援センター センター長 高山 智恵子 大分県高齢者福祉課 主任 阿南 香菜子 主幹(総括) 塩月 満生	
3日目	【講義】 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義 【講義】 介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	大分県医療ソーシャルワーカー協会 理事 今尾 顕太郎 国東中央福祉センター居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 河田 研吉 大分県作業療法協会 監事 日隈 武治	
4日目	【講義】 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専	フォレスト・ジャパン合同会社 主任介護支援専門員 小倉 亮一	

	門員の倫理 【講義・演習】 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	戸次・吉野地域包括支援センター 社会福祉士 佐渡 志保
5日目	【講義・演習】 地域共生社会の実現に向け他法多制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	戸次・吉野地域包括支援センター 社会福祉士 佐渡 志保 中津市地域包括支援センター三光園 主任介護支援専門員 相良 愛子 介護保険支援センターアルメイダ 主任介護支援専門員 大原 千香子
6日目	【講義・演習】 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント 【講義・演習】 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	SJR大分ケアプランセンター センター長 工藤 整 介護保険支援センターアルメイダ 主任介護支援専門員 大原 千香子
7日目	【講義・演習】 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント 【講義・演習】 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	介護保険サービスセンター白梅荘 主任介護支援専門員 浅香 睦美 介護保険サービスセンターこが 主任介護支援専門員 大木 恵子 有限会社四季彩椎迫事業所実の里 理学療法士 鈴木 新司 こうざきデイケアリハビリテーションセンターもみの木 理学療法士 板井 一弘
8日目	【講義・演習】 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	明和記念病院 言語聴覚士 吉田 玲子 コミュニケーションデイサービス言の葉 言語聴覚士 渡邊 健太
9日目	【講義・演習】 高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等)の留意点の理解	臼杵病院ケアプランセンター 主任介護支援専門員 水口 裕子 大分県社会福祉士会 会長 伊藤 保幸
10日目	【講義・演習】 第15章⑤ ケアマネジメントの展開『心疾患のある方のケアマネジメント』 【講義・演習】 看取りに関する事例	吉賀循環器内科 院長 吉賀 攝 明野中央病院 明野中央在宅医療介護センター 医師・センター長 木下 昭生 吉賀循環器内科 院長 吉賀 攝 明野中央病院 明野中央在宅医療介護センター 医師・センター長 木下 昭生 けいわ訪問看護ステーション大分 特定行為研修修了看護師 平松 恵子 一燈園訪問看護ステーション 緩和ケア認定看護師 首藤 美由紀 けいわ訪問看護ステーション大分 訪問看護認定看護師 佐々木 真理子

11日目	【講義・演習】 アセスメント及び居宅サービス計画等作成 の総合演習	いずみ在宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 若林 幹雄 国東中央福祉センター居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 河田 研吉
------	---	---

研修名	55 介護支援専門員再研修		
研修区分	施設・在宅等職員(職種別研修)		
目的	介護支援専門員として実務に就いていない者又は実務から離れている者が実務に就く際に、介護支援専門員としての必要な知識及び技能を再修得することを目的とする。		
対象者	介護支援専門員証の有効期限が失効している者		
延べ参加人数	578 名	会場	大分県社会福祉介護研修センター及びオンライン
期日	1組		
	1日目	令和7年7月10日(木)	令和7年10月3日(金)
	2日目	令和7年7月12日(土)	令和7年10月4日(土)
	3日目	令和7年7月22日(火)	令和7年10月17日(金)
	4日目	令和7年7月23日(水)	令和7年10月23日(木)
	5日目	令和7年8月20日(水)	令和7年11月1日(土)
	6日目	令和7年8月27日(水)	令和7年11月5日(水)
	7日目	令和7年8月30日(土)	令和7年11月8日(土)
	8日目	令和7年9月12日(金)	令和7年11月20日(木)
	9日目	令和7年9月14日(日)	令和7年12月7日(日)
	10日目	令和7年9月19日(金)	令和7年12月9日(火)
	11日目	令和7年9月27日(土)	令和7年12月12日(金)
研修内容		講師	
1日目	【講義】 介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	大分県高齢者福祉課 主任 阿南 香菜子 主幹(総括) 阿南百合香	
	【講義】 ケアマネジメントに係る法令等の理解	臼杵市地域力創生課 課長代理 石井 義恭	
2日目	【講義】 自立支援のためのケアマネジメント	老人保健施設六和会センテナリアン 主任介護支援専門員 中嶋 保恵 株式会社イトラック 作業療法士 児玉 隆典 植田東地域包括支援センター センター長 高山 智恵子 大分県高齢者福祉課 主任 阿南 香菜子 主幹(総括) 塩月 満生	
3日目	【講義】 生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	大分県医療ソーシャルワーカー協会 理事 今尾 顕太郎	
	【講義】 介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	国東中央福祉センター居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 河田 研吉 大分県作業療法協会 監事 日隈 武治	
4日目	【講義】 人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専	フォレスト・ジャパン合同会社 主任介護支援専門員 小倉 亮一	

	門員の倫理 【講義・演習】 地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	戸次・吉野地域包括支援センター 社会福祉士 佐渡 志保
5日目	【講義・演習】 地域共生社会の実現に向け他法多制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	戸次・吉野地域包括支援センター 社会福祉士 佐渡 志保 中津市地域包括支援センター三光園 主任介護支援専門員 相良 愛子 介護保険支援センターアルメイダ 主任介護支援専門員 大原 千香子
6日目	【講義・演習】 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント 【講義・演習】 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	SJR大分ケアプランセンター センター長 工藤 整 介護保険支援センターアルメイダ 主任介護支援専門員 大原 千香子
7日目	【講義・演習】 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	介護保険サービスセンター白梅荘 主任介護支援専門員 浅香 睦美 介護保険サービスセンターこが 主任介護支援専門員 大木 恵子
8日目	【講義・演習】 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	有限会社四季彩椎迫事業所実の里 理学療法士 鈴木 新司 こうざきデイケアリハビリテーションセンターもみの木 理学療法士 板井 一弘
9日目	【講義・演習】 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	明和記念病院 言語聴覚士 吉田 玲子 コミュニケーションデイサービス言の葉 言語聴覚士 渡邊 健太
10日目	【講義・演習】 高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群等)の留意点の理解 【講義・演習】 第15章⑤ ケアマネジメントの展開『心疾患のある方のケアマネジメント』	臼杵病院ケアプランセンター 主任介護支援専門員 水口 裕子 大分県社会福祉士会 会長 伊藤 保幸
	【講義・演習】 看取りに関する事例	株式会社アイトラック 代表取締役 佐藤 孝臣
		吉賀循環器内科 院長 吉賀 攝 明野中央病院 明野中央在宅医療介護センター 医師・センター長 木下 昭生
		吉賀循環器内科 院長 吉賀 攝 明野中央病院 明野中央在宅医療介護センター 医師・センター長 木下 昭生 けいわ訪問看護ステーション大分 特定行為研修修了看護師 平松 恵子
		一燈園訪問看護ステーション 緩和ケア認定看護師 首藤 美由紀 けいわ訪問看護ステーション大分 訪問看護認定看護師 佐々木 真理子

11日目	【講義・演習】 アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	いずみ在宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 若林 幹雄 国東中央福祉センター居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 河田 研吉
------	--	---

研修名	56 福祉用具専門相談員指定講習会		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的			
対象者	福祉用具専門相談員を目指す者		
延べ参加人数	0名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日			
	研修内容	講師	
	※R6年度より休止		

研修名	57 リフトリーダー養成研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	利用者と介護者にやさしいケアを実現するため、リフト等の福祉用具の活用を推進し、次のことができる指導者(リフトリーダー)を養成する。 1.腰痛予防に関する知識や対策を学び、介護作業のアセスメントができる 2.抱え上げない介護の有用性を学び、リフトに関する知識や技術を習得する 3.リフト等の移乗関連用具の活用について、マネジメントができる		
対象者	施設等で腰痛予防対策を積極的に推進しようとする者		
延べ参加人数	106名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	1回目 2回目 ①令和7年7月12日(土) ①令和7年12月13日(土) ②令和7年7月13日(日) ②令和7年12月14日(日)		
	研修内容	講師	
1日目	<リフトリーダーと助成金制度> ・リーダーとしての役割と心構え ・各種講習と考え方 ・助成金制度の概要とポイント ・腰痛予防対策チェックリストの活用 <腰痛の原因と対策> ・介護者の腰痛発生状況とその原因 ・腰痛予防に関連する法令、指針など ・腰痛予防対策 ・労働衛生管理のすすめ方 ・機器導入効果の検証方法 <介護作業とリフト> ・抱え上げない介護の有用性 ・スライディングシート・ボードの特徴 ・吊具の種類と特徴 ・リフトの種類と特徴 ・介護作業のアセスメント ・次回実技の概要説明	コネクトリハビリテーション 代表 山形 茂生 //	
2日目	<移乗関連用具指導法> ・リフト等の使い方 ・リフト等の指導法 ・機種別(選択)実技 ・個別相談 ※12月13日は7月12日、12月14日は7月13日と同内容	//	

研修名	58 福祉サービス実践力向上研修		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	利用者の多様なニーズに対応できる実践力を高めるとともに、専門職として必要な知識・技術及び倫理観を再確認し、質の高い福祉サービスの提供につなげることを目的とする。		
対象者	社会福祉施設・団体等の職員		
延べ参加人数	182名	会場	大分県社会福祉介護研修センター及びオンライン
期日	令和7年6月7日(土) 令和7年8月9日(土)		
	研修内容	講師	
6/7	<虐待対応経験交流会セミナー> 【講義】 県内における高齢者虐待の動向等について 【講義】 障がい者虐待の状況について 【講義】 虐待にかかる対応等について 【講義】 高齢者虐待防止法と障害者虐待防止法 【講義】 精神保健福祉法改正と権利擁護 【事例検討・グループ討議】	大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 主事 高山 耕輔 大分県障害福祉課 施設支援班 主事 森崎 祐羽 大分県社会福祉士会 虐待対応委員会・地域包括支援委員会 理事・委員長 兵頭 和浩 おおいた市民総合法律事務所 日田事務所 弁護士 柿木 大 平山法律事務所 弁護士 平山 蒼太 大分県社会福祉士会 兵頭 和浩 大分県弁護士会 粉倉 了胤	
8/9	<講師・ファシリテーター養成研修> 【講義・演習】 参加型研修に活かすファシリテーション	ひとづくり工房 esuco(えすこ) 代表 浦山 絵里	

研修名	59 介護技術セミナー		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	ノーリフティングケアのポリシーや取り組み方、目的について理解し、職員個人の技術力をアップすることで、施設での導入の促進、定着を図る。		
対象者	介護職員等		
延べ参加人数	26名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年5月24日(土) 令和7年5月25日(日)		
	研修内容	講師	
5/24	オリエンテーション 【実習】 1.不良姿勢の確認(介護者・利用者) 座位の修正体験 2.寝返り(手前,対側) 3.起き上がり(ギャッジあり,なし) 4.スライディングボード	ノーリフティングケアコーディネーター (一社)介護福祉士会 副会長 田崎 真一 ノーリフティングケアコーディネーター 理学療法士 金子 真樹	
5/25	オリエンテーション 【実習】 1.スライディングシート (敷き込み,左右,上方,寝返り,抜き取り) シートの座位修正(車いす) 2.グローブ(圧抜き,横移動) 3.ポジショニング	ノーリフティングケアコーディネーター (一社)介護福祉士会 副会長 田崎 真一 ノーリフティングケアコーディネーター 理学療法士 金子 真樹	

研修名	60 摂食・嚥下&口腔ケア1DAYセミナー		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	摂食・嚥下の専門知識と技術を習得し、質の高い支援を提供できる人材を育成する。		
対象者	「食」に携わる医療・介護・福祉職または摂食・嚥下に関心のある者		
延べ参加人数	36名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和8年1月10日(土)		
	研修内容	講師	
1/10	【講義】 オーラルフレイル予防のために 必要な知識技術 ～フレイル・サルコペニアをふまえて～ 【講義・実演】 食べる力を取り戻す 口腔ケア・口腔リハビリ	言語聴覚士 森 淳一 歯科衛生士 衛藤 恵美	

研修名	61 排泄初級セミナー		
研修区分	施設・在宅等職員(課題別研修)		
目的	排泄ケアの専門知識と技術を習得し、加えて多職種で連携し質の高いサービスを提供できる		
対象者	現在排泄ケアに関わっている者または今後関わる予定の者		
延べ参加人数	117名	会場	大分県社会福祉介護研修センター
期日	令和7年6月14日(土)	排泄初級セミナー①	
	令和7年6月15日(日)	排泄初級セミナー②	
	令和7年7月5日(土)	排泄初級セミナー③	
	令和7年7月6日(日)	排泄初級セミナー④	
	令和7年9月13日(土)	排泄初級セミナー⑤	
	令和7年9月14日(日)	スキルアップセミナー	
	研修内容		講師
6/14	【講義】 Ⅰ 有意義なセミナーにするために Ⅱ 排泄障害から生じる問題(1)		NPO法人日本コンチネンス協会 理事 種子田 美穂子
	【講義】 Ⅲ 排泄メカニズムの理解 Ⅳ 下部尿路症状の理解 【ハンズオン】 残尿測定		椎迫泌尿器科 院長 岩下 光一
6/15	【講義】 Ⅱ 排泄障害から生じる問題(2) 【講義・グループワーク】 Ⅴ 尿失禁のアセスメント		NPO法人日本コンチネンス協会 理事 種子田 美穂子
7/5	【講義・グループワーク】 Ⅵ 排泄問題と日常生活のケア 【業者説明と展示】 Ⅶ 排泄ケア用品		NPO法人日本コンチネンス協会 コンチネンスアドバイザー 佐川 光俊 排泄用品販売業者8社
7/6	【講義・グループワーク】 Ⅷ 排泄問題における社会資源の活用 【講義・実習】 Ⅸ 骨盤底筋運動の実際 【講義】 Ⅹ 初級セミナーのまとめ		飯塚病院 地域包括ケア推進本部 社会福祉士/精神保健福祉士 小栗和美 理学療法士 毛井 敦 NPO法人日本コンチネンス協会 理事 種子田 美穂子
9/13	【講義・ロールプレイング・グループワーク】 フォローアップセミナー		NPO法人日本コンチネンス協会 理事 種子田 美穂子
9/14	『チームで取り組む気持ちのいい排泄ケア』 ～押さえておきたいきほんの”き”～		コンチネンスアドバイザー 種子田 美穂子

(2) 令和7年度 福利厚生センター事業実績

令和7年度 福利厚生センター事業実績

福祉・介護人材確保対策の一環として、民間社会福祉従事者等の福利厚生の充実を目的に、平成6年度に設置された社会福祉法人福利厚生センターが運営する「ソウェルクラブ」への加入促進を図るとともに、県内会員を対象とした会員交流事業などを実施した。

1 事業実績

(1) 福利厚生センター事業の実施

① 会員の加入促進

ア 加入勧奨事業

- ・研修センターだより（広報誌）に案内記事を掲載
- ・就職フェア等での加入勧奨

イ 令和7年度末の加入状況

62 法人 145 事業所 3,284 名（会員数のみ本部助成金対象数 10/1 現在）

② 会員の健康管理

生活習慣病予防検診費用助成 1,462 名

③ 会員の慶事のお祝い

ア 永年勤続記念品贈呈	414 名
イ 出産お祝品贈呈	38 名
ウ 資格取得記念品贈呈	52 名
エ 結婚お祝品贈呈	37 名
オ 入学お祝品贈呈	183 名

④ 会員のリフレッシュ

クラブサークル活動助成 57 サークル

(2) 会員交流事業等の実施

① レジャー施設等利用補助券（2,000 円相当）の発券

発券枚数：200 枚

利用実績：118 枚

指定施設：ラクテンチ・城島高原パーク・ハーモニーランド・くじゅう花公園

② 映画チケット（会員負担金 800 円/枚）の発券

発券枚数：2,000 枚（TOHO シネマズ全国共通券）

申込数：3,177 枚

③ 会員交流事業

開催日	内容	申込数	決定数
6月28日	①J2リーグ：大分トリニータ VS 大宮アルディージャ	30	28
7月26日	②NPB：鷹の祭典・オリックス戦（S指定席）	155	20
8月3日	③NPB：鷹の祭典・楽天イーグルス戦（S指定席）	117	20
8月16日	④桂二葉 独演会（指定席）	16	16
8月30日	⑤ディズニー・オン・アイス（指定席）	100	20
8月31日	⑥ディズニー・オン・アイス（指定席）	45	20
9月23日	⑦J U J Uコンサート（指定席）	92	40
9月21日	⑧G R e 4 N B O Y Zコンサート（指定席）	118	114
8月11日	⑨NPB：誕生20周年記念・日本ハム戦（S指定席）	141	20
8月17日	⑩NPB：九州デー・千葉ロッテ戦（S指定席）	176	20
11月2日	⑪劇団四季「オペラ座の怪人」（S指定席）	146	30
12月21日	⑫久保田利伸コンサート（指定席）	124	20
12月5日	⑬大相撲大分場所（タマリS席）	70	4
12月5日	⑭大相撲大分場所（タマリA席）	26	4
2月22日	⑮劇団四季「オペラ座の怪人」（S指定席）	94	10
2月11日	⑯高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト	219	30
2月28日	⑰森山直太朗コンサート（指定席）	58	20
2月8日	⑱劇団四季「カモメに飛ぶことを教えた猫」（S指定席）	41	20
R8 5月9日	⑲立川談春 独演会（指定席）	49	20
	⑳アートホテル大分 ランチビュッフェ券	422	150
	㉑レンブラントホテル大分 ランチビュッフェ券	1,220	150
	㉒サーティワンアイスクリームバラエティボックスギフト券	688	200
	㉓ホテル日航オアシスタワーホテル お食事券	403	60
	㉔スティグ・リンドベリ展 観覧券	62	61
	㉕スターバックスカード	668	400
	㉖韓国苑 お食事券	2,254	120
	㉗寿司めいじん お食事券	638	100

(3) 令和7年度 介護支援専門員実務研修受講試験実績

令和7年度 介護支援専門員実務研修受講試験実績

大分県から指定試験実施機関の指定を受け、介護支援専門員実務研修受講試験を次のとおり実施した。

(1) 試験日

令和7年10月12日(日)

(2) 試験会場

大分大学 旦野原キャンパス(大分市大字旦野原 700)

(3) 受験申込期間

令和7年5月30日(金)～6月30日(月)

(4) 合格発表

①発表日時

令和7年11月25日(火)10時

②掲示場所

- ・社会福祉介護研修センターHP、県庁HP
- ・県庁本館の掲示板

(5) 受験者数等の状況

①受験申込者数 657人

②受験者数 602人

③合格者数 147人(合格率 24.4%、全国平均 25.6%)

(6) 主な業務内容

①試験会場の確保

②受験案内の作成、印刷

③試験概要の広報

④受験申込受付、申込書・写真票の整理

⑤受験資格審査、受験票発送

⑥試験対応(試験監督員への説明会、試験会場準備、警備員の確保等)

⑦採点集計業務、受験データ等チェック

⑧HP、掲示板等での合格発表、本人への合否通知

令和8年6月

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

大分県社会福祉介護研修センター

〒870-0161 大分市明野東3丁目4番1号

電話 097-552-6888 代表

097-552-7000 福祉人材センター

097-558-7788 高齢者総合相談センター